

DocuPrint CP500 d ユーザーズガイド

Microsoft、Windows、Windows Server、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript、PostScript 3、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
Macintosh、Mac OS、OS X および macOS は、Apple Inc. の商標です。
RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Cisco は、米国およびその他の地域における Cisco Systems, Inc. の登録商標です。
Mopria は、Mopria Alliance の登録商標です。
その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

ライセンスについては、「ライセンスについて」に記載しています。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書のなかで△と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違法に罰せられます。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。ただし、本機をご利用いただくために本書を参照する場合に限り、本書を複製することができます。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
DocuShare および DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

目次

目次.....	3
1 お使いいただく前に	9
はじめに	10
マニュアル体系.....	11
本機を安全にご利用いただくために.....	12
本書の使い方	13
本書の構成.....	13
本書の表記.....	13
2 プリンターのセットアップ	15
プリンターの接続とセットアップ	16
コンピューターまたはネットワークに接続する	16
本機の電源を入れる／切る	17
操作パネルで初期設定を行う.....	18
おまかせセットアップでコンピューターにインストールする（Windows® のみ）.....	18
無線機能を設定する	19
IP アドレスの設定.....	25
IP アドレスを設定する	25
IP 設定を確認する	26
プリンタードライバーをコンピューターにインストールする	27
コンピューター側の設定	27
3 機械の構成.....	29
各部の名称と働き	30
前面部と背面部	30
操作パネル.....	32
内部	32
大容量トレイモジュール、専用キャビネット、専用キャスター台（オプション）.....	33
操作パネル	34
ホーム画面について.....	34
操作パネルの基本操作.....	34
タイルを移動、追加または削除する	35
操作パネルに表示されたキーボードを使用する	35
言語とキーボードレイアウトを変更する	35
節電モード移行時間を設定する	36
4 用紙のセット	37
用紙について	38
使用できる用紙の質量と枚数.....	38
使用できる用紙の種類.....	39

用紙をセットする.....	42
用紙トレイ 1 ～ 5 に用紙をセットする	42
手差しトレイに用紙をセットする.....	44
大容量トレイモジュールに用紙をセットする	47
トレイの使用形態の設定	50
特殊紙にプリントする	52
封筒	52
ラベル紙	57
薬袋	61
長尺用紙	62
5 プリント	63
プリント	64
ジョブを送信する	64
プリントジョブを中止する	64
両面印刷	66
蓄積プリント機能を使用する	68
USB から印刷する	70
Wi-Fi Direct で印刷する.....	70
モバイル端末からのプリント	72
AirPrint.....	73
Google クラウドプリント™	73
Mopria® プリントサービス	77
マチ付き薬袋モード設定手順	78
6 機械確認 / 仕様設定	79
機械確認 / 仕様設定	80
言語	80
機械確認	80
通知	80
用紙トレイ	80
消耗品確認.....	81
メーター確認.....	81
システム設定.....	81
ネットワーク設定	83
保守	89
リセット	90
7 CentreWare Internet Services.....	93
概要	94
CentreWare Internet Services の設定.....	95
サポートされている Web ブラウザー	95
Web ブラウザーからの設定.....	95
CentreWare Internet Services の起動.....	96
メニュー項目の概要	97
ホーム	97

アプリ	97
ジョブ	97
ネットワーク	97
認証 / 集計 / 権限	97
システム	97
画面構成について	98
上部フレーム	98
左側フレーム	98
右側フレーム	98
ホーム	99
通知	99
用紙トレイ	99
消耗品	100
ビリング / カウンター	100
クイックリンク	101
アプリ	104
好み設定	104
アプリ一覧	104
ジョブ	105
実行中ジョブのリスト	105
実行完了ジョブのリスト	105
ジョブの中止	105
ジョブ動作設定	105
ネットワーク	106
インターフェース設定	106
モバイルプリント設定	113
プロトコル設定	114
認証 / 集計 / 権限	126
未認証ユーザーの権限	126
アカウント一覧	126
認証設定	126
集計管理	128
権限グループ	129
パスワードの運用	133
システム	135
日付 / 時刻設定	135
SNTP 設定	135
省エネルギー設定	135
タイムアウト設定	136
セキュリティ設定	136
初期設定	143
エミュレーション設定	145
ログ設定	149
ソフトウェアバージョンアップ設定	149
プラグイン設定	149
単位表示 / サイズ検知切り替え	150

8 暗号化と署名機能の設定151

暗号化と署名機能の概要	152
証明書の種類	152
他の認証局に証明書の発行を依頼する	152
通信の暗号化機能	152
HTTP の通信を暗号化するための設定	154
Step1 本体側の設定	154
Step2 コンピューター側の設定	154
IPsec を使用して暗号化するための設定.....	156
Step1 本体側の設定（証明書の設定）.....	156
Step2 コンピューター側の設定	156
無線 LAN の設定 WPA-Enterprise (EAP-TLS)	157
無線 LAN の設定 WPA-Enterprise (PEAPV0-MS-CHAPV2、EAP-TTLS PAP、EAP-TTLS CHAP)	158
9 認証と集計管理機能について	159
ユーザー認証および集計管理.....	160
ユーザーの種類について	160
ロールについて	160
認証の種類について	161
集計管理モードの種類.....	161
認証モードと集計管理モードの関係	162
ユーザー認証の操作	162
ユーザーアカウントの作成および編集	163
集計管理のためのユーザー認証.....	164
10 日常の管理.....	165
消耗品を交換する.....	166
操作パネルで消耗品の状態を確認する	167
トナーカートリッジを交換する.....	168
ドラムカートリッジを交換する.....	170
トナー回収ボトルを交換する	175
本体を清掃する.....	177
本体外部の清掃	177
タッチパネルの清掃	177
LED レンズの清掃	178
色濃度センサーの清掃.....	182
調整と保守の手順.....	184
カラーレジ補正	184
濃度補正	184
アライメント調整の設定	184
アライメントの確認	185
手動アライメント調整を実行する	185
転写出力調整.....	187
定着温度調整.....	187
標高設定	188
現像器と転写ユニットのクリーニング	188
転写ベルトクリーニング.....	188

目標濃度の設定	189
トナーリフレッシュ	189
ブロッキング対策	189
生産性の設定	190
オプション製品を取り外す	191
大容量トレイモジュールを取り外す	191
専用キャスター台を取り外す	193
無線 LAN キットを取り外す	195
11 トラブル対処	197
トラブルと思ったら	198
機械本体のトラブル	199
画質のトラブル	202
プリントの画質でお困りのお客様へ	207
封筒へのプリント時にトナー汚れ（定着不良）が発生する場合	207
プリンターのトラブル	208
プリントできない	208
思ったとおりのプリント結果にならない	209
ネットワークのトラブル	210
TCP/IP を使用したときのトラブル	210
CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル	211
インターネット / イン트라ネット接続のトラブル	212
IPv4 または IPv6 接続のトラブル	213
エラーコード	215
"005-001" - "011-999"	215
"016-001" - "016-999"	216
"017-001" - "017-999"	232
"018-001" - "020-999"	236
"021-001" - "022-999"	243
"023-001" - "025-999"	243
"026-001" - "026-999"	245
"027-001" - "032-999"	247
"041-001" - "044-999"	259
"045-001" - "046-999"	262
"055-001" - "058-999"	262
"059-001" - "059-999"	262
"060-001" - "060-999"	263
"061-001" - "061-999"	264
"071-001" - "076-999"	264
"077-001" - "077-999"	266
"081-001" - "091-999"	266
"092-001" - "092-999"	267
"093-001" - "093-999"	268
"094-001" - "098-999"	269
"099-001" - "101-999"	270
"102-001" - "115-999"	270
"116-001" - "116-999"	270
"117-001" - "117-999"	275

"118-001" - "122-999"	278
"123-001" - "126-999"	279
"127-001" - "132-999"	280
その他のエラーについて	281
用紙が詰まった場合	282
手差しトレイでの紙づまり	283
トレイ 1 での紙づまり	285
トレイ 2 ～ 5 での紙づまり	287
定着部（定着装置）での紙づまり	289
 12 付録	 291
主な仕様	292
基本機能	292
大容量トレイモジュール（オプション）	296
オプション製品一覧	297
保守サービスについて	298
トータルサービス契約	298
スポット保守サービス方式	298
補修用性能部品の保有期間について	298

1

お使いいただく前に

はじめに

このたびは DocuPrint CP500 d（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題の一つに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロン全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。

マニュアル体系

本機には、次のマニュアルを用意しています。

本体同梱マニュアル

■ ソフトウェア / 製品マニュアル (CD)

製品の機能や操作の詳しい説明については、メディア内の製品マニュアルをご覧ください。

■ はじめにお読みください

安全にお使いいただくための注意事項や、操作中に気をつけていただきたい注意制限事項などについて説明しています。必ずお読みください。

ソフトウェアから直接見られるヘルプ

■ プリンタードライバーのヘルプ

プリントの操作方法や、機能などについて説明しています。

オプション製品マニュアル

本機ではオプション製品を用意しています。オプション製品には、取扱説明書が同梱されているものがあります。

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウェアのインストール手順などについて説明しています。

本機を安全にご利用いただくために

本機の設定が以下のいずれかを満たす状態で機械管理者モードに入ると、メニュー画面の前にセキュリティ警告画面が表示されます。本機をより安全にご利用いただくために、本機を設置したあと、すぐに設定を変更することをお勧めします。

- 機械管理者のパスワードが初期値
- SNMP プロトコルの設定でコミュニティ名や認証用パスワードが初期値
- グローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている

機械管理者のパスワードおよび、SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードの設定を初期値から変更することをお勧めします。これらの初期値を変更することで、悪意のある第三者による攻撃（設定変更や情報搾取など）を防ぐことが可能です。

補足

- 機械管理者のパスワード、SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードを初期値から変更すると、複合機と連携するソフトウェアやユーティリティの動作に影響が出る場合があります。影響を確認のうえ、実施してください。

また、本機にグローバル IP アドレスを設定する場合、受付 IP アドレス制限の設定を行うことにより、本機を外部ネットワークからの不正アクセス（ジョブ履歴の閲覧、本機内のデータへのアクセス）から防ぐことが可能です。

さらに、[認証方式の設定] を [本体認証] または [外部認証] に設定することをお勧めします。[本体認証] の場合、本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理を行います。認証が成功したユーザーのみに機械の使用を制限することができます。ただし、使用時には操作パネルからユーザー ID を入力する必要があります。[外部認証] の場合、外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を使用して認証管理を行います。

補足

- 機械管理者のパスワードの変更については、「CentreWare Internet Services でのパスワードの変更」(P.164) を参照してください。
- SNMP 認証データの変更については、「SNMP」(P.122) を参照してください。
- 受付 IP アドレス制限の設定については、「受付 IP アドレス制限」(P.142) を参照してください。
- 認証方式の設定については、「認証方式」(P.126) を参照してください。

本書の使い方

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

■ 1 お使いいただく前に

本書の使い方について説明しています。

■ 2 プリンターのセットアップ

本機をコンピュータとネットワークに接続する方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。

■ 3 機械の構成

各部の名称、電源の入 / 切、タッチパネルディスプレイの使い方、節電機能の解除方法など、本機の基本的な操作について説明しています。

■ 4 用紙のセット

本機で利用できる用紙の種類や、用紙をセットする方法について説明しています。

■ 5 プリント

各機能を利用して文書をプリントする方法について説明しています。

■ 6 機械確認 / 仕様設定

機械確認と仕様設定の方法について説明しています。

■ 7 CentreWare Internet Services

CentreWare Internet Services を利用する方法について説明しています。

■ 8 暗号化と署名機能の設定

本機で暗号化と署名機能を利用するための設定方法について説明しています。

■ 9 認証と集計管理機能について

各機能を利用するときに利用に制限をかける認証機能と、認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能について説明しています。

■ 10 日常の管理

消耗品を交換する方法や、本体を清掃する方法について説明しています。

■ 11 トラブル対処

本機に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

■ 12 付録

本機の主な仕様、オプション製品などについて説明しています。

本書の表記

- ・ 本書に記載している画面や本機のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のものです。使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。

- 各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足

- 補足事項を記述しています。

参照

- 参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」

『 』

[]

< > ボタン

< > キー

>

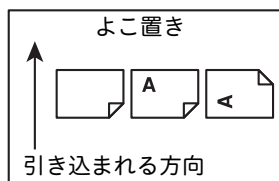
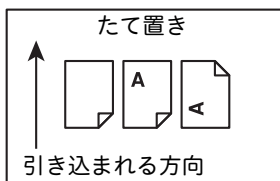
- 本書内にある参照先を表しています。
- メディア、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。
- 参照するマニュアルを表しています。
- 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
- コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
- 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。
例：「[機械確認 / 仕様設定] > [言語切り替え] > [キーボード] を選択します。」は、「[機械確認 / 仕様設定] を押して、[言語切り替え] を押したあと、[キーボード] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。
- コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。
例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。
- 参照先は、次のように表しています。
例：「『ユーザーズガイド』（メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内）の「機械確認 / 仕様設定」 > 「言語切り替え」 > 「キーボード」を参照してください。」は、ユーザーズガイド（メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内）の「機械確認 / 仕様設定」の章内の、「言語切り替え」での「キーボード」を参照することを表しています。

- 本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。

☐、☐、 たて置き

☐、☐、 よこ置き

- 本機の正面から見て、原稿や用紙をたて長にセットした状態を表しています。
- 本機の正面から見て、原稿や用紙をよこ長にセットした状態を表しています。



2

プリンターのセットアップ

プリンターの接続とセットアップ

プリンターをコンピューターに接続するには、接続の種類ごとに以下の仕様を満たす必要があります。

接続の種類	接続の仕様
Ethernet	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
USB	USB3.0
無線（オプション）	IEEE 802.11n/802.11g/802.11b/802.11a

コンピューターまたはネットワークに接続する

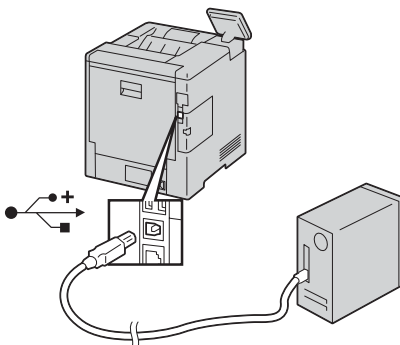
注記

- 確実にプリンターの電源を切ってから接続を行ってください。

USB ケーブルでコンピューターに接続する（直接接続）

USB ケーブルでコンピューターに直接接続されたプリンターを、ローカルプリンターと呼びます。プリンターをコンピューターではなくネットワークに接続する場合、この手順は不要です。「Ethernet ケーブルでネットワークに接続する」(P.17)を参照してください。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端を、本体の背面にある USB ポートに接続します。



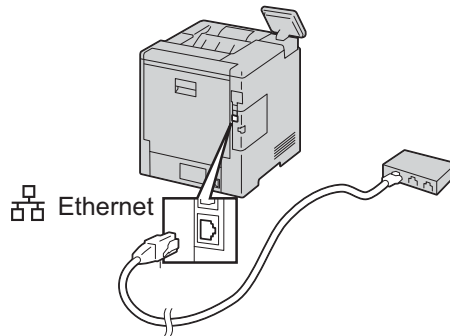
- 2 もう一方の端を、コンピューターの USB ポートに接続します。

注記

- USB ケーブルを、キーボードにある USB ポートに接続しないでください。

Ethernet ケーブルでネットワークに接続する

1 Ethernet ケーブルを接続します。



プリンターをネットワークに接続するには、Ethernet ケーブルの片方の端をプリンターの背面にある Ethernet ポートに接続し、もう片方の端を LAN ドロップまたはハブに接続してください。

無線ネットワークに接続する

「無線機能を設定する」(P.19) を参照してください。

本機の電源を入れる／切る

本機の電源を入れる、低電力モードまたはスリープモードを解除する

本機の電源を入れるか、低電力モードまたはスリープモードを解除するには、電源ボタンを押します。

補足

- 本機に接続されたデバイスからデータを受信すると、自動的に低電力モードまたはスリープモードが解除されます。
- 低電力モードまたはスリープモード中は、タッチスクリーンの電源がオフになり、応答なくなります。プリンターを手動でスリープ状態にするには、電源ボタンを押します。

再起動する、スリープモードにする、本機の電源を切る

補足

- 電源ボタンを 1 回押しても本機が反応しない場合、ボタンを 5 秒間押し続けます。プリンターの電源が切れると、Please Wait メッセージが表示されます。
- 10 秒後、タッチスクリーンが暗くなり、電源ボタンが点滅して本機の電源が切れます。

1 操作パネルの電源ボタンを押します。

2 次のいずれかを選択します。

- プリンターを再起動するには、[再起動する] を押します。
- プリンターをスリープモードにするには、[節電モードに移行する] を押します。

補足

- スリープモード中は、タッチスクリーンが暗くなり、電源ボタンが点滅します。
- プリンターの電源を切るには、[電源を切る] を押します。

操作パネルで初期設定を行う

本機をはじめてご使用になる場合、初期設定に必要なインストールウィザード画面が操作パネルに表示されます。画面に従って、次の項目を設定してください。

- 言語
「言語」(P.80) を参照してください。
- 日付 / 時刻設定
「日付 / 時刻設定」(P.81) を参照してください。
- 単位表示 / サイズ検知切り替え
「単位表示 / サイズ検知切り替え」(P.81) を参照してください。

設定終了後に表示される「設定項目一覧」画面の「完了」を押すと、設定が反映されます。

おまかせセットアップでコンピューターにインストールする (Windows® のみ)

補足

- 本機を無線プリンターとしてご使用になる場合、「無線機能を設定する」(P.19) を参照して、あらかじめ無線機能を設定してください。
- 本機をMacintoshに接続している場合、「プリンタードライバをコンピューターにインストールする」(P.27) を参照してください。

おまかせセットアップ

本機を設定するには、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムを実行しているコンピューターでセットアッププログラムを使用します。

プログラムがプリンターを検索し、プリンターがコンピューターにどのように接続されているかを確認します。その情報に基づいて、プログラムは自動的にドライバとソフトウェアをコンピューターにインストールします。

おまかせセットアップを開始する前に、本機の電源が入っていることを確認し、次のとおりケーブルが接続されていることを確認してください。

- 本機をネットワーク（有線）プリンターとして設定するには、Ethernet ケーブルを本機に接続します。
- 本機を USB プリンターとして設定するには、USB ケーブルを本機に接続します。

補足

- クライアントオペレーティングシステム（Windows® 7、Windows® 8.1、Windows® 10）を実行しているコンピューターでネットワークプリンターの自動検索を有効にするには「コントロールパネル」>「ネットワークとインターネット」>「ネットワークと共有センター」>「共有の詳細設定」を選択し、現在のネットワークプロファイルの「ネットワーク探索」を「ネットワーク探索を有効にする」に設定します。

- 1 コンピューターに、本機に同梱されたメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）を挿入します。

セットアッププログラムが自動的に起動し、本機の検索を開始します。

補足

- セットアッププログラムが自動的に起動しない場合、次の手順に従ってください。
次の手順は Windows® 10 を例として使用しています。

- 1) スタートボタンを右クリックし、「Run」を押します。

- 2) [D:\Launcher.exe] ([D] は光学ドライブのドライブ名) を入力し、[OK] を押します。
 - 2 セットアッププログラムのメインメニュー画面で [おまかせセットアップ] ボタンを押します。
 - 3 使用許諾契約画面で契約の条項に同意して [次へ] ボタンを押すと、本機の検索を開始します。
 - 4 おまかせセットアップウィザードが本機の検索を完了するまでお待ちください。
ネットワークプリンターをお使いの場合、本機を検知したらそれを選択し、[次へ] を押します。
USB プリンターをお使いの場合、おまかせセットアップが本機を検知したら自動でインストールを開始します。
- 補足**
- おまかせセットアップが本機を検知しない場合、セットアッププログラムのメインメニュー画面が表示されます。「プリンタードライバーをコンピューターにインストールする」(P.27) を参照してください。
- 5 [プリントできます] 画面が表示されたら、[完了] を押してウィザードを終了します。
 - 6 メディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) を取り出します。

無線機能を設定する

無線 LAN キット (オプション) を使用すると、無線ネットワーク接続でプリンターを使用できます。

無線 LAN キットの仕様は、以下のとおりです。

項目	仕様
接続技術	無線
規格	IEEE 802.11a、802.11b、802.11g、802.11n
帯域幅	IEEE 802.11n、802.11g、802.11b: 2.4 GHz IEEE 802.11n、802.11a: 5 GHz
データ転送速度	IEEE 802.11n: 72 Mbps IEEE 802.11g、802.11a: 54、48、36、24、18、12、9、6 Mbps IEEE 802.11b: 11、5.5、2、1 Mbps
暗号方式	64 (40-bit key) / 128 (104-bit key) WEP WPA Personal (TKIP、AES) WPA2 Personal (AES) WPA Enterprise (TKIP、AES) *1 WPA2 Enterprise (AES) *1
WPS*2 (Wi-Fi Protected Setup)	プッシュボタン (PBC) PIN コード接続 (PIN)
ワイヤレスモード	Infrastructure、Ad-hoc、Wi-Fi Direct

*1 : EAP 方式は EAP-TLS、EAP-TTLS / PAP、EAP-TTLS / CHAP、および EAP-TTLS / MSCHAPV2 をサポートしています。

*2 : WPS 2.0 に準拠しています。

補足

- 無線 LAN キットは、工場出荷時はセカンダリーネットワークインターフェイスとして設定されています。
無線ネットワークが、本機が接続する唯一のネットワークである場合、無線 LAN キットをプライマリーインターフェイスとして設定する必要があります。
- 無線 LAN キットがプライマリーネットワークインターフェイスとして設定されている場合、Ethernet ポート上で IEEE 802.1x 認証を使用することはできません。

無線ネットワーク設定を決定する

無線プリンターを設定するには、無線ネットワークの設定を知る必要があります。設定の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Wi-Fi	SSID	無線ネットワークを識別するための最大 32 文字の英数字の名前	
	ネットワークタイプ	[Infrastructure] または [Ad hoc]	
セキュリティ設定	暗号化	セキュリティーなし	暗号化を指定しない無線設定の場合
		WEP	WEP キーが必要です。 64 ビット WEP の場合：最大 10 桁の 16 進文字キー 128 ビット WEP の場合：最大 26 桁の 16 進文字キー
		送信キー	WEP キー 1 ~ 4
		WPA2 Personal*	AES 方式
		Mixed Mode Personal*	WPA Personal (AES)、WPA2 Personal (AES) または WPA Personal (TKIP) から暗号化タイプを自動的に選択します。
		パスフレーズ	8 ~ 63 バイトの英数字、64 バイトの 16 進文字
		WPA2 Enterprise*	AES 方式
		Mixed Mode Enterprise*	WPA エンタープライズ (AES)、WPA2 エンタープライズ (AES) または WPA エンタープライズ (TKIP) から利用可能な暗号化タイプを自動的に選択します。
		認証	PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TLS、EAP-TTLS / PAP、EAP-TTLS / CHAP または EAP-TTLS / MS-CHAPv2

*:ネットワークタイプとして [Infrastructure] が選択されている場合のみ使用できます。

無線 LAN キット（オプション）を設定する

無線 LAN キットの設定方法を次のいずれかから選択してください。

- WPS-PBC^{*1*3}
- WPS-PIN^{*2*3}
- 自動 SSID 設定

- 手動 SSID 設定
- CentreWare Internet Services

*1 :WPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration) は、ワイヤレスルーター上のアクセスポイントのボタンを押し、操作パネル上で WPS-PBC 設定を実行することによってワイヤレス設定に必要なデバイスを認証および登録する方法です。この設定方法は、アクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

*2 :WPS-PIN (Wi-Fi Protected Setup-Personal Identification Number) は、本体およびパソコンに割り当てられた PIN を入力してワイヤレス設定に必要なデバイスを認証および登録する方法です。この設定方法（アクセスポイントから実行）は、ご使用のワイヤレスルーターのアクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

*3 :無線 LAN アクセスポイントへの WPS 操作については、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

補足

- 無線 LAN キット（オプション）が必要です。

■ WPS-PBC

プッシュボタン方式での設定は、操作パネルで行います。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] を押します。
- 3 [手動設定] を押します。
- 4 [WPS 設定] > [プッシュボタン] > [決定] を押します。

補足

- 2 分以内に無線 LAN アクセスポイント（レジストラ）での WPS-PBC を開始してください。

WPS の操作が終了し、プリンターが再起動すると、無線 LAN 接続設定は完了です。

■ WPS-PIN

WPS-PIN の PIN コードは、操作パネルで設定を行います。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] を押します。
- 3 [手動設定] を押します。
- 4 [WPS 設定] > [PIN コード] を押します。
- 5 表示された 無線 LAN アクセスポイントの 8 桁の PIN コードを控えておきます。
- 6 [決定] を押します。

補足

- 2 分以内に無線 LAN アクセスポイント（レジストラ）に PIN コードを入力してください。

WPS の操作が終了し、プリンターが再起動すると、無線 LAN 接続設定は完了です。

■ 自動 SSID 設定

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] を押します。
プリンターが自動で無線ネットワークのアクセスポイントを検索します。

3 アクセスポイントを選択します。

暗号化されていないアクセスポイントを選択した場合、手順 5 に進みます。

指定したいアクセスポイントが表示されない場合、「手動 SSID 設定」(P.22) に進みます。

補足

- 隠れた SSID が表示されないことがあります。SSID が検知されない場合、ルーターから SSID ブロードキャストを起動してください。

4 認証情報を入力します。

手順 3 で選択したアクセスポイントの暗号化の種類が WEP、WPA2 パーソナルまたはミックスモード PSK (AES / TKIP) の場合：

1) [パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。

2) [OK] を押します。

手順 3 で選択したアクセスポイントの暗号化の種類が WPA2 エンタープライズまたはミックスモードエンタープライズ (AES / TKIP) の場合：

1) [Identity] テキストボックスに Identity を入力します。

2) [次へ] を押します。

3) [ユーザー名] テキストボックスにユーザー名を入力します。

4) [次へ] を押します。

5) [パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。

6) [OK] を押します。

5 [Wi-Fi] 画面でアクセスポイントが[接続中]と表示されると、無線 LAN 接続設定は完了です。

■手動 SSID 設定

1 ホームボタンを押します。

2 [機械確認 / 仕様設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] を押します。

3 [手動設定] を押します。

4 [SSID] テキストボックスに SSID を入力し、[Enter] を押します。

5 [通信モード] を押して、ご使用の環境に応じてネットワークの種類を [Infrastructure] または [Ad hoc] から選択します。

[Infrastructure] を選択した場合、手順 6 に進みます。

[Ad hoc] を選択した場合、手順 7 に進みます。

6 [暗号化方式] を押して、暗号化の種類を [暗号化なし]、[WEP]、[WPA2 Personal]、[Mixed Mode Personal (AES/TKIP)]、[WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] から選択します。

無線ネットワークにセキュリティーを設定しない場合：

- 1) [暗号化なし] を押します。

WEP、WPA2 パーソナルまたはミックスモード PSK (AES / TKIP) をお使いの場合：

- 1) 使用したい暗号化の種類を押します。
- 2) [パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。
- 3) [Enter] を押します。

WPA2 エンタープライズまたはミックスモードエンタープライズ (AES / TKIP) をお使いの場合：

- 1) 使用したい暗号化の種類を押します。
- 2) [認証方式] を押して、認証方式を [PEAPv0 MS-CHAPv2]、[EAP-TLS]、[EAP-TTLS/CHAP]、[EAP-TTLS/PAP] または [EAP-TTLS/MSCHAPV2] から選択します。

Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP) の認証方式、または WPA2 エンタープライズの [PEAPv0 MS-CHAPv2] を選択する場合、手順 3) に進みます。

WPA2 エンタープライズの [EAP-TLS]、[EAP-TTLS/CHAP]、[EAP-TTLS/PAP] または [EAP-TTLS/MSCHAPV2] を選択した場合、CentreWare Internet Services で適切なセキュリティー証明書をインストールする必要があります。認証方式を選択した場合、画面の指示に従ってください。

- 3) [Identity] テキストボックスに Identity を入力します。
 - 4) [次へ] を押します。
 - 5) [ユーザー名] テキストボックスにユーザー名を入力します。
 - 6) [次へ] を押します。
 - 7) [パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。
 - 8) [Enter] を押します。
- 手順 8 に進みます。

7 [暗号化方式] を押して、暗号化の種類を [暗号化なし] または [WEP] から選択します。

無線ネットワークにセキュリティーを設定しない場合：

- 1) [暗号化なし] を押します。

WEP をお使いの場合：

- 1) [WEP] を押します。
- 2) [パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。
- 3) [Enter] を押します。

[Wi-Fi] 画面上で、アクセスポイントに [接続中] と表示されます。これで、無線 LAN 接続設定は完了です。

■ CentreWare Internet Services

- 1 CentreWare Internet Services を起動します。

参照

- 「CentreWare Internet Services の起動」(P.96) を参照してください。

- 2 [ネットワーク] を押します。
- 3 [インターフェース設定] の [Wi-Fi] を押します。
- 4 [有効] スライダーをクリックして有効にします。
- 5 [SSID] テキストボックスに SSID を入力します。
- 6 [通信モード] ドロップダウンリストボックスから [Ad hoc] または [Infrastructure] を選択します。
- 7 暗号化の種類を [Encryption] ドロップダウンリストボックスの [No Encryption]、[WEP]、[WPA2 Personal]、[WPA2 Enterprise]、[Mixed Mode Personal (AES/TKIP)] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] から選び、選択した暗号化の種類 of 各項目を設定します。

参照

- 各項目について、詳しくは「CentreWare Internet Services」(P.93) を参照してください。

- 8 [OK] を押して設定を適用します。
- 9 プリンターの電源を切って、再度電源を入れます。

これで無線 LAN 接続設定は完了です。

無線の設定を再設定する

コンピューターから無線設定を変更する場合、以下のとおり設定してください。

補足

- 無線接続から無線の設定を変更する場合、無線接続設定が完了していることを確認してください。

■ CentreWare Internet Services で無線の設定を再設定する

- 1 CentreWare Internet Services を起動します。

参照

- 「CentreWare Internet Services の起動」(P.96) を参照してください。

- 2 [ネットワーク] を押します。
- 3 [インタフェース設定] の [Wi-Fi] を押します。
- 4 プリンターの無線の設定を変更します。
- 5 プリンターを再起動します。
- 6 コンピューターで無線の設定またはアクセスポイントを変更します。

補足

- コンピューターで無線の設定を変更する場合、無線 LAN キットに付属のマニュアルを参照してください。コンピューターが無線アダプターツールを提供する場合、ツールを使用して無線の設定を変更してください。

IP アドレスの設定

IP アドレスを設定する

IP 動作モードはデュアルスタック、IPv4、または IPv6 から設定できます。IPv4、IPv6 の混在した環境で使用する場合、デュアルスタックを選択してください。

環境の IP 動作モードを選択後、IP アドレス、サブネットマスク（IPv4 のみ）、ゲートウェイアドレスの取得方法を指定してください。

注記

- 使用済みの IP アドレスを取得すると、ネットワーク通信エラーが発生します。

補足

- IP アドレスの設定は、通常は機械管理者が行います。
 - 手動で IP アドレスを IPv6 モードに設定する場合、CentreWare Internet Services をお使いください。CentreWare Internet Services を表示するには、リンクローカルアドレスをお使いください。リンクローカルアドレスを確認するには、機能設定リストをプリントし、IPv6 リンクローカルアドレスをご確認ください。
- 詳細は「レポート / リストの出力」(P.80) を参照してください。

操作パネルで IPv4 アドレスを設定する

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [ネットワーク設定] を押します。
- 3 次のどれかの方法で処置してください。
 - プリンターが Ethernet ケーブルのあるネットワークに接続している場合：
[Ethernet] を押します。
 - プリンターが無線ネットワークに接続している場合：
[Wi-Fi] を押して、設定したいネットワークを選択します。
- 4 [IPv4] を押します。
- 5 [有効] スライダーを押して有効にします。
[IP アドレス取得方法] が [手動設定] に設定されていることをご確認ください。
- 6 [IP アドレス] を押します。
- 7 画面上の数字ボタンで IPv4 アドレスを入力し、[Enter] を押します。
- 8 [ゲートウェイアドレス] を押します。
- 9 画面上の数字ボタンでゲートウェイアドレスを入力し、[Enter] を押します。
- 10 [サブネットマスク] を押します。
- 11 画面上の数字ボタンでサブネットマスクを入力し、[Enter] を押します。
- 12 手順 5 でモードを変更した場合、[OK] または [再起動する] を押します。

IP 設定を確認する

操作パネル上や機能設定リスト上で、IP 設定を確認できます。

操作パネルで IPv4 設定を確認する

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [機械確認] を押します。
- 3 [ネットワーク] の [IPv4:] に表示された IP アドレスを確認します。

機能設定リストで IPv4 設定を確認する

- 1 機能設定リストをプリントします。
- 2 正しい IPv4 IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイアドレスが機能設定リストに記載されているか確認します。
IP アドレスが「0.0.0.0」（工場出荷時の初期設定）となっている場合、IP アドレスは設定されていません。プリンターに IP アドレスを設定するときは、「操作パネルで IPv4 アドレスを設定する」(P.25) を参照してください。

プリンタードライバーをコンピューターにインストールする

コンピューター側の設定

コンピューター側では、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

参照

- プリンタードライバーのインストール手順については、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）内の『メディア情報』を参照してください。

3

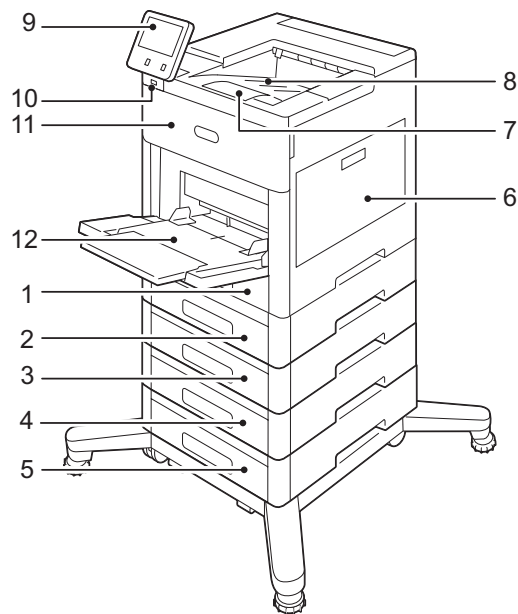
機械の構成

各部の名称と働き

本機の、各部の名称と働きについて説明します。

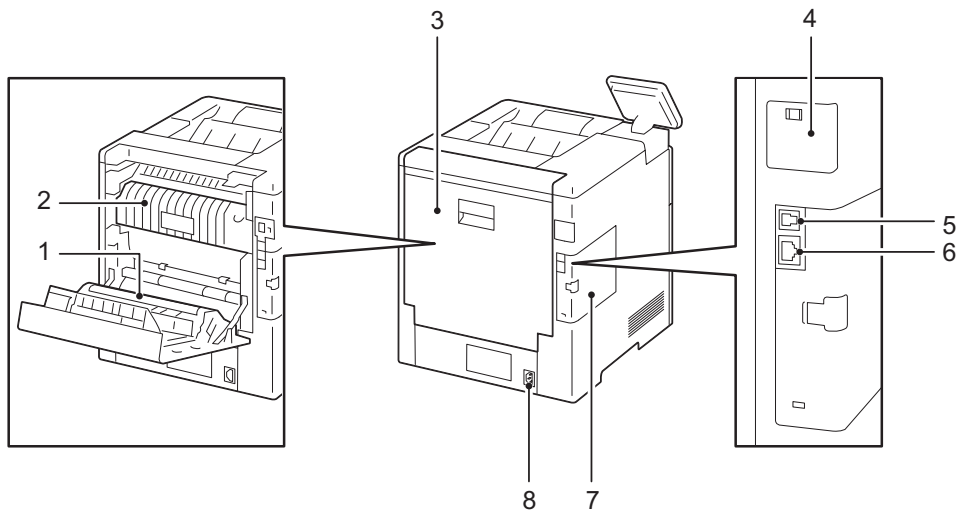
前面部と背面部

前面部



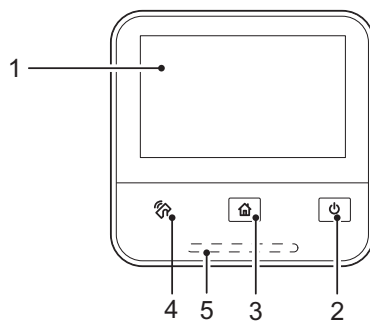
- 1 トレイ 1
- 2 トレイ 2 (オプション)
- 3 トレイ 3 (オプション)
- 4 トレイ 4 (オプション)
- 5 トレイ 5 (オプション)
- 6 右側カバー
- 7 排出延長トレイ
- 8 排出トレイ
- 9 操作パネル
- 10 USB インターフェイスコネクター
- 11 正面カバー
- 12 手差しトレイ

背面部



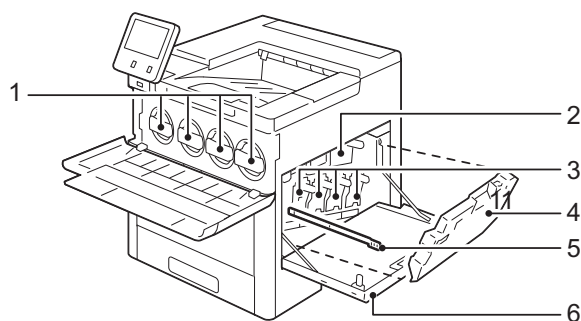
- 1 転写ローラー
- 2 定着ユニット
- 3 背面カバー
- 4 無線 LAN キットポートカバー
- 5 USB インターフェイスコネクタ、タイプ B
- 6 Ethernet インターフェイスコネクタ
- 7 左側パネル
- 8 電源コネクタ

操作パネル



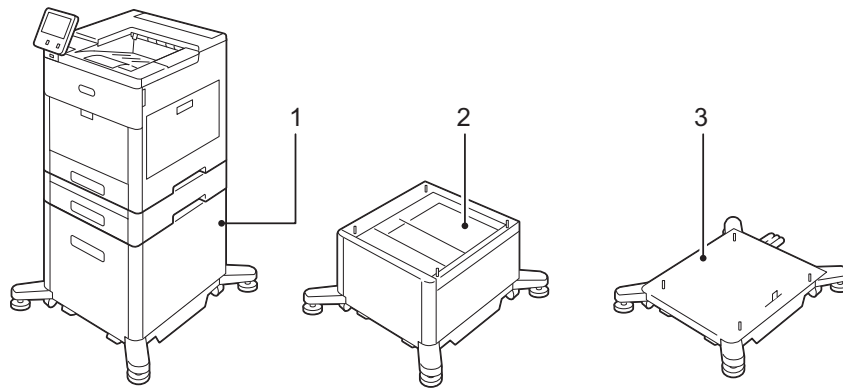
- 1 タッチパネルディスプレイ
- 2 電源ボタン
- 3 ホームボタン
- 4 NFC（NFC は Near Field Communication の略です）
- 5 状態表示ランプ

内部



- 1 トナーカートリッジ
- 2 転写ベルト
- 3 ドラムカートリッジ
- 4 トナー回収ボトル
- 5 清掃棒
- 6 右側カバー

大容量トレイモジュール、専用キャビネット、専用キャスター台（オプション）



- 1 大容量トレイモジュール
- 2 専用キャビネット
- 3 専用キャスター台

操作パネル

ホーム画面について



- 1 ログインボタン
- 2 リセットボタン
- 3 タイル
- 4 カスタマイズボタン

ログインボタン

ログインするときに、このボタンを選択します。

リセットボタン

表示されている各サービスの状態を初期状態に戻すときに押します。電源を入れたときと同じ状態になります。

タイル

各機能のタイルを表示します。

カスタマイズボタン

タイルのレイアウトを変更します。

操作パネルの基本操作

操作パネルはスマートフォンやタブレットと同様に操作できます。

画面の項目を選択する

項目をタップします。

画面またはリストされた項目をスクロールする

画面の上で指をドラッグして画面をスワイプします。

速くスクロールするには、画面をフリックします。

補足

- 画面のデザインと仕様によっては、一部の画面ではスワイプまたはフリックすることができません。この場合は、画面に表示されているボタンをタップして操作してください。

タイルを移動、追加または削除する

タイルのレイアウトを変更するには「カスタマイズ」を押します。

タイルを移動する

移動したいタイルをタップしたまま、移動したい場所にドラッグします。

「完了」をタップして変更を保存します。

タイルを追加する

「追加」をタップして、追加する項目を選択します。

「完了」をタップして変更を保存します。

タイルを削除する

削除したいタイルの「x」アイコンをタップします。

「完了」をタップして変更を保存します。

操作パネルに表示されたキーボードを使用する

操作中、テキスト入力のためにキーボードが表示されることがあります。テキストを入力する方法は、次のとおりです。

- アルファベットを入力する

大文字を入力するには  をタップします。小文字に戻すには、再度  をタップします。大文字入力に固定するには  を 2 回タップします。

アクセント付き文字を入力するには、アクセントを付けたい文字を長押しして、入力したい文字を選択してください。

- 数字や記号を入力する

 をタップします。

さらに記号を入力するには  をタップします。

- 空白を入力する

 をタップします。

- 文字を削除する

文字を 1 文字ずつ削除するには  をタップします。

- 言語を変更する

 をタップします。

- キーボードを閉じる

 をタップします。

言語とキーボードレイアウトを変更する

操作パネルの言語とキーボードレイアウトを変更できます。

- 1 ホーム画面で「機械確認 / 仕様設定」を押します。
- 2 「言語切り替え」を押します。
- 3 言語とキーボードレイアウトを変更するには、「言語」(P.80) を参照してください。

- 4 [言語切り替え]画面の[決定]を押して、設定を保存します。

節電モード移行時間を設定する

プリンターの節電モード移行時間を設定できます。本機を一定時間使用しないと、節電モードに移行します。

- 1 ホーム画面で[機械確認 / 仕様設定]を押します。
- 2 [システム設定]を押して、[省エネルギー設定]を押します。
- 3 [低電力モード移行時間]と[スリープモード移行時間]の値を変更するには、「省エネルギー設定」(P.83)を参照してください。
- 4 [決定]を押します。

4

用紙のセット

用紙について

本機で利用できる用紙について説明します。

適切でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に活用するために、弊社推奨の用紙をご利用いただくことをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

電気を通しやすい紙(折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など)を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

注記

- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

使用できる用紙の質量と枚数

用紙トレイ	規格 (メートル 坪量)	セット可 能枚数 *	用紙の種類
用紙トレイ 1 用紙トレイ 2 ～ 5 (オプション)	60 ～ 220g/m ²	550 枚	普通紙 (60 ～ 90g/m ²) 上質紙 (91 ～ 105g/m ²) 再生紙 (60 ～ 80g/m ²) 厚紙 1 (106 ～ 176g/m ²) 厚紙 2 (177 ～ 220g/m ²) コート紙 1 (106 ～ 176g/m ²) コート紙 2 (177 ～ 220g/m ²) 穴あき紙 (60 ～ 105g/m ²) プレプリント紙 (60 ～ 105g/m ²)
手差しトレイ	60 ～ 220g/m ²	16.5mm まで 150 枚	普通紙 (60 ～ 90g/m ²) 上質紙 (91 ～ 105g/m ²) 再生紙 (60 ～ 80g/m ²) 厚紙 1 (106 ～ 176g/m ²) 厚紙 2 (177 ～ 220g/m ²) コート紙 1 (106 ～ 176g/m ²) コート紙 2 (177 ～ 220g/m ²) 穴あき紙 (60 ～ 105g/m ²) プレプリント紙 (60 ～ 105g/m ²)
大容量トレイ モジュール (オプション)	60 ～ 176g/m ²	2000 枚	普通紙 (60 ～ 90g/m ²) 上質紙 (91 ～ 105g/m ²) 再生紙 (60 ～ 80g/m ²) 厚紙 1 (106 ～ 176g/m ²) コート紙 1 (106 ～ 176g/m ²) 穴あき紙 (60 ～ 105g/m ²) プレプリント紙 (60 ～ 105g/m ²)

*: 弊社 P 紙の場合

注記

- プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙でプリントしたり、サポートしていない用紙トレイにセットしてプリントしたりすると、紙づまりの原因になります。適正なプリントをするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

使用できる用紙の種類

標準紙

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。より鮮明にプリントをするためには、弊社では次の標準紙を推奨しています。

- P 紙、C²（シーツー）

準標準紙

標準紙以外にも、下記の用紙を使用できます。

使用できる用紙の種類

用紙トレイ	用紙の種類	メートル坪量 (単位: g/m ²)
用紙トレイ 1 用紙トレイ 2～5 (オプション) 手差しトレイ	再生紙	60～80g/m ²
	ユーザー定義用紙	60～90g/m ²
	上質紙 穴あき紙 レターヘッド紙 普通紙 プレプリント紙	75～105g/m ²
	厚紙 1 コート紙 1	106～176g/m ²
	厚紙 2 コート紙 2	177～220g/m ²
	ラベル紙 2	-
大容量トレイモジュール (オプション)	再生紙	60～80g/m ²
	ユーザー定義用紙	60～90g/m ²
	上質紙 穴あき紙 レターヘッド紙 普通紙 プレプリント紙	75～105g/m ²
	厚紙 1 コート紙 1	106～176g/m ²
用紙トレイ 1 手差しトレイ	封筒	-

注記

- 薬袋は用紙トレイ 1、用紙トレイ 2～5（オプション）、手差しトレイから使用できます。
用紙の種類は、厚紙 1、もしくは「マチ付き薬袋モード設定手順」(P.78) を参照して、[ユーザー用紙 1] を [普通紙 (S)] に設定してください。

使用できない用紙

弊社が推奨していない用紙を使用された場合、故障や用紙づまりの原因になります。本製品には、弊社が推奨する用紙をご使用ください。

- 電飾フィルム
- 105g/m²以下のコート紙(J コート紙、JD コート紙を除く)
- 色地用布地転写用紙
- インクジェット専用紙
- インクジェット用郵便はがき
- 黒い折り紙 (全サイズ)
- 一度プリントしたラベル紙
- ゼログラフィックフォトペーパー
- 定着の熱で変質するインクを使った用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- しわや折れ、破れのある用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 静電気で密着している用紙
- 表面が特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字がぼやけることがあります。
そのときは中性紙に替えてください。
- タックフィルム (金色、銀色)
- OK トップコート N(128g/m²)
- アートフラックス
- 一度プリントした用紙がベタ黒の場合
- カラーコピー用高級和紙
- ノンカーボン紙
- ST 紙 (A3)
- スーパートレース 55/60
- ハイトレース
- GT60、GT70、GT75、GX65
- WT75
- デジタルコート紙 (光沢タイプ)
- 布地転写用紙
- 水転写紙
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないもの
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面加工したカラー用紙
- カーボン紙
- OS コート W127 (A4、A3、SRA3)
- スタートレース
- 第二原図用紙 TX、MX

用紙の保管と取り扱い

■用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

- 用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。

■用紙をトレイにセットする前に、次の事項を守ってください。

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- 折りめ、しわが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

用紙をセットする

ここでは、用紙トレイに用紙をセットする方法について説明します。

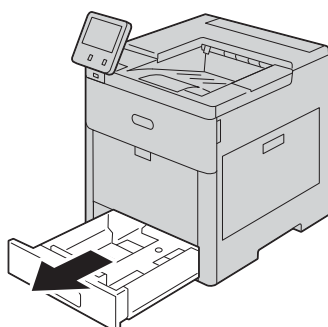
用紙トレイ 1 ～ 5 に用紙をセットする

用紙トレイ 1 ～ 5 に用紙をセットする手順について説明します。

補足

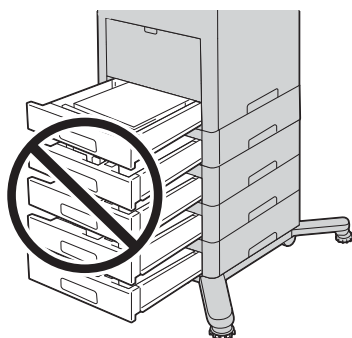
- 用紙トレイの長さを、A4、A5、B5、レター (8.5×11")、リーガル (8.5×14") の範囲で調整できます。リーガルサイズの長さをお使いの場合、用紙トレイがプリンターの正面からはみ出します。

- 1 用紙トレイが止まるまで引き出し、用紙トレイの手前を少し持ち上げます。用紙トレイを本体から取り外します。

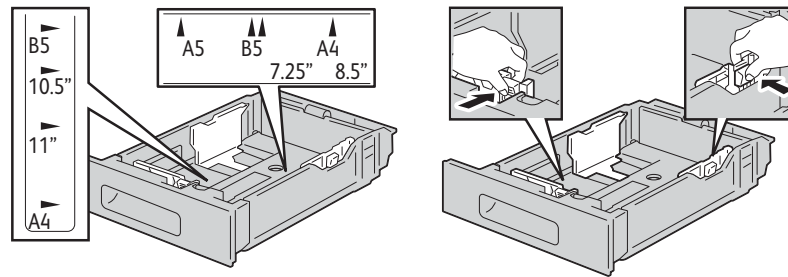


注記

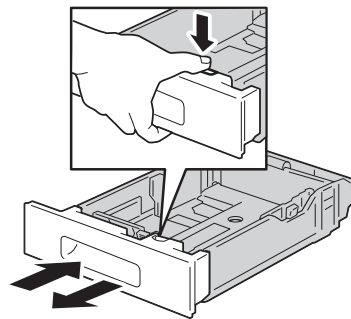
- 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機械全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



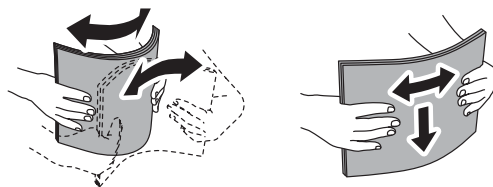
- 2 リーガルサイズ以外の用紙サイズをセットする場合は、図のように用紙ガイドを合わせます。



リーガルサイズ用の紙をセットする場合は、用紙トレイの前面にあるリリースラッチを押さえながら、手前に引きます。



- 3 紙づまりやミスフィードを防ぐために、用紙をよくさばいてから、平らな場所で用紙の先端をそろえます。

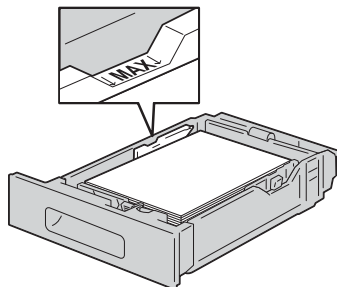


- 4 印刷面を上にして用紙をトレイにセットします。
- 穴あき紙は穴が左側にくるようにセットします。
 - ラベル紙は印刷面を上にしてトレイにセットします。

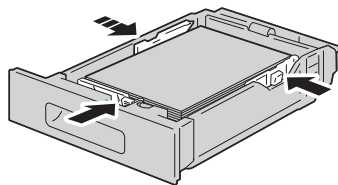
- レターヘッドとプレプリント紙は印刷面を下にして用紙の先端がプリンターの給紙方向にくるようにセットします。

補足

- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



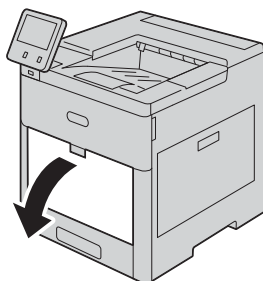
- 5 用紙ガイドを、セットした用紙に軽く合わせます。



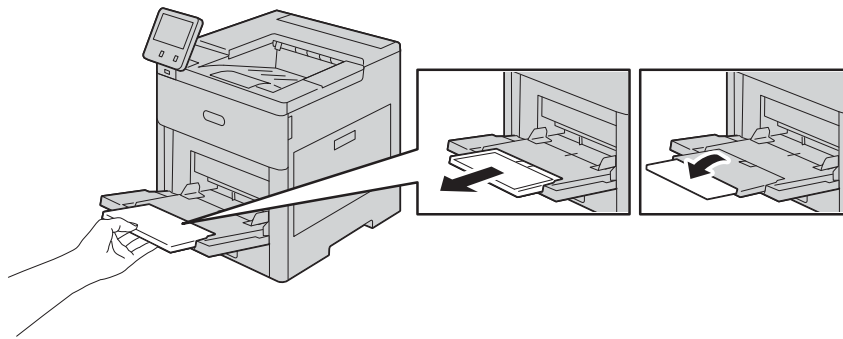
- 6 用紙トレイをプリンターに押し込みます。

手差しトレイに用紙をセットする

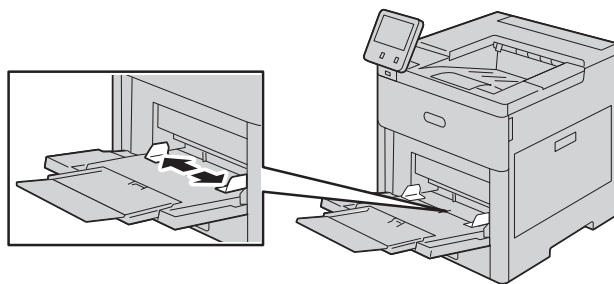
- 1 手差しトレイを開きます。手差しトレイに用紙がセットされている場合、すべての用紙を取り除きます。



- 2 大きいサイズの下紙をセットする場合は、延長トレイを引き出します。



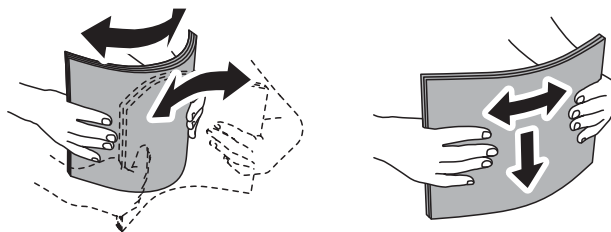
- 3 用紙ガイドをトレイの外側に動かします。



- 4 紙づまりやミスフィードを防ぐために、用紙をよくさばいてから、平らな場所で用紙の先端をそろえます。

補足

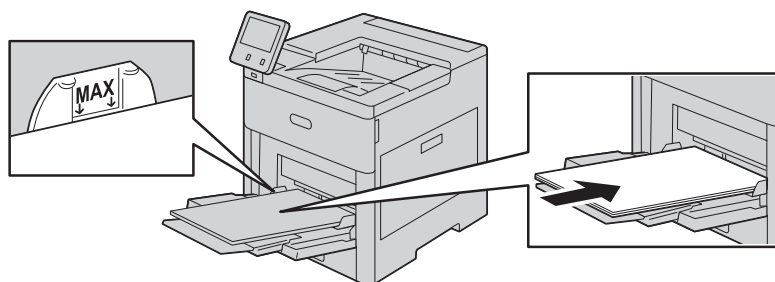
- 用紙を使用するまで開封しないでください。



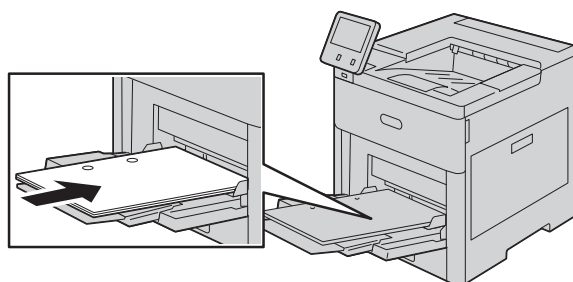
5 用紙をトレイにセットします。

補足

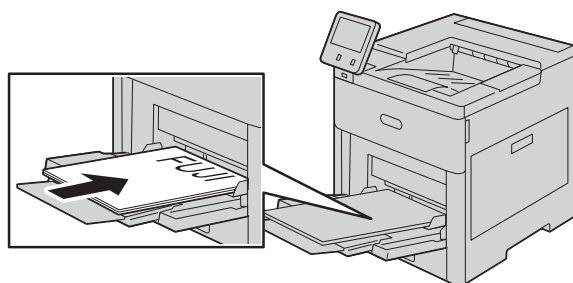
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



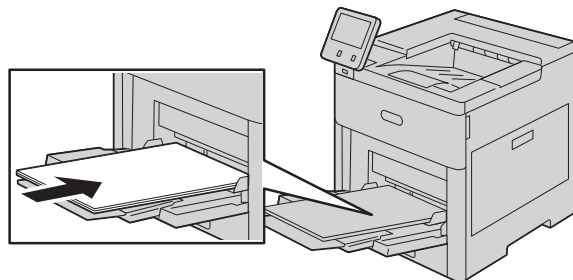
- 穴あき紙は穴が左側にくるようにセットします。



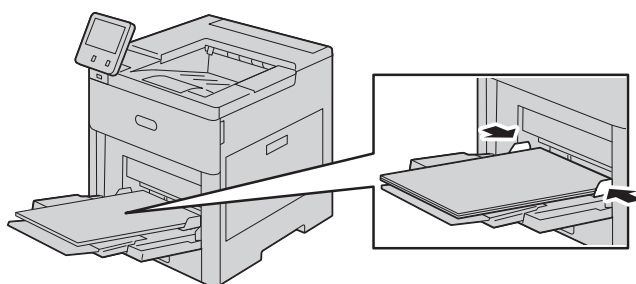
- 片面印刷の場合、レターヘッドとプレプリント紙は印刷面を上にして、用紙の先端がプリンターの給紙方向にくるようにセットします。



- 両面印刷の場合、レターヘッドとプレプリント紙は印刷面を下にして、用紙の先端がプリンターの給紙方向にくるようにセットします。



- 6 用紙ガイドをセットした用紙に合わせます。



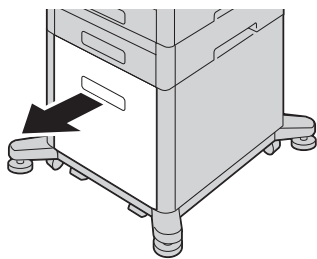
- 7 [トレイの使用形態]が[標準]の場合、用紙サイズ、用紙種類、用紙の色を設定します。

- 1) 用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色が正しい場合、[OK]を選択してください。
- 2) 用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色が正しくない場合、設定を変更してください。
 - 用紙サイズを設定するには、現在の用紙サイズをタップして、適切なサイズを選択してください。
 - 用紙種類を設定するには、現在の用紙種類をタップして、適切な種類を選択してください。
 - 用紙の色を設定するには、現在の用紙の色をタップして、適切な色を選択してください。
- 3) [OK]を選択して設定を保存します。

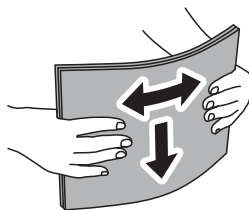
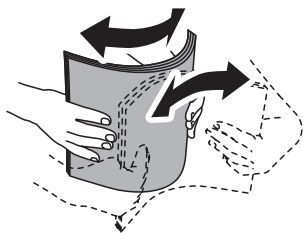
大容量トレイモジュールに用紙をセットする

大容量トレイモジュールは 8.5×11" / A4 用紙のみに対応しており、たて置きにセットします。

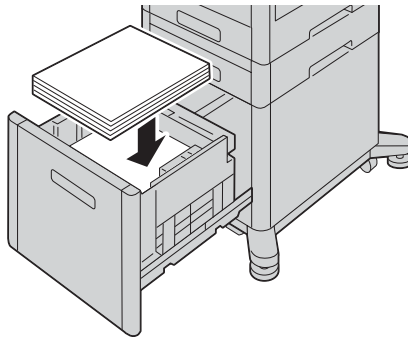
- 1 用紙トレイを、手前に止まるまでゆっくり引き出します。



- 2 紙づまりやミスフィードを防ぐために、用紙をよくさばいてから、平らな場所で用紙の先端をそろえます。

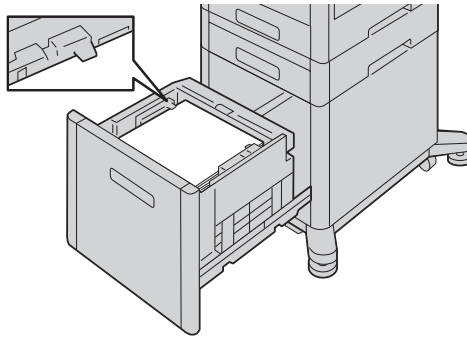


3 用紙をトレイにセットします。

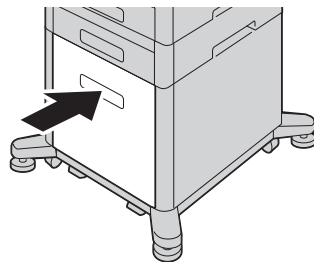


補足

- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



4 奥に突き当たるまで、用紙トレイを押し込みます。



5 [トレイの使用形態]が[標準]の場合、用紙サイズ、用紙種類、用紙の色を設定します。

- 1) 用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色が正しい場合、[決定]を選択してください。
- 2) 用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色が正しくない場合、設定を変更してください。
 - 用紙サイズを設定するには、現在の用紙サイズをタップして、適切なサイズを選択してください。
 - 用紙種類を設定するには、現在の用紙種類をタップして、適切な種類を選択してください。

- 用紙の色を設定するには、現在の用紙の色をタップして、適切な色を選択してください。

3) [決定] を選択して設定を保存します。

トレイの使用形態の設定

トレイの使用形態は、用紙が重複したときや不一致であるときに、プリンターの動作を定義します。

手差しトレイの使用形態の設定

1 ホームボタンを押します。

補足

- 管理者権限のあるユーザーとしてログインしてください。

2 [機械確認 / 仕様設定] > [用紙トレイ] を押します。

3 [手差しトレイ] を押します。

4 [トレイの使用形態] を押します。

5 トレイの使用形態を選択します。

- 手差しトレイに用紙がセットされている場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。手差しトレイモードは、トレイを指定した場合を除き、すべてのプリントについて手差しトレイを既定のトレイとして設定します。
- [標準] は手差しトレイに用紙がセットされている場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。

6 [決定] を選択して設定を保存します。

7 ホームボタンを押します。

トレイ 1 ～ 5、大容量トレイモジュールの使用形態の設定

1 ホームボタンを押します。

補足

- 管理者権限のあるユーザーとしてログインしてください。

2 [機械確認 / 仕様設定] > [用紙トレイ] を押します。

3 トレイを選択します。

4 [トレイの使用形態] を押します。

5 トレイモードを選択します。

- [標準] は手差しトレイに用紙がセットされている場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。
- [指定用紙専用] は現在の用紙サイズと用紙種類の設定を使い、設定の確認または変更を要求しません。レターサイズや穴あき紙など、特定の用紙種類や用紙サイズをプリントするときに、このモードを選択してください。

- 6 「決定」を選択して設定を保存します。
- 7 ホームボタンを押します。

特殊紙にプリントする

封筒

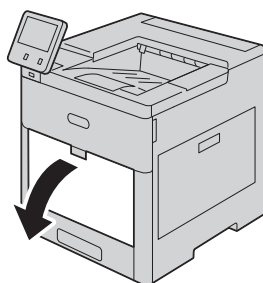
封筒はトレイ1と手差しトレイからプリントできます。

封筒にプリントする場合のガイドライン

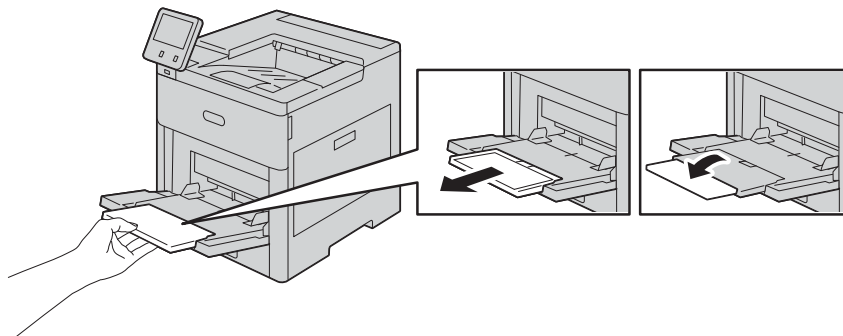
- 紙封筒のみをお使いください。
- 窓が付いた封筒や留め金のある封筒を使用しないでください。
- 印字品質は、封筒の品質や構造により異なります。目的の結果を得られない場合、他のブランドの封筒をお試しください。
- 一定の温度と相対湿度を保ってください。
- 使っていない封筒は、過度な湿気や乾燥による印字品質の低下やしわを避けるために、包装して保管してください。過度な湿気により、封筒がプリント前またはプリント中に閉じてしまうことがあります。
- 封筒をトレイにセットする前に、重たい本をのせて気泡を取り除いてください。
- プリンタードライバースoftwareで用紙種類を封筒に選択してください。
- パッド入りの封筒を使用しないでください。平らな場所で水平になる封筒をお使いください。
- 熱活性接着のりの付いた封筒を使用しないでください。
- フラップにのりの付いた封筒を使用しないでください。

手差しトレイに封筒をセットする

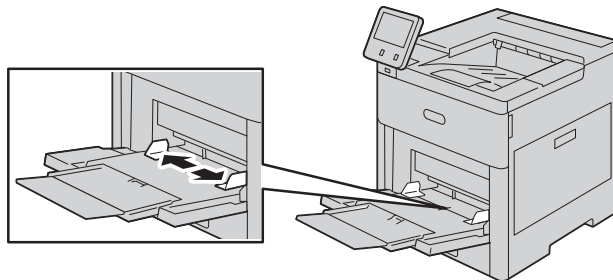
- 1 手差しトレイを開きます。



- 2 大きいサイズの封筒をセットする場合は、延長トレイを引き出します。



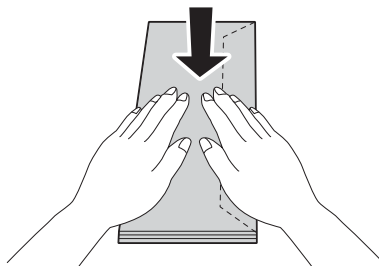
- 3 用紙ガイドをトレイの外側に動かします。



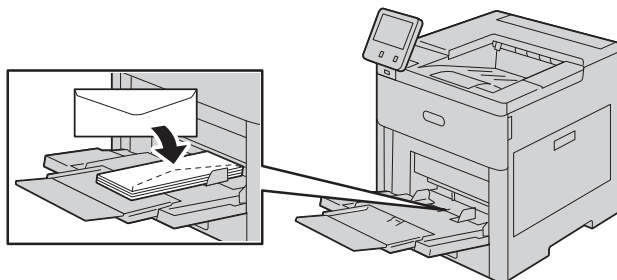
- 4 以下のいずれかの方法で封筒をセットしてください。

補足

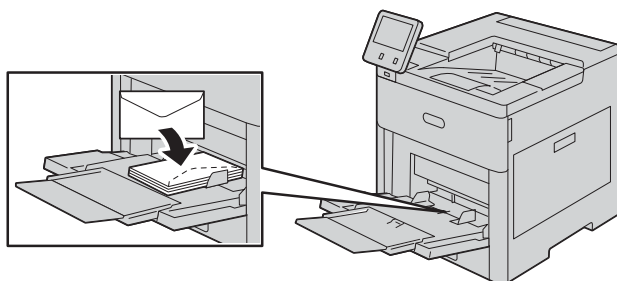
- 紙づまりを防ぐため、封筒をセットしたきに本体側となる端は、平らになっているか、わずかに (5mm 以下) 上向きにカールしていることを確認してください。端が大きくカールしたりふくらんでいる場合は、封筒を反らせるなどしてカールやふくらみをのばしてください。カールの長さは 8 ～ 10mm の間である必要があります。また、端が下向きにカールしていると、紙づまりやミスフィードの原因となります。
- 封筒の高さは 16.5mm 以内にセットしてください。ブランド、サイズ、テクスチャーによって、約 10 ～ 20 枚の封筒をセットできます。
- 封筒を包装材から開封した後、すぐに手差しトレイにセットしないときは、封筒がふくらむ場合があります。紙づまりを防ぐために、封筒を平らにしてからトレイにセットしてください。



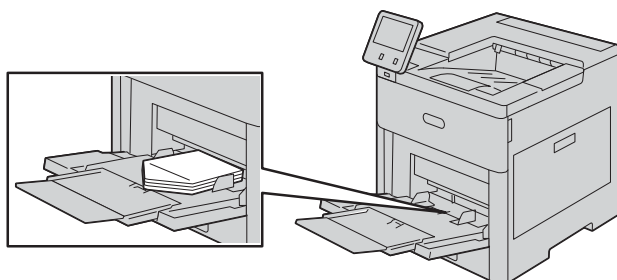
- 洋形 10 号の封筒は、封筒の短辺を本体側に向け、フラップを下向きにして右側に寄せてセットしてください。



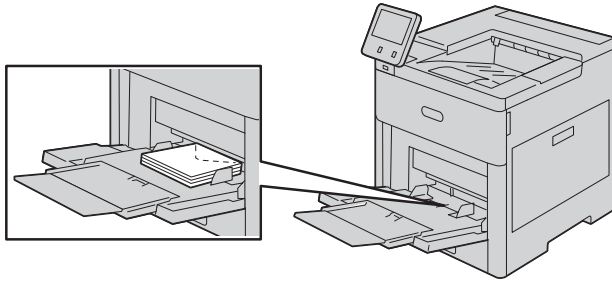
- モナークまたは DL 封筒は、次のいずれかの手順でセットしてください。封筒にしわが生じる場合は、他の手順を試してください。
 - 封筒の短辺を本体側に向け、フラップを下向きにして右側に寄せてセットしてください。



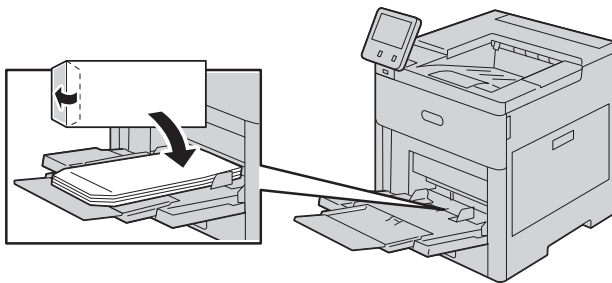
- 封筒の印刷面を上に向け、フラップを開いた状態で下に向け、封筒の下辺を本体側に向けてセットしてください。



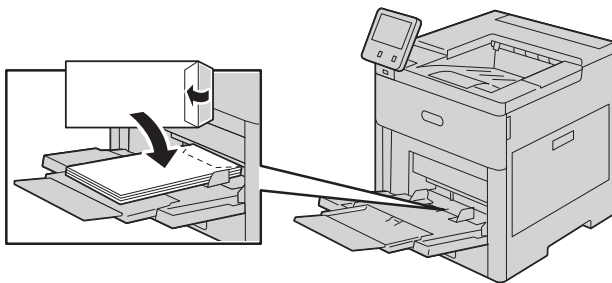
- 封筒の印刷面を上に向け、フラップを閉じた状態で下に向け、フラップを本体側に向けてセットしてください。



- C5 封筒は、次のいずれかの手順でセットしてください。封筒にしわが生じる場合は、他の手順を試してください。
- 封筒の印刷面を上に向け、フラップを開いた状態で下に向け、封筒の下辺を本体側に向けてセットしてください。



- 封筒の印刷面を上に向け、フラップを開いた状態で下に向け、封筒の短辺を本体側に向けてセットしてください。



補足

- 正しくプリントするには、封筒のフラップを開いた状態でセットしてください。必要に応じて、プリンタードライバーで「たて原稿」または「よこ原稿」を選択します。画像を反転させるには「原稿 180° 回転」を押します。

5 用紙ガイドをセットした封筒に合わせます。

6 [トレイの使用形態]が[標準]の場合、用紙サイズ、用紙種類、用紙の色を設定します。

1) 用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色が正しい場合、[決定]を選択してください。

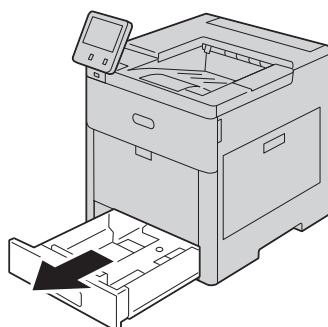
2) 用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色が正しくない場合、設定を変更してください。

- 用紙サイズを設定するには、現在の用紙サイズをタップして、適切なサイズを選択してください。
- 用紙種類を設定するには、現在の用紙種類をタップして、[封筒]を選択してください。
- 封筒の色を設定するには、現在の用紙の色をタップして、適切な色を選択してください。

3) [決定]を選択して設定を保存します。

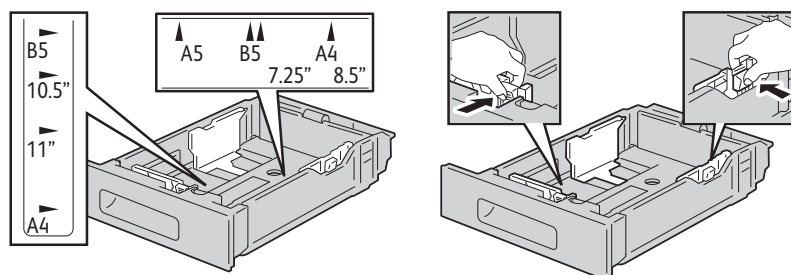
トレイ 1 に封筒をセットする

1 用紙トレイを止まるまで引き出し、用紙トレイの手前を少し持ち上げます。用紙トレイを本体から取り外します。



2 すべての用紙を取り除きます。

3 図のように用紙ガイドの位置に調整します。

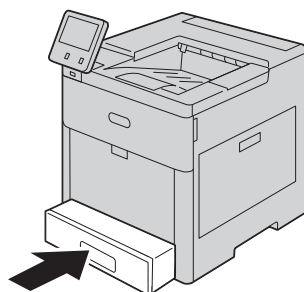


4 封筒のフラップを閉じた状態で下に向け、封筒の短辺をプリンターの給紙方向にセットします。

補足

- 50 枚（高さ 45mm）以上の封筒をセットしないでください。

- 5 セットした封筒が用紙ガイドでしっかり固定されているか確認します。
- 6 トレイ 1 を奥まで差し込みます。



- 7 [トレイの使用形態]の設定が[標準]の場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。
 - 1) 同じ用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色を選択する場合、[決定]を押します。
 - 2) 用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色が正しくない場合、設定を変更します。
 - 用紙サイズを設定するには、現在の用紙サイズをタップして、リストから[サイズ入力]を押します。長さの領域をタッチして値を選択します。幅の領域をタッチして値を選択します。[決定]を押します。
 - 用紙種類を設定するには、現在の用紙種類をタップして、リストから[封筒]を押します。
 - 用紙の色を設定するには、現在の用紙の色をタップして、リストから適切な色を選んでください。
 - 3) [決定]を押して設定を保存します。
- 8 コンピューターの[印刷]ダイアログから用紙設定の値を選択して、[OK]を押します。封筒へのプリントを始めるには、[印刷]を押します。

ラベル紙

ラベル紙は手差しトレイまたはトレイ 1 からプリントできます。

ラベル紙にプリントする場合のガイドライン

- レーザー印刷を目的としたラベル紙を使用してください。
- ビニールラベル紙は使用しないでください。
- プリンターで搬送されたラベル紙は給紙しないでください。
- 接着剤が乾いたラベル紙は使用しないでください。
- ラベル紙は片面のみ印刷してください。ラベルの一部が、はがれた用紙は使わないでください。
- 未使用のラベル紙は出荷時の包装材でしっかりくるみ、平らな場所で保管してください。
- ラベル紙を、高温または低温な環境に保管しないでください。極度の環境でラベル紙を保管すると、用紙の劣化により、紙づまりや故障の原因になります。

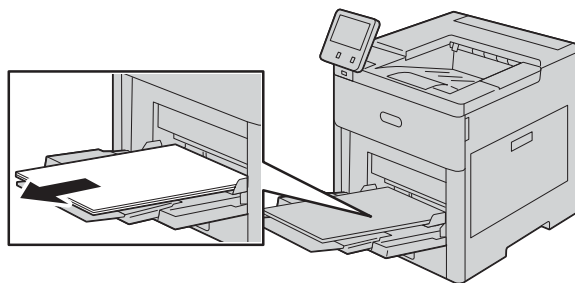
- 頻繁にラベル紙の予備を入れ替えてください。極度の環境で長期間保管すると、ラベル紙のカールや紙づまりの原因になります。
- プリンタードライバーソフトウェアで、用紙種類をラベル紙に設定します。
- ラベル紙をセットする前に、トレイ内の用紙はすべて取り除きます。

注記

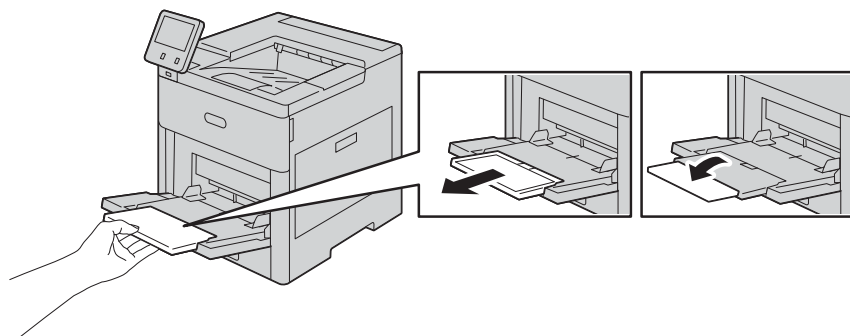
- ラベルが欠けている、丸まっている、または裏紙から引きはがされている用紙は使用しないでください。プリンターの故障の原因になります。

手差しトレイのラベルをセットする

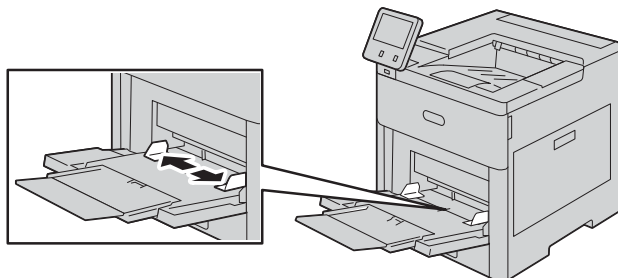
- 1 手差しトレイを開きます。すでにトレイが開いている場合、サイズや種類が異なる用紙をすべて取り除きます。



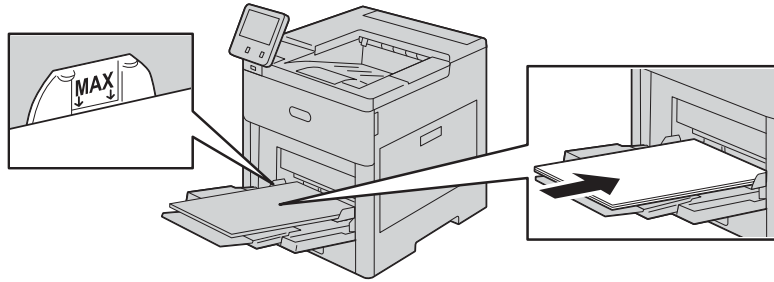
- 2 大きいサイズの下紙をセットする場合は、延長トレイを引き出します。



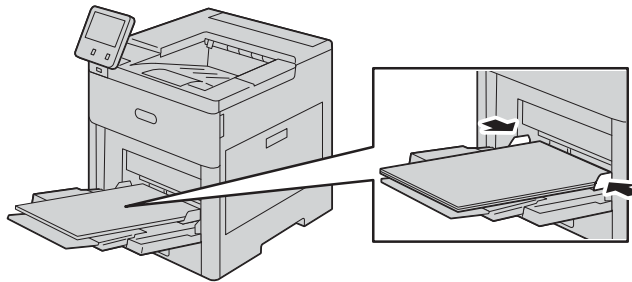
- 3 用紙ガイドをトレイの外側に動かします。



- 4 印刷面を上にして、用紙の先端が本体側になるように、手差しトレイにラベル用紙をセットしてください。



- 5 用紙ガイドをセットした用紙に合わせます。

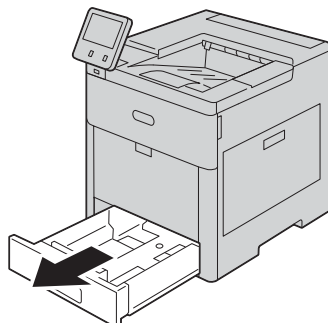


- 6 用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色を確認します。

- 1) 用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色が正しい場合、[決定] を選択してください。
- 2) 用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色が正しくない場合、設定を変更してください。
 - 用紙サイズを設定するには、現在の用紙サイズをタップして、適切なサイズを選択してください。
 - 用紙種類を設定するには、現在の用紙種類をタップして、適切な種類を選択してください。
 - 用紙の色を設定するには、現在の用紙の色をタップして、適切な色を選択してください。
- 3) [決定] を押して設定を保存します。

トレイ 1 にラベル用紙をセットする

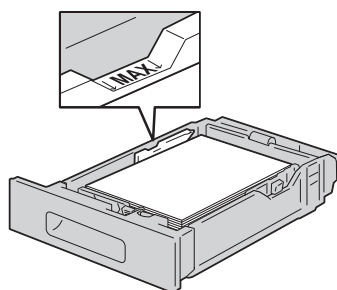
- 1 用紙トレイが止まるまで引き出し、用紙トレイの手前を少し持ち上げます。用紙トレイを本体から取り外します。



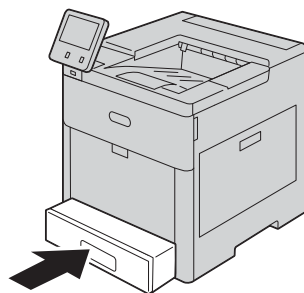
- 2 用紙ガイドをセットした用紙に合わせます。
- 3 ラベル用紙を上向きにしてトレイにセットします。

補足

- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



- 4 トレイ 1 を奥まで差し込みます。



5 [トレイの使用形態] の設定が [標準] の場合、ラベル用紙の用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色を確認します。

- 1) 同じ用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色を選択する場合、[決定] を押します。
- 2) 用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色が正しくない場合、設定を変更してください。
 - 用紙サイズを設定するには、現在の用紙サイズをタップして、リストから適切なサイズを選択してください。
 - 用紙種類を設定するには、現在の用紙種類をタップして、リストから [ラベル紙] を選択してください。
 - 用紙の色を設定するには、現在の用紙の色をタップして、リストから適切な色を選択してください。
- 3) [決定] を選択して設定を保存します。

薬袋

薬袋は大容量トレイモジュールを除き、すべての用紙トレイからプリントできます。薬袋を手差しトレイ、またはトレイ 2～5 にセットする場合は、以下の手順に従って、正しい向きでセットしてください。

補足

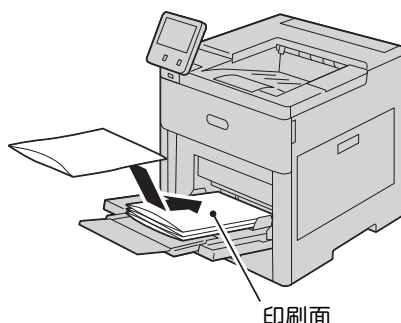
- 正しくプリントするには、プリンタードライバーで [原稿 180° 回転] を設定してください。

注記

- 角底やマチ付薬袋に印刷して、紙しわ、文字や画像の残像、裏面汚れが発生する場合は、用紙種類から [封筒] を選択して印刷してください。ただし、印刷の速度が低下しますので、あらかじめご了承ください。また、用紙折り返し部から 10mm の範囲を印刷領域から除くことでも、文字や画像の残像、裏面汚れを防ぐことができます。この場合は通常で印刷できます。
- 角底薬袋は用紙トレイの「角底薬袋 MAX」と書かれたラベルより下になるようにセットしてください。これ以上セットすると給紙できない場合があります。最大セット可能枚数は 20 枚が目安です。
- 角底薬袋が定着部付近で紙づまりした場合は、薬袋を必ず上から抜いて取り除いてください。ただし、定着部の用紙ガイドを開いて、紙を掴めないほど（約 2cm 未満）しか出ていない場合は、下から取り除きます。

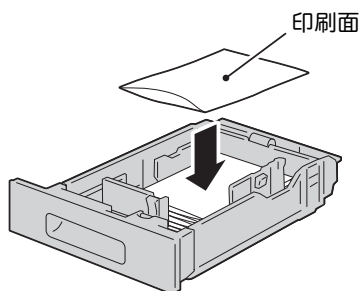
手差しトレイに薬袋をセットする

- 1 印刷面を上にし、開口部が手前にくるようにセットします。



トレイ 2 ～ 5 に薬袋をセットする

- 1 印刷面を上にし、開口部が手前にくるようにセットします。



長尺用紙

長さ 450mm までの長尺用紙を手差しトレイからプリントできます。

4

長尺用紙にプリントする場合のガイドライン

- 長尺用紙は手差しトレイに 1 枚ずつセットしてください。
- 長尺用紙をプリントする場合は、手差しトレイから落下しないよう、セットした長尺用紙を手で支えてください。
- 長尺用紙プリントは両面印刷に対応していません。
- 長尺用紙にプリントすると画質不良が発生する場合があります。
- 排出用紙は本機から落下しないよう手で支えてください。

5

プリント

プリント

ここでは、印刷のヒント、本機から情報を印刷する方法およびジョブを中止する方法を説明します。

補足

- 共通プリンタードライバーをご使用のお客様は、公式ホームページからダウンロード下さい。

URL: https://www.fujixerox.co.jp/download/software/cmn_prt_drv

ジョブを送信する

プリンターの機能をすべて活用するために、プリンタードライバーをインストールします。アプリケーションから「印刷」を選択すると、プリンタードライバーのウィンドウが開きます。印刷するファイルに適した設定をします。ドライバーから選択した印刷設定は、操作パネルから選択されたデフォルト設定に優先します。

「印刷」ダイアログボックスから「詳細設定」をクリックすると、使用可能なシステム設定がすべて表示されます。プリンタードライバーウィンドウの使い方がわからない場合は、ヘルプを参照してください。

一般的な Microsoft® Windows® アプリケーションからファイルを印刷するには：

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 3 ダイアログボックスでプリンターが正しく選択されていることを確認します。必要に応じて印刷設定を変更してください。
- 4 「詳細設定」をクリックして最初の画面では変更できない印刷設定を変更し、「OK」をクリックします。
- 5 「OK」または「印刷」をクリックして、選択したプリンターにジョブを送信します。

プリントジョブを中止する

操作パネルまたはコンピューターからジョブをキャンセルできます。

操作パネルからジョブを中止する

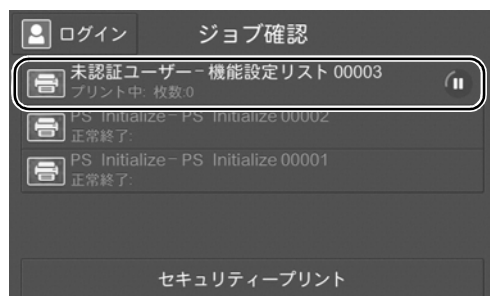
■「ジョブ確認」画面からジョブを中止する

- 1 ホームボタンを押します。

2 [ジョブ確認] を選択します。



3 削除するジョブを選択します。



4 [はい (中止する)] を選択します。



■ バナーからジョブを中止する

1 印刷中に表示されるバナーの一時停止ボタンをタップします。



補足

- バナーの右端にある矢印ボタンをタップすると、バナーは非表示になります。バナーが非表示になっているときは、[ジョブ確認] 画面からジョブを中止してください。

- 2 「はい（中止する）」を選択します。



コンピューターからジョブを中止する

■タスクバーからジョブを中止する（Windows® のみ）

印刷するジョブを送信すると、小さなプリンターアイコンがタスクバーの右下隅に表示されます。

- 1 プリンターアイコンをダブルクリックします。
プリントジョブの一覧がプリンターウィンドウに表示されます。
- 2 中止するジョブを選択します。
- 3 キーボードの < Delete > キーを押します。

■Dock からジョブを中止する（OS X のみ）

印刷するジョブを送信すると、プリンターアイコンが Dock に表示されます。
ここでは、OS X 10.10 を例に説明します。

- 1 プリンターアイコンをクリックします。
プリントジョブの一覧がプリンターウィンドウに表示されます。
- 2 左側にあるジョブの削除ボタンをクリックします。

両面印刷

両面印刷では、用紙の両面に印刷できます。

両面ユニットを使用した両面印刷

■Windows の場合：

ここでは、Windows® 7 および Windows® 10 の一般的な Windows® プログラムを例に説明します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 プログラムからプリントダイアログボックスを開きます。
- 3 プリンタードライバーを選択し、[詳細設定] > [全般] の順にクリックします。
- 4 用紙のドロップダウンリストボックスで、用紙トレイを選択します。

- 5 [両面] ドロップダウンリストボックスで、[長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

参照

- [長辺とじ] および [短辺とじ] については、「中とじ印刷」(P.67) を参照してください。

- 6 [OK] をクリックします。

- 7 [印刷] をクリックします。

■ OS X の場合：

ここでは、OS X 10.10 でのテキストエディットの使用を例に説明します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。
- 3 ダイアログボックスで [両面] チェックボックスが選択されていることを確認します。
- 4 プリントオプションのポップアップメニューで、[レイアウト] を選択します。
- 5 [両面] ドロップダウンリストから [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。
- 6 [プリント] をクリックします。

中とじ印刷

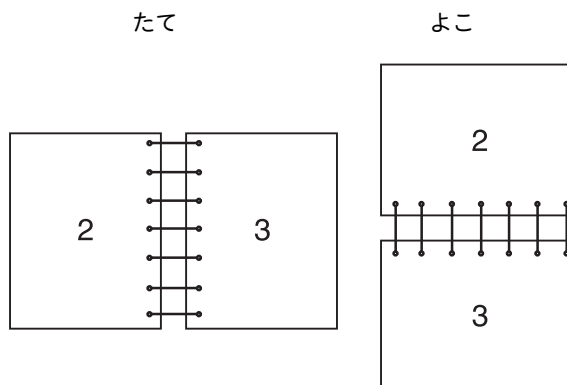
中とじ印刷機能を使用するには、[レイアウト] タブの [中とじ印刷] で [有効] チェックボックスを選択します。

補足

- XML Paper Specification (XPS) または PS ドライバーを使用する場合は、中とじ印刷は使用できません。
- 中とじ印刷機能を使用する場合は、[両面] で [長辺とじ] を選択する必要があります。

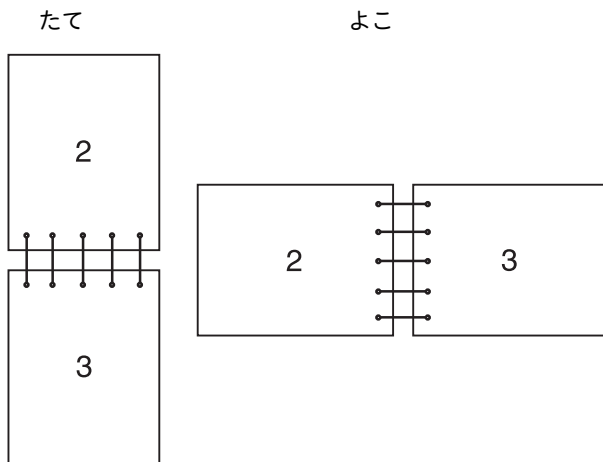
長辺とじ

ページの長辺（たて方向の場合の左辺、よこ方向の場合の上辺）でとじることを想定しています。下図はたてページとよこページそれぞれの長辺とじを表しています。



短辺とじ

ページの短辺（たて方向の場合の上辺、よこ方向の場合の左辺）でとじることが想定しています。下図はたてページとよこページそれぞれの短辺とじを表しています。



蓄積プリント機能を使用する

本機へジョブを送信する際に、本機のメモリーにジョブを蓄積させるかどうかをプリンタードライバーで指定できます。そのジョブを印刷する準備ができたときに、本機の操作パネルメニューを使用して、メモリーの中から印刷するジョブを指定します。

補足

- 本機の電源を切ると、メモリー内のデータは削除されます。
- ジョブは 400 MB まで蓄積できます。
- ひとつのユーザー ID あたり最大 200 個のプリントジョブを格納できます。
- 蓄積可能容量またはジョブの蓄積可能数の上限に達すると、プリントジョブが中止され、通知が表示されます。

概要

プリンタードライバーで次のジョブタイプを指定できます。

■セキュリティプリント

パスワードで保護したプリントジョブをメモリーに一時的に蓄積できます。パスワードを知るユーザーが操作パネルからそのジョブを印刷できます。この機能は機密文書の印刷に適しています。蓄積されたジョブは、印刷後または設定時間後に削除されます。

■サンプルプリント

ソートされたプリントジョブがメモリーに蓄積され、印刷結果の確認用に 1 部のみ自動的に印刷されます。印刷結果に問題がなければ、複数部数の印刷を選択できます。一度に大量のミスプリントが発生するのを防ぎます。

■セキュリティプリントおよびサンプルプリントを使用する

セキュリティプリントまたはサンプルプリント機能を使用するには、プリンタードライバーの [全般] タブで [プリント種類] から [セキュリティプリント] または

〔サンプルプリント〕を選択します。操作パネルから印刷を指定するまで、ジョブはメモリーに蓄積されます。

補足

- セキュリティプリントではパスワードを指定する必要があります。
- プリンタードライバーの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

蓄積されたジョブを印刷する

補足

- 蓄積プリント機能は、PCL ドライバーまたは PS ドライバーを使用している場合に使用できます。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 〔ジョブ確認〕を選択します。
- 3 印刷するジョブを選択します。

■操作パネルからセキュリティプリントジョブを印刷する

ここでは、セキュリティプリントジョブを印刷する方法を説明します。

◆簡易認証以外でログインしている場合：

認証機能が有効で、セキュリティプリントジョブのユーザー ID がログイン中のユーザー ID と一致する場合は、プリンタードライバーで指定したパスワードを入力しなくてもセキュリティプリントジョブにアクセスできます。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 〔ジョブ確認〕を選択します。
- 3 〔セキュリティープリント〕を選択します。
- 4 セキュリティプリントジョブが表示されます。印刷するジョブを選択します。

補足

- すべてのジョブを印刷する場合は、〔すべてをプリント〕を選択します。すべてのジョブを削除する場合は、〔すべてを削除〕を選択します。

◆ログインしていない場合：

認証機能が無効の場合または簡易認証を使用してログインしている場合は、次の手順を使用します。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 〔ジョブ確認〕を選択します。
- 3 〔セキュリティープリント〕を選択します。
- 4 セキュリティプリントユーザーのフォルダーが表示されます。自分のフォルダーを選択します。
- 5 プリンタードライバーで指定したパスワードを入力して〔OK〕ボタンを選択します。

6 セキュリティプリントジョブが表示されます。印刷するジョブを選択します。

補足

- すべてのジョブを印刷する場合は、[すべてをプリント] を選択します。すべてのジョブを削除する場合は、[すべてを削除] を選択します。

USB から印刷する

[USB プリント] 機能を使用すると、USB メモリーに保存されたファイルを、コンピューターを使用せずに印刷できます。

USB メモリーから直接印刷できるのは、次のファイル形式のファイルです。

- PDF
- TIFF
- JPEG
- XPS (XML Paper Specification)
- EXIF2.0-2.2

注記

- 本機が損傷する可能性があるため、USB メモリー以外の機器を本機の正面にある USB インターフェイスコネクタに接続しないでください。
- 本機が印刷を完了するまで、USB インターフェイスコネクタから USB メモリーを取り外さないでください。

印刷手順

- 1 USB メモリーを USB インターフェイスコネクタに挿します。
- 2 印刷するファイルを選択します。
- 3 [OK] を選択します。
- 4 [印刷] を選択します。

Wi-Fi Direct で印刷する

ここでは、Wi-Fi Direct での印刷について説明します。Wi-Fi Direct では、コンピューター、スマートフォン、タブレットなどの Wi-Fi モバイル端末を Wi-Fi ネットワークを経由して直接本機に接続できます。Wi-Fi Direct を使用すると、Wi-Fi モバイル端末に保存してある文書、写真、メールを無線アクセスポイントを経由することなく直接印刷できます。

補足

- Wi-Fi Direct は本機が無線 LAN ネットワークに接続している場合も使用できます。
- Wi-Fi Direct ではプリント機能のみを使用できます。
- Wi-Fi Direct ネットワークには 3 台までの機器を接続できます。
- 本機の Wi-Fi Direct ネットワークを介してモバイル端末をインターネットに接続することはできません。
- Wi-Fi インフラストラクチャモードで本機がネットワークへの接続に使用するチャネルは、モバイル端末が Wi-Fi Direct を経由して本機に接続するのに使用するチャネルとは異なる場合があります。この場合、Wi-Fi Direct と Wi-Fi インフラストラクチャモードの同時接続は正しく動作しない可能性があります。
- Wi-Fi Direct で接続しているプリンターは、LPD、Port9100、Web Services on Devices (WSD) (プリント)、Bonjour (mDNS)、SNMPv1/v2c、および CentreWare Internet Services のプロトコルをサポートしています。

Wi-Fi Direct を設定する

Wi-Fi Direct を使用するには、本機の操作パネルで Wi-Fi Direct をあらかじめ設定します。モバイル端末を Wi-Fi Direct 経由で本機に接続するには、本機の SSID をモバイル端末の画面で選び、接続に必要なパスフレーズを入力します。

■ 本機の設定をする

- 1 [機械確認 / 仕様設定] をタップします。
- 2 [ネットワーク設定] をタップします。
- 3 [Wi-Fi Direct] をタップします。
- 4 [Wi-Fi Direct] メニューで、[Wi-Fi Direct] を [On] に設定します。
- 5 [設定] をタップします。
- 6 [グループ設定] をタップして、使用するモードを選択します。

補足

- [自動] モードでは、パスワードが自動的に作成されるため、[SSID サフィックス] および [パスワード] フィールドは無視されます。[グループオーナー] モードでは、パスワードをクライアントデバイスに入力する必要があります。
- [自動] モードが選択されている場合は、操作パネルを使用して Wi-Fi Direct 設定を完了する必要があります。[機械確認 / 仕様設定] をタップしてから [機械確認] をタップします。下にスクロールして [Wi-Fi Direct 接続] を選択してから [はい] を選択すると、機器とペアリングできます。

- 7 [Wi-Fi Direct] を設定したら、本機を再起動します。
- 8 [グループオーナー] モードが選択されている場合は、[機械確認 / 仕様設定] をタップ後に [機械確認] をタップして、SSID プリフィックスおよびパスコードを確認します。

■ モバイル端末を接続する

- 1 モバイル端末を Wi-Fi Direct ネットワークに接続します。

ここでは、Windows[®] 7、Windows[®] 10、OS X 10.11、iOS、および Android を例に説明します。

Windows[®] 7 の場合：

- 1) タスクバーのネットワークアイコンをクリックします。
- 2) 本機の SSID をクリックして、[接続] をクリックします。
- 3) パスフレーズを入力して、[OK] をクリックします。
- 4) [キャンセル] をクリックしてから、[ネットワークの場所の設定] ウィンドウを閉じます。

Windows[®] 10 の場合：

- 1) [スタート] ボタンをクリックして、[設定] をクリックします。
- 2) Wi-Fi アイコンをクリックします。

3) 本機の SSID をクリックして、[接続] をクリックします。

4) パスフレーズを入力して、[OK] をクリックします。

OS X 10.11 の場合：

1) メニューバーのネットワークアイコンをタップします。

2) 本機の SSID をタップします。

3) パスフレーズを入力して、[接続] をクリックします。

iOS の場合：

1) [設定] > [Wi-Fi] をタップします。

2) 本機の SSID をクリックします。

3) パスフレーズを入力して、[接続] をクリックします。

Android の場合：

接続手順はご使用のモバイル端末によって異なります。モバイル端末に付属のマニュアルを参照してください。

2 モバイル端末にプリンタードライバーをインストールします。

Windows® 7、Windows® 10、OS X 10.11 の場合：

モバイル端末にプリンタードライバーをインストールする必要があります。「プリンタードライバーをコンピュータにインストールする」(P.27) を参照してください。

iOS の場合：

App Store からプリントアプリケーションをインストールすると、本機で使えるようになります。

Android の場合：

Google Play™ からプリントアプリケーションをインストールすると、本機で使えるようになります。

Wi-Fi Direct 経由で印刷する

印刷手順はご使用のモバイル端末によって異なります。モバイル端末に付属のマニュアルを参照して、モバイル端末で通常使用する手順で印刷してください。

Wi-Fi Direct から切断する

1 [機械確認 / 仕様設定] をタップします。

2 [ネットワーク設定] をタップします。

3 Wi-Fi Direct をオフにします。

モバイル端末からのプリント

本機は様々なモバイル端末からの印刷をサポートしています。

AirPrint



AirPrint では、iOS または OS X が動作している機器で、ネットワークを介して印刷できます。iOS 搭載機器に最新バージョンの iOS がインストールされていることを確認してください。OS X の場合は、OS X および購入したアプリケーションを App Store からソフトウェアアップデートを使用して更新してください。

本機での AirPrint の設定

- 1 本機がネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 CentreWare Internet Services を起動します。
- 3 [ネットワーク] > [モバイルプリント設定] > [AirPrint] の順にクリックします。
- 4 オンに設定します。
- 5 [決定] をクリックして、本機を再起動します。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS 8.1 が搭載されている iPhone を使った手順を例に説明します。

- 1 印刷するメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。
- 2 アクションアイコンをタップします。
- 3 [プリント] をタップします。
- 4 本機を選び、プリンターのオプションを設定します。
- 5 [プリント] をタップします。

Google クラウドプリント™

本機を Google™アカウントに登録すると、モバイル端末にプリンタードライバーをインストールすることなく Google Chrome™ブラウザから Google クラウドプリント™サービスを使用できます。インターネットを介して指定したユーザーと本機を共有することもできます。

Google クラウドプリント™サービスの次のバージョンがサポートされています。

- Google クラウドプリント™バージョン 1.1
- Google クラウドプリント™バージョン 2.0

補足

- Google クラウドプリント™には Google Chrome™ブラウザの最新バージョンを使用してください。

本機で Google クラウドプリント™を使うために必要な作業

Google クラウドプリント™を使用するには、あらかじめ次の準備を行います。

- 「本機で Google クラウドプリント™を有効にする」(P.74)
- 「Google クラウドプリント™のバージョンを選択する」(P.74)

- 「Google クラウドプリント™に本機を登録する」(P.74)
- 「Google クラウドプリント™サービスを使用して本機を共有する」(P.75)

補足

- 本機を Google クラウドプリント™サービスに登録するには、本機がインターネットに接続されている必要があります。
- Google クラウドプリント™は IPv4 接続にのみ対応しています。
- 本機がプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Services から [プロキシサーバー] を設定する必要があります。
- 事前に Google アカウントおよび Gmail アドレスを取得します。

本機で Google クラウドプリント™を有効にする

- 1 Web ブラウザに本機の IP アドレスを入力して、CentreWare Internet Services を起動します。
- 2 [ネットワーク] > [モバイルプリント設定] > [Google クラウドプリント] の順にクリックします。
- 3 ボックスを選択して有効にします。
- 4 [決定] をクリックして、本機を再起動します。

Google クラウドプリント™のバージョンを選択する

Google クラウドプリント™のバージョンを、1.1 または 2.0 から選択します。

Google クラウドプリント™のバージョン 1.1 は、プリントデータをインターネットを介して送信します。このバージョンでは、本機がインターネットに接続している必要があります。

Google クラウド™ のプリントバージョン 2.0 は、プリントデータをインターネットまたはローカルネットワークを介して送信します。このバージョンは、インターネット接続を使用できない環境で使用することをお勧めします。

補足

- 使用できるオプションは、モバイル端末または Google クラウドプリント™ サービスのバージョンによって異なります。
- Google クラウドプリント™サービスのバージョン 1.1 と 2.0 の両方を併用することはできません。

Google クラウドプリント™に本機を登録する

本機を Google クラウドプリント™に登録する前に、本機を登録する Google™アカウントを準備します。

補足

- 本機を Google クラウドプリント™に登録するには、本機がインターネットに接続している必要があります。
- 登録に使用する Google™アカウントは、所有者として登録されます。

■ Google クラウドプリント™バージョン 1.1 の場合

- 1 CentreWare Internet Services を起動します。
- 2 [ネットワーク設定] > [モバイルプリント設定] > [Google クラウドプリント™] > [プリンター登録] の順にクリックします。

- 3 インターフェイスを選択します。
- 4 [登録] をクリックします。
- 5 [開始] を選択して、本機の登録に進みます。本機の登録手順が印刷されます。
- 6 登録用紙にある Web アドレスをブラウザのアドレスボックスに入力し、< Enter > キーを押します。
 補足
 - スマートフォンのカメラで QR コードを読み取って Web ページにアクセスすることもできます。
- 7 この機能を使用するユーザーの Google™ アカウントおよびパスコードを入力して、ログインします。
- 8 Google クラウドプリント™の登録 Web サイトで、[プリンター登録を完了] をクリックします。
- 9 [プリンターの管理] をクリックします。本機が [プリンタ] に表示され、これで Google クラウドプリント™を使用する準備ができました。

■ Google クラウドプリント™バージョン 2.0 の場合

- 1 Google Chrome™ ブラウザを起動します。Google™ Chromebook を使用している場合は、Chromebook を起動してログインします。
- 2 右上隅にある  をクリックして [設定] を選択します。
- 3 [詳細設定を表示] をクリックします。
- 4 [Google クラウドプリント] の下で [管理] をクリックします。
 補足
 - [新しいデバイス] の下に Chrome へのサインインを求めるメッセージが表示された場合は、[サインイン] をクリックして Chrome にサインインしてください。
- 5 登録するプリンターで [登録] をクリックします。
- 6 登録を確認するウィンドウが表示されたら、[登録] をクリックします。
 プリンターが追加されたことを示すウィンドウが表示されます。
- 7 本機の操作パネルから、[機械確認 / 仕様設定] > [ネットワーク設定] > [Google クラウドプリント登録] の順にタップします。
- 8 [開始] をタップします。

本機の名前が [マイデバイス] リストに表示されたら、登録は完了です。

補足

- [マイデバイス] リストに本機の名前が表示されるまでには 5 分ほどかかる場合があります。

Google クラウドプリント™サービスを使用して本機を共有する

Google クラウドプリント™サービスを使用して、本機を他のユーザーと共有できます。

- 1 Google Chrome™ブラウザを起動します。Google™ Chromebook を使用している場合は、Chromebook を起動してログインします。
- 2 右上隅にあるをクリックして、[設定] を選択します。
- 3 [詳細設定を表示] をクリックします。
- 4 [Google クラウドプリント] の下で [管理] をクリックします。

補足

- Chrome へのサインインを求めるメッセージが表示された場合は、[サインイン] をクリックして Chrome にサインインしてください。

- 5 共有するプリンターで [管理] をクリックします。
- 6 [Google クラウドプリント] ウィンドウで、[共有] をクリックします。
- 7 プリンター共有を指定するウィンドウで、本機を共有するユーザーの Google™ アカウントを入力し、[共有] をクリックします。

補足

- 招待されたユーザーがGoogleクラウドプリント™のWebページにログインすると、プリンター所有者が共有設定を行ったことを示すメッセージが表示されます。共有の招待を承諾します。

Google クラウド プリント™への登録を解除する

- 1 CentreWare Internet Services を起動します。
- 2 [ネットワーク設定] > [モバイルプリント設定] > [Google クラウドプリント™] > [プリンター登録] の順をクリックして、[登録を解除] をクリックします。
- 3 Unregistered のメッセージが表示されることを確認します。

Google クラウドプリント™でプリントする

印刷手順はご使用のアプリケーションまたは端末によって異なります。Google クラウドプリント™サービスでサポートされているアプリケーションのリストは、Google™の Web サイトで確認できます。

■ モバイル端末のアプリケーションでプリントする

ここでは、Android モバイル端末で Google Drive™アプリケーションを使用する手順を例に説明します。

- 1 モバイル端末に Google Drive™アプリケーションをインストールします。

補足

- アプリケーションは Google Play™からダウンロードできます。

- 2 モバイル端末で Google Drive™アプリケーションを開き、文書を選択します。
- 3 アプリケーションメニューから [プリント] を選択します。
- 4 リストから本機を選択します。
- 5 プリンターのオプションを選択して、[プリント] をタップします。

■ Google Chrome™でプリントする

ここでは、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムを実行しているコンピュータで Google Chrome™ ブラウザを使用する手順を例に説明します。

- 1 Google Chrome™ ブラウザを開きます。
- 2 印刷する Web ページまたはメールを開きます。
- 3 右上隅で  または  (Google Chrome™ ブラウザのバージョンによって異なります) をクリックして、[印刷] をクリックします。
- 4 [送信先] で [変更] をクリックします。
- 5 Google クラウドプリント™で本機を選択します。

補足

- 本機が Google クラウドプリント™バージョン 2.0 に登録されていると、ローカルネットワークにあるプリンターからローカルプリントを使用して文書を印刷できます。この場合は、[ローカルの送信先] でプリンターを選択してください。

- 6 [印刷] をクリックします。

■ Google™ Chromebook でプリントする

- 1 印刷する Web ページまたはメールを開きます。
- 2 右上隅で  をクリックして、[印刷] をクリックします。
- 3 [送信先] で本機が指定されていることを確認します。指定されていない場合は、[変更] をクリックして本機を選択します。

補足

- 本機が Google クラウドプリント™バージョン 2.0 に登録されていると、ローカルネットワークにあるプリンターからローカルプリントを使用して文書を印刷できます。この場合は、[ローカルの送信先] でプリンターを選択してください。

- 4 [印刷] をクリックします。

Mopria® プリントサービス

Mopria プリントサービスは、Android 搭載のスマートフォンやタブレット (Android 4.4 以降) から、Mopria 認証を受けたプリンターに接続して印刷できるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。はじめに Google Play™ ストア (<https://play.google.com/store/apps/>) から、Mopria プリントサービスのアプリケーションを、お使いの Android 端末にダウンロードしてインストールしてください。

印刷時はモバイル端末を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使用して本機に接続します。

補足

- Mopria プリントサービスは、お使いのモバイル端末にプリインストールされている場合があります。Mopria プリントサービスがまだインストールされていない場合は、Google Play™ ストアから

ダウンロードできます。Mopria プリントサービスについては、<http://www.mopria.org/> を参照してください。

- Mopria 2.0 の Enterprise 機能はサポートされていません。

本機に Mopria プリントサービスを設定する

- 1 本機がネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 CentreWare Internet Services を起動します。
- 3 [ネットワーク] > [モバイルプリント設定] > [Mopria ™] の順にクリックします。
- 4 [オン] を選択して [Mopria ™] を有効にします。
- 5 [OK] をクリックして、本機を再起動します。

Mopria プリントサービスでプリントする

- 1 印刷するメール、写真、Web ページ、または文書を開きます。
- 2 メニューをタップして、[印刷] を選択します。
- 3 メニューから [すべてのプリンタ] をタップします。
- 4 本機を選択して、プリンターのオプションを設定します。
- 5 [印刷] をタップします。

マチ付き薬袋モード設定手順

任意のトレイでマチ付き薬袋を使用するための設定手順を説明します。

- 1 Web ブラウザーに本機の IP アドレスを入力し、CentreWare Internet Services を起動します。
- 2 [システム] > [初期設定] を選択します。
- 3 初期設定画面の [トレイ設定] > [用紙種類別画質処理] を選択します。
- 4 用紙種類別画質処理画面の [ユーザー用紙 1] > [普通紙 (S)] を選択します。
- 5 [ユーザー用紙 1] が [普通紙 (S)] になったことを確認し [決定] を選択します。
- 6 初期設定画面で [閉じる] を選択します。
- 7 ブラウザーを閉じ、CentreWare Internet Services を終了します。
- 8 本機の操作パネルに戻ります。
- 9 マチ付き薬袋モードを使用するトレイのメディア設定で [ユーザー用紙 1] をタップします。
これで、[ユーザー用紙 1] を設定したトレイでマチ付きの薬袋を使用できます。

6

機械確認 / 仕様設定

機械確認 / 仕様設定

〔機械確認 / 仕様設定〕では、本機の状態を確認したり、本機の一般的な設定をしたりできます。

補足

- 表示される機能は設定によって異なります。
- リストは上または下にスクロールできます。

言語

初期表示言語

操作パネルで使用する言語を選択します。

■ キーボード配列

タッチパネルでキーボードの配列を選択します。

配列を確認するには、〔キーボードの確認〕をタップします。

機械確認

本機の概要、設定内容、およびネットワーク情報を表示します。

レポート / リストの出力

レポートまたはリストを印刷できます。

- 〔機能設定リスト〕
- 〔請求内容レポート〕
- 〔PostScript フォントリスト〕
- 〔PCL フォントリスト〕
- 〔デモプリント〕
- 〔スタートアップページ〕
- 〔ジョブ履歴レポート〕

通知

障害の状態、交換時期やその他の重要なメッセージなどの本機からの通知を重要度順に表示します。

通知を選択することで、詳細や関連するページを確認できます。

エラー履歴

〔履歴〕を選択すると〔エラー履歴〕が表示されます。

エラーの情報は、新しいものから順に表示されます。

用紙トレイ

「用紙トレイ」(P.99)を参照してください。

消耗品確認

「消耗品」(P.100) を参照してください。

メーター確認

[メーター確認] を選択すると、集計情報を確認できます。[メーター確認] 画面には、[シリアル番号]、[メーター]、および [メーター詳細] が表示されます。

[メーター詳細] 画面で、詳細なカウンターを確認できます。カウンターにフィルターを設定して (デフォルトでは [すべて])、フィルターすることができます。

システム設定

単位表示 / サイズ検知切り替え

■ ミリ / インチ切り替え

画面に表示される単位を [ミリ] および [インチ] から選択します。

■ サイズ検知切り替え

プリンター設定で使用するデフォルトの用紙サイズの単位を選択できます。

以下の各プリンター設定で、A4 サイズの用紙をデフォルトとして使用する場合には、[AB 系列] を選択します。

以下の各プリンター設定で、Letter サイズの用紙をデフォルトとして使用する場合には、[インチ系列] を選択します。

- プリントのデフォルトの用紙サイズ
- 各用紙トレイで画面に表示されるカスタムの用紙サイズ
- 各用紙トレイおよび手差しトレイのデフォルトの用紙サイズ

日付 / 時刻設定

本機のシステム時計の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻はすべてのリストおよびレポートに印刷されます。

■ 時刻サーバーと同期

時刻サーバーに基づいて日付および時刻を自動的に設定する場合に選択します。

選択しない場合は、タイムゾーン、日付と時刻、およびサマータイムを手動で設定できます。

■ 時刻サーバーアドレス

時刻サーバーを設定します。

◆ サーバーアドレス

サーバーのアドレスを入力します。

■ タイムゾーン

地域およびタイムゾーンを設定します。

■ 日時

日付と時刻を設定します。

■サマータイム調整

サマータイムを有効にする場合に選択します。

■日付の形式

日付の形式を選択します。

- [mm/dd/yyyy]
- [dd/mm/yyyy]
- [yyyy/mm/dd]

■24 時間制表示

24 時間制表示を使用する場合に選択します。12 時間制表示を使用する場合は、選択を解除します。

自動リセット

操作パネルからの操作がない場合に、本機が設定を自動的にリセットするまでの時間を指定します。

画面輝度調整

タッチパネルの画面の明るさを、レベル 1 ～ 7 の範囲で調整できます。

音の設定

■有効

音を有効にする場合に選択します。それぞれの音の音量も、スライドバーで設定できます。

◆正常入力音 / 異常入力音

操作パネル上の項目を正しくタップしたときに音を鳴らします。

◆正常終了音

ジョブが正常に終了したときに音を鳴らします。

◆ログイン音

本機にログインしたときに音を鳴らします。

◆異常警告音 / 異常終了音

ジョブが異常終了した場合や、エラーが発生したときに音を鳴らします。

◆電源オフ音

本体の電源をオフしたときに音を鳴らします。

◆モバイル端末の接続音

本機がモバイル端末を検出したときに音を鳴らします。

省エネルギー設定

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があり、設定時間が経過すると次のように移行し、消費電力を下げます。

「本機を最後に操作」→「低電力モード」→「スリープモード」

補足

- [低電力モード移行時間] および [スリープモード移行時間] には、合計で 60 分までの値を入力できます。

■ 低電力モード移行時間

最終操作から低電力モードに移行するまでの時間を指定します。

■ スリープモード移行時間

低電力モードに入った後にスリープモードに移行するまでの時間を指定します。

■ 自動電源オフ

スリープモードで一定時間経過後に自動的に本機の電源をオフにする場合に選択します。スライダーを使用して本機の電源をオフにするまでの時間を指定します。

• [する]

指定した時間の経過後に本機の電源をオフにします。

• [可能な場合はする]

指定した時間内に以下の条件がすべて一致した場合にのみ、本機の電源をオフにします。

- 背面の USB ポートを使用していない
- 有線ネットワークポートを使用していない
- 無線接続を使用していない

ネットワーク設定

補足

- 表示される機能は設定によって異なります。
- リストは上または下にスクロールできます。
- 有線接続と無線接続が同時に使用された場合、プライマリーネットワークインターフェースとセカンダリーネットワークインターフェースは異なるサブネットで使用することをお勧めします。
有線接続と無線接続はどちらもプライマリーネットワークインターフェースとして指定できます。
以下のプロトコルを使用できるのは、プライマリーネットワークインターフェースのみです。
IPsec、SMTP、SNTP、WSD スキャン*、SMB スキャン、LDAP、メール通知、FTP サーバー、WebDAV
*:「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

プライマリーネットワーク

[Ethernet] または [Wi-Fi] が表示されます。複数のインターフェイスを使用している場合は、このインターフェイスを切り替えることができます。

Ethernet

■ IPv4

◆ 有効

IPv4 モードを有効にする場合に選択します。

◆ IP アドレス取得方法

モードを選択します。

- [DHCP with Auto IP から取得]

アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは DHCP/AutoIP を使用して自動的に設定されます。本機が DHCP サーバーとの通信に失敗した場合は、AutoIP 機能が自動的に有効になり、IP アドレス (169.254.xxx.xxx) が本機に割り当てられます。本機と DHCP サーバー間の通信が復帰したら、本機は IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを DHCP サーバーから取得します。

- [手動設定]

アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを手動で指定できます。

- [BOOTP から取得]

アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは BOOTP を使用して自動的に設定されます。

補足

- この項目は CentreWare Internet Services でこのオプションが構成されている場合にのみ表示されます。

- [DHCP から取得]

アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは DHCP を使用して自動的に設定されます。

◆ ホスト名

ホスト名を入力します。

◆ IP アドレス

IP アドレスを表示します。

◆ ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを表示します。

◆ サブネットマスク

サブネットマスクを表示します。

■ IPv6

◆ 有効

IPv6 モードを有効にする場合に選択します。

◆ ホスト名

ホスト名を入力します。

◆ リンクローカルアドレス

リンクローカルアドレスを表示します。

◆ 自動設定アドレス

自己割当てアドレスを表示します。

◆ 手動設定アドレス

アドレスを手動で入力できます。

◆ DHCPv6 の使用目的

DHCPv6 を使用する目的を選択します。

- [ルーターの指示により決定]
- [アドレスと構成情報の取得]
- [構成情報の取得]

■ DNS

◆ ホスト名

ホスト名が表示されます。

◆ ドメイン名

ドメイン名を入力します。

◆ IPv4 サーバー

アドレスを設定するときにタップします。

• アドレス取得方法

[DHCP から取得] および [手動設定] からモードを選択します。

• DNS サーバーアドレス 1 ～ 3

DNS サーバーのアドレスを設定します。

◆ IPv6 サーバー

アドレスを設定するときにタップします。

• アドレス取得方法

[DHCP から取得] および [手動設定] からモードを選択します。

• DNS サーバーアドレス 1 ～ 3

DNS サーバーのアドレスを設定します。

■ 速度設定

Ethernet インターフェースの通信速度を選択します。

- [自動]
- [10BASE-T (半二重)]
- [10BASE-T (全二重)]
- [100BASE-TX (半二重)]
- [100BASE-TX (全二重)]
- [1Gbps Full Duplex]

Wi-Fi

■ Wi-Fi

Wi-Fi 機能を有効にするかどうかを指定します。

表示されたネットワークからネットワークを選択します。保護されたネットワークに接続するにはログインが必要です。

■ 手動設定

Wi-Fi 機能を手動で設定する場合にタップします。

◆ SSID

無線ネットワークを特定する名前を 33 文字までの英数字で設定します。

◆ 通信モード

無線ネットワークの種類を設定します。無線ルーターなどのアクセスポイントを介して無線設定を構成する場合は、[Infrastructure] を選択します。

◆暗号化方式

暗号化の種類を選択します。

- [暗号化なし]
- [WEP]
- [WPA2 Personal]
- [Mixed Mode Personal (AES/TKIP)]
- [WPA2 Enterprise]
- [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)]

補足

- [通信モード]が[Ad hoc]に設定されている場合は、[WPA2 Personal]および[WPA2 Enterprise]は使用できません。

◆WPS 設定

WPS-PBC でネットワークを構成する場合は、[プッシュボタン]を選択します。本機が自動で割り当てる PIN コードを使用してネットワークを構成する場合は、[PIN コード]を選択します。

• PIN コード

PIN コードが表示されます。

◆認証方式

[WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] の場合は、WPA Enterprise で使用する EAP 認証を選択します。

- [PEAPv0 MS-CHAPv2]
- [EAP-TLS]
- [EAP-TTLS/CHAP]
- [EAP-TTLS/PAP]
- [EAP-TTLS/MSCHAPV2]

◆Identity、ユーザー名、パスワード

認証に使用する EAP-identity、ユーザー名、およびパスワードをそれぞれ入力します。EAP-identity にはユーザー名と同じものを使用できます。

■動作周波数帯

Wi-Fi 帯域幅を選択します。

- [自動]
- [2.4 Ghz]
- [5 Ghz]

Wi-Fi Direct**■Wi-Fi Direct**

WiFi-Direct ネットワークを有効にする場合に選択します。

補足

- マルチインターフェース環境では、アドレス範囲が Ethernet または Wi-Fi で重複している場合は、WiFi-Direct は無効になります。

■ デバイス名

機器の名称を表示します。[グループ設定] が [自動] に設定されている場合に表示されます。

■ IPv4 アドレス

IPv4 アドレスを表示します。

■ 接続数

接続数を表示します。

■ 設定

Wi-Fi Direct を設定する場合にタップします。

◆ グループ設定

グループの構成に応じて Wi-Fi Direct に対するグループ設定を自動で解決するには、[自動] を選択します。

Wi-Fi モバイル端末で本機を検出できるようにするには、[グループオーナー] を選択します。その後、本機の SSID がお使いの Wi-Fi モバイル端末の無線ネットワークのリストに表示されます。

• デバイス名

機器の名称を入力します。この項目は [グループ設定] が [自動] に設定されている場合に表示されます。

• SSID プリフィックス

SSID のプリフィックスを表示します。

• SSID サフィックス

SSID のサフィックスを指定します。

• パスフレーズ

本機が [グループオーナー] の場合に使用するパスコードを入力します。

• IPv4 アドレス

IPv4 アドレスを表示します。

HTTPS

HTTPS を有効にする場合に選択します。

プロキシサーバー

■ プロキシサーバーの使用

プロキシサーバー設定を有効にする場合に選択します。

◆ プロキシサーバー指定方法

プロキシ接続のタイプを選択します。この項目は複数のインターフェースを使用している場合に表示されます。

• [同じプロキシを指定]

• [個別にプロキシを指定]

◆ プロキシサーバー (Wi-Fi)

• プロキシサーバーの使用

[個別にプロキシを指定] を選択した場合は、無線接続でプロキシサーバーを有効にするためにこの項目を選択します。

• プロキシサーバー設定

設定のタイプを選択します。

• 自動検出

プロキシを自動で設定する場合に選択します。

• PAC ファイルを指定

構成スクリプトの URL を入力する場合に選択します。

• 手動設定

[サーバーアドレス] にサーバーアドレスを入力する場合に選択します。[パスワード認証] が有効な場合は、ログイン名およびパスワードを入力します。

• 例外アドレスを追加

プロキシを使用しないアドレスを入力します。アドレスを削除するには、ゴミ箱アイコンをタップして [削除] を選択します。アドレスを編集するには、ゴミ箱アイコンをタップして [編集] を選択します。

◆ プロキシサーバー (Ethernet)

• プロキシサーバーの使用

[個別にプロキシを指定] を選択した場合は、有線接続でプロキシサーバーを有効にするためにこの項目を選択します。

• プロキシサーバー設定

設定のタイプを選択します。

• 自動検出

プロキシを自動で設定する場合に選択します。

• PAC ファイルを指定

構成スクリプトの URL を入力する場合に選択します。

• 手動設定

[サーバーアドレス] にサーバーアドレスを入力する場合に選択します。[パスワード認証] が有効な場合は、ログイン名およびパスワードを入力します。

• 例外アドレスを追加

プロキシを使用しないアドレスを入力します。アドレスを削除するには、ゴミ箱アイコンをタップして [削除] を選択します。アドレスを編集するには、ゴミ箱アイコンをタップして [編集] を選択します。

LDAP

• LDAP が有効な場合：

[LDAP サーバー] 画面で LDAP サーバーの設定ができます。

[接続確認]	サーバーへの接続をテストするには、[接続確認] を選択します。デフォルトでは [未確認] が表示されています。テストの結果に応じて [成功] または [失敗] が表示されます。
[サーバーアドレス]	サーバーアドレスを設定します。

[SSL/TLS]	サーバーと本機間の通信を暗号化するには、[SSL/TLS] を有効にします。
[検索起点エントリー (DN)]	ディレクトリのルートを設定します。
[ユーザー名]	LDAP サーバーの検索で使用するログイン名を入力します。
[パスワード]	[ユーザー名] で指定したユーザーのパスワードを入力します。
[他の LDAP サーバーを検索]	LDAP サーバーのリストを開きます
[LDAP 通信レポート]	本機で送受信した LDAP 通信の内容を示すレポートに出力します。

- LDAP が無効の場合：

使用するサーバーが検出されるまで待ってからサーバーを選択します。サーバー情報を手動で入力して指定するには、[手動で設定] を選択します。

SMTP

SMTP サーバーについて設定します。

この画面を開くと、SMTP サーバーの検索が自動的に始まります。検索結果からサーバーを選択します。

サーバーのアドレスを入力して手動で SMTP サーバーを指定することもできます。

補足

- SMTP がすでに有効になっている場合は、検索は自動で開始されず、SMTP サーバー画面が表示されます。

保守

本機の保守に使用するメニューが表示されます。

保守レポートの出力

以下のレポートが印刷できます。

- [ゴースト診断用チャート]
- [欠陥消耗品レポート]
- [システム状態レポート]
- [エラー履歴レポート]
- [LDAP 通信レポート]
- [SMB 通信レポート]
- [SMTP 通信レポート]

標高設定

本機を設置する場所の標高を指定します。

濃度補正

時間経過、環境、用紙の種類や状態によって発生する色のずれを補正します。

カラーレジ補正

カラーレジストレーションを調整します。

ブロッキング対策

「ブロッキング対策」(P.189)を参照してください。

カスタムトナー

非純正トナーモードを有効または無効にします。

現像器と転写ユニットのクリーニング

「現像器と転写ユニットのクリーニング」(P.188)を参照してください。

アライメント調整

画像位置を調整します。

定着温度調整

定着部の温度を調整します。

温度を下げるには、マイナスの値を設定します。温度を上げるには、プラスの値を設定します。

デフォルト設定は、すべての用紙種類に最適の出力結果をもたらさない可能性があります。出力した用紙がカールした場合は、温度を下げます。トナーが用紙に適切に定着していない場合は、温度を上げます。

補足

- 印刷品質は、この項目の設定値に応じて変化します。

転写出力調整

転写電圧を調整します。

電圧を下げるには、マイナスの値を設定します。電圧を上げるには、プラスの値を設定します。

デフォルト設定は、すべての用紙種類に最適の出力結果をもたらさない可能性があります。出力した用紙に濃度ムラや色ムラが発生した場合は、電圧を上げます。出力紙に白い斑点が印刷された場合は、電圧を下げます。

補足

- 印刷品質は、この項目の設定値に応じて変化します。

目標濃度の設定

「目標濃度の設定」(P.189)を参照してください。

生産性の設定

「生産性の設定」(P.190)を参照してください。

トナーリフレッシュ

「トナーリフレッシュ」(P.189)を参照してください。

転写ベルトクリーニング

「転写ベルトクリーニング」(P.188)を参照してください。

リセット

本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

補足

- リセットを実行すると、現在の状態に戻すことはできません。

IPsec と 802.1x の設定をリセット

IPsec および 802.1X の設定を工場出荷時の状態にします。

フォントとフォーム、マクロを消去

ユーザーが本機にインストールしたフォント、フォーム、およびマクロをすべて削除します。

工場出荷時の設定に戻す

すべての設定を消去して、本機を工場出荷時の状態に戻します。

7

CentreWare Internet Services

概要

CentreWare Internet Services を使うと、ネットワークプリンターの状態を自席から離れることなく確認できます。プリンター設定を確認および変更したり、トナー残量を確認したり、消耗品の注文時期の通知を受け取ったりできます。

ネットワーク管理者は、Web ブラウザーを使って、ネットワーク上の他の 1 つまたはすべてのプリンターにプリンター設定をコピーできます。

補足

- CentreWare Internet Servicesは、本機がEthernetケーブルまたは無線ネットワーク機能を使用してネットワークに接続されている場合にのみ使用できます。

CentreWare Internet Services の設定

CentreWare Internet Services を使用する前に、Web ブラウザーで JavaScript を有効にしてください。

以下の手順に従って、CentreWare Internet Services を使用する前に Web ブラウザーの環境設定を行います。

補足

- Web ブラウザーの言語とは異なる言語が設定されている場合は、CentreWare Internet Services のページの文字を正しく表示できない可能性があります。

サポートされている Web ブラウザー

CentreWare Internet Services は、以下の Web ブラウザーをサポートしています。

Windows	Microsoft Internet Explorer 10、11 以降 Microsoft Edge Mozilla Firefox の最新の安定したバージョン Google Chrome の最新の安定したバージョン
OS X	Safari 8、9、10 以降

Web ブラウザーからの設定

ここでは Internet Explorer 11 を使用した手順を例に説明します。ブラウザーのバージョンおよび種類によって、項目名が異なる場合があります。

■表示言語の設定

- 1 メニューバーの [ツール] から [インターネットオプション] を選択します。
- 2 [全般] タブで [言語] を選択します。
- 3 表示したい言語を、[言語] リストの最上部に追加します。

■本機の IP アドレスを非プロキシに設定（オプション）

- 1 [ツール] メニューから [インターネットオプション] を選択します。
- 2 [接続] タブの [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] で [LAN の設定] をクリックします。
- 3 次のいずれかを行います。
 - [プロキシサーバー] で [LAN にプロキシサーバーを使用する] チェックボックスの選択を解除します。
 - [詳細設定] をクリックして、[例外] の [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] フィールドに本機の IP アドレスを指定します。

CentreWare Internet Services の起動

CentreWare Internet Services を起動するには、Web ブラウザーに本機の IP アドレスを入力します。

参照

- 「IP 設定を確認する」(P.26) を参照してください。

メニュー項目の概要

CentreWare Internet Services は以下のメニューで構成されています。

ホーム

[ホーム] 画面には、[通知]、[用紙トレイ]、[消耗品]、[ビリング / カウンター]、および [クイックリンク] のメニューがあります。これらのメニューを使用して、本機の状態をすばやく把握したり、便利なサービスに移動することができます。

アプリ

[アプリ] メニューを使用して、本機のアプリケーション設定を変更します。

ジョブ

[ジョブ] メニューを使用して、本機のジョブ履歴を表示したり、ジョブを制御したりします。

ネットワーク

[ネットワーク] メニューを使用して、本機のインターフェイスや通信に必要な条件を変更します。

認証 / 集計 / 権限

[認証 / 集計 / 権限] メニューを使用して、ユーザーアカウント設定を表示および設定し、さらに認証方法および集計方法を設定します。

システム

[システム] メニューを使用して、省エネルギー設定、セキュリティ設定、エミュレーション設定といった本機の環境設定を行います。

画面構成について

CentreWare Internet Services の画面は、次の3つのフレームで構成されています。



上部フレーム

上部フレームは、すべてのページの上部にあります。各ページの上部フレームには、プリンター名および「ログイン」ボタンが表示されています。

参照

- 「CentreWare Internet Services へのログイン / ログアウト」(P.163) を参照してください。

左側フレーム

左側フレームはすべてのページの左側にあります。左側フレームに表示されているメニュータイトルは、該当するメニューおよびページにリンクされています。リンクを選択することで、該当するページを開くことができます。

左側フレームの下部にある弊社のロゴマークをクリックすると、新しいウィンドウで弊社のホームページが表示されます。

右側フレーム

右側フレームはすべてのページの右側にあります。右側フレームの内容は左側フレームで選択したメニューに対応しています。

ホーム

〔ホーム〕画面の上部には本機の状態と基本的な情報が表示されます。
〔詳細〕を選択すると〔機械の詳細〕画面が開きます。

機械の詳細

以下の各項目を確認および編集できます。

本体名	本機の名前を設定します。
富士ゼロックス資産 ID	弊社が本機を特定するために使用します。
カスタマー資産 ID	本機の資産タグを設定します。
ソフトウェアバージョン:	本機の現在のソフトウェアバージョンを表示します。
シリアル番号:	本機のシリアル番号を表示します。
設置場所	本機の設置場所を設定します。
ネットワーク	基本的なネットワーク情報を表示します。値は「ネットワーク」(P.97) で変更できます。
機械管理者	機械管理者の情報を設定します。

通知

障害の状態、交換時期やその他の重要なメッセージなどの本機からの通知を重要度順に表示します。

通知を選択することで、詳細や関連するページを確認できます。

〔通知設定〕を開くには、〔設定〕を選択します。

通知設定

■ メール通知

メール通知設定を行います。ここで設定したメールアドレスに本機の障害情報が送信されます。

エラー履歴

エラー履歴を確認するには、〔通知設定〕の左下部にある〔エラー履歴〕を選択します。

エラーの情報は、新しいものから順に表示されます。

用紙トレイ

トレイの状態および現在のトレイの設定を表示します。各トレイのアイコンを選択して、詳細を確認し、設定を変更します。

トレイ状態

トレイにセットされている用紙のサイズ、種類、色および残量を表示します。

トレイの使用形態

トレイの使用形態を選択します。

用紙サイズ、用紙種類、用紙色

トレイにセットできる用紙のサイズ、種類、色を必要に応じて指定します。

自動トレイ切り替え

自動トレイ切り替えの対象としてトレイを設定するかどうかを指定します。

トレイの優先順位

自動トレイ切り替えでのトレイの優先順位を指定します。

消耗品

消耗品の状態を表示します。[詳細] を選択して、詳細情報を表示し、消耗品に関連する設定を行います。

お問い合わせ

消耗品注文用のリンクを表示します。

消耗品一覧

詳細を表示する項目を選択します。

その他の設定

必要に応じて、その他の設定を行います。

■ 通知設定

消耗品に関連する通知を有効または無効にします。有効にした場合、各項目をタップして通知のタイミングを変更します。

補足

- この機能は、お使いの機種によっては利用できません。詳細は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

■ メール通知設定

通知をメールで受け取るには、メールアドレスを入力し、必要な通知の種類を選択します。

補足

- この機能は、お使いの機種によっては利用できません。詳細は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

ビルディング / カウンター

メーター別にプリントページ数を確認できます。メーターの詳細情報を確認する場合は、[詳細] をクリックします。

メーター確認

[シリアル番号]、[ビルディングメーター]、および [メーター詳細] を確認できます。

■ ビルディングメーター

メーター別に、プリントページ数を確認できます。

■メーター詳細

メーターの詳細を確認できます。

補足

- メーター詳細の「ページ数」とは、プリントした面の数のことです。たとえば、両面プリントでは累積ページ数は2になります。

[トータルページ数]	[カラーページ数]と[白黒ページ数]の総数が表示されます。
[白黒ページ数]	白黒でプリントしたページの総数が表示されます。
	[プリント]
[カラーページ数]	フルカラーでプリントしたページの総数が表示されます。
	[プリント]
[ライフカウンター (ページ数)]	保守サービスでカウントされたページの総数が表示されます。
	[白黒]
	[カラー]
[蓄積プリントページ数]	蓄積文書をプリントしたページの総数が表示されます。
	[白黒]
	[カラー]
[白黒出力枚数]	白黒プリントの用紙の総数が表示されます。
	[プリント]
	[プリント (両面)]
[カラー出力枚数]	フルカラープリントの用紙の総数が表示されます。
	[プリント]
	[プリント (両面)]
[出力枚数] (片面および両面)	プリントされた用紙の総数が表示されます。
	[プリント]
[両面出力枚数]	両面プリントされた用紙の総数が表示されます。
	[プリント]

クイックリンク

[クイックリンク] には便利な機能があります。

設定情報の複製

このページでは、本機の設定情報ファイルをコピーおよびダウンロードして、別の機械に設定情報をインストールできます。

■設定情報のインポート

インポートする設定情報ファイルを指定し、[インポート] を選択してインポートを開始します。

■ 設定情報のエクスポート

設定情報ファイルをダウンロードするには、コピーする項目を選択して、[エクスポート] を選択します。

補足

- 複製ファイルは、ユーザーが編集できない形式でダウンロードされます。

以下の項目を選択できます。

[すべて選択]	すべての項目を選択または選択解除します。
[機械確認 / 仕様設定アプリ]	
[ジョブ確認アプリ]	
[USB アプリ]	
[アプリカスタマイズ設定]	
[インターフェース設定]	
[モバイルプリント設定]	
[プロトコル設定]	
[認証 / 集計 / 権限 / カスタマイズ設定]	
[ログ設定]	
[日付 / 時刻設定]	
[セキュリティ設定]	
[タイムアウト設定]	
[省エネルギー設定]	
[エミュレーション設定]	
[初期設定]	
[ジョブ設定]	
[ソフトウェアバージョンアップ設定]	
[消耗品設定]	
[通知設定]	
[言語設定]	
[サポート情報]	

サポート

サポート情報を表示します。

■ サポート情報

[確認 / 変更] を選択して情報を変更できます。

■ オンラインサポート

新しいブラウザのウィンドウにオンラインサポートページを開きます。

■ 機械の再起動

本機を再起動できます。確認画面が表示されたあとに [はい (再起動する)] を選択します。

プリント指示

ファイルを CentreWare Internet Services を介してアップロードすることで、ローカルのクライアント機器からファイルを印刷できます。

ドライバーをインストールする必要はありません。

サポートするファイル形式	手順
PDF、PS、XPS、JPEG、TIFF	1. ファイルのパスを入力するか、ローカルのファイルシステムを参照してファイルを選択します。 2. [プリント実行] をクリックすると、プリントジョブが送信されます。

補足

- XPS とは、XML Paper Specification の略です。

アプリ

操作パネルで使用するアプリに関連した設定を行います。

お好み設定

初期表示画面

電源を入れたり、節電状態を解除したときに表示する画面を設定します。

アプリ一覧

インストール済みアプリの一覧が表示されます。

各アプリを選択して、アプリ情報および設定を確認または変更します。

アプリの基本方法と制御

各アプリの設定ページの左側の列に、アプリの基本情報が表示されます。

補足

- ブラウザーの表示サイズが小さい場合は、ページの上部に項目が表示されます。

■ 種別

アプリの種別が表示されます。

■ 本体表示

操作パネルのホーム画面にアプリを表示するかどうかを設定します。

ジョブ

[ジョブ] メニューには、実行中のジョブと完了したジョブの情報が表示されます。各ジョブのページでは、詳細情報を確認できます。

補足

- 操作パネルのジョブリストには、セキュリティプリントジョブとして保存されたジョブのみが表示されます。

実行中ジョブのリスト

処理中のジョブを表示します。

実行完了ジョブのリスト

実行完了したジョブを表示します。200 個までのジョブが表示されます。

ジョブの中止

- 1 中止するジョブを選択します。
- 2 [はい (中止する)] を選択します。

補足

- 中止できるのはプリントジョブのみです。

ジョブ動作設定

[ジョブ動作設定] が表示されます。ジョブ機能に関連した設定ができます。

プリントジョブの追い越し

現在のジョブを解除して、次のジョブを実行できるまでの時間を指定します。

ジョブ情報の表示

ジョブ情報を表示しないようにするかどうかを選択します。

蓄積プリント文書の設定

蓄積したプリントジョブの設定を行います。

ネットワーク

補足

- 表示される機能は設定によって異なります。
- 有線接続と無線接続が同時に使用された場合、プライマリーネットワークインターフェイスとセカンダリーネットワークインターフェイスで異なるサブネットを使用することをお勧めします。
有線接続と無線接続はどちらもプライマリーネットワークインターフェイスとして指定できます。
以下のプロトコルを使用できるのは、プライマリーネットワークインターフェイスのみです。
IPsec、SMTP、SNTP、WSD スキャン*、SMB スキャン、LDAP、メール通知、FTP サーバー、WebDAV
*:「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

インターフェイス設定

Ethernet

■ MAC アドレス

MAC アドレスを表示します。

■ 速度設定

Ethernet の通信速度の種類を、次の項目から設定します。

- [自動]
- [10BASE-T(全二重)]
- [10BASE-T(半二重)]
- [100BASE-TX(全二重)]
- [100BASE-TX(半二重)]
- [1000BASE-T]

■ 共通

[確認 / 変更] をクリックして設定します。

◆ ホスト名

ホスト名を ASCII 32 文字以内で入力します。

◆ プライマリーネットワーク

[Ethernet] または [Wi-Fi] から選択できます。この項目は複数のインターフェイスを使用している場合にのみ表示されます。

◆ IP 動作モード

TCP/IP の動作モードを次の項目から設定します。

• IPv4 モード

IPv4 で動作する場合に選択します。

• IPv6 モード

IPv6 で動作する場合に選択します。

• デュアルスタック

IPv4、IPv6 の混在した環境で使用する場合に選択します。

◆ 名前解決時に IPv6 を優先する

ドメイン名解決機能で IPv6 を優先させる場合に選択します。

■ IPv4

[確認 / 変更] をクリックして設定します。

◆ IP アドレス取得方法

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの取得方法を指定します。

• DHCP with Auto IP から取得

DHCP/AutoIP から IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に取得します。

DHCP サーバーとの通信に失敗した場合は、AutoIP 機能が有効となり、IP アドレス (169.254.xxx.xxx) が割り当てられます。この場合も、DHCP サーバーと通信可能となった場合は、DHCP サーバーから取得し直します。

• 手動で設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを手動で設定します。

• BOOTP から取得

BOOTP サーバーから IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に取得します。

• DHCP から取得

DHCP サーバーから IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に取得します。

◆ IP アドレス

[IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選択した場合に、IP アドレスを入力します。

補足

- IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。
- IP アドレスは、数値 (0 ～ 9)、およびピリオド (.) による文字列で指定します。

◆ サブネットマスク

[IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選択した場合に、サブネットマスクを入力します。

補足

- IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。
- サブネットマスクは、数値 (0 ～ 9)、およびピリオド (.) による文字列で指定します。

◆ ゲートウェイアドレス

[IP アドレス取得方法] で [手動で設定] を選択した場合に、ゲートウェイアドレスを入力します。

補足

- IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。
- ゲートウェイアドレスは、数値 (0 ～ 9)、およびピリオド (.) による文字列で指定します。

◆ 電源オフ時の IP アドレス解放

[IP アドレス取得方法] で [DHCP with Auto IP から取得] または [DHCP から取得] を選択している場合、本機の電源がオフのときに DHCP サーバーに対して IP アドレスを解放します。

■ IPv6

[確認 / 変更] をクリックして設定します。

- リンクローカルアドレス

リンクローカルアドレスを表示します。

- 自己設定アドレス 1、自己設定アドレス 2、自己設定アドレス 3

自己設定アドレスを表示します。

- ◆ DHCP

- DHCPv6 の使用目的

DHCPv6 を使用する目的を選択します。

- [ルーターの指示により決定]
- [アドレスと構成情報の取得]
- [構成情報の取得]

- DHCPv6 アドレス

DHCPv6 アドレスが表示されます。

- ◆ 手動設定

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを選択します。

- IP アドレス

アドレスを入力します。

補足

- xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。
- アドレスは、英数字 (0 ~ 9、A ~ F)、およびコロン (:) による文字列で指定します。

- ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

補足

- xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。

- 自動設定ゲートウェイアドレス

自動で設定されたゲートウェイアドレスが表示されます。

■ DNS

[確認 / 変更] をクリックして設定します。

- ドメイン名

ドメイン名を入力します。

- 接続タイムアウト

タイムアウトするまでの時間を 1 ~ 60 秒の間で設定します。

- ◆ IPv4 DNS サーバー

- DHCP からアドレス取得

DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。

- DNS サーバーアドレス 1 ~ 3

DNS サーバーのアドレスを設定します。

◆ IPv6 DNS サーバー

• DHCPv6-lite からアドレス取得

DNS サーバーのアドレスを DHCPv6 サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。

• DNS サーバーアドレス 1 ～ 3

DNS サーバーのアドレスを設定します。

◆ 検索ドメイン

• ドメイン検索リストの自動作成

検索リストを自動で生成する場合に選択します。

• 検索ドメイン名 1 ～ 3

[ドメイン検索リストの自動作成] を無効にしている場合にドメインを入力します。

■ 802.1X

IEEE 802.1X について設定します。

802.1X	IEEE 802.1X 認証を使用するかどうかを設定します。
認証方式	[EAP-MD5]、[PEAPv0/EAP-MS-CHAPv2]、[EAP-MS-CHAPv2]、または [EAP-TLS] から選択します。
サーバー証明書の検証	[認証方式] で [PEAPv0/EAP-MS-CHAPv2] または [EAP-TLS] を選択した場合に、サーバー証明書を検証するかどうかを選択します。
ユーザー名	ログインユーザー名を半角 128 文字以内で設定します。
パスワード	ログインパスワードを半角 128 文字以内で設定します。
パスワードの再入力	確認のため、ログインパスワードをもう一度入力します。

Wi-Fi

◆ 有効

Wi-Fi 機能を有効にするかどうかを指定します。

• MAC アドレス

MAC アドレスを表示します。

• チャンネル

無線通信で使用するチャンネルが表示されます。

• 接続状態

無線通信の状態を表示します。

- [良好]
- [普通]
- [弱]

◆動作周波数帯

周波数帯域を選択します。

- [自動]
- [2.4GHz]
- [5GHz]

◆SSID

無線ネットワークを識別する名前を ASCII 32 文字以内で設定します。

◆通信モード

無線ネットワークの種類を設定します。無線ルーターなどのアクセスポイントを介して無線設定を行う場合は、[Infrastructure] を選択します。アクセスポイントを使用しないで無線設定を行う場合は [Ad-hoc] を選択します。

■TCP/IP 情報

TCP/IP の情報を確認できます。以下の各項目を選択して指定することもできます。

◆ホスト名

ホスト名が表示されます。

◆IPv4

IPv4 アドレスが表示されます。

◆IPv6

IPv6 アドレスが表示されます。

◆DNS

ドメイン名が表示されます。

■セキュリティ設定**◆暗号化設定**

暗号化のタイプを選択します。

- [暗号化なし]
- [WEP]
- [WPA2 Personal]
- [WPA2 Enterprise]
- [Mixed Mode Personal(AES/TKIP)]
- [Mixed Mode Enterprise(AES/TKIP)]

◆送信キー

[WEP] を選択した場合は、送信データを暗号化するために WEP キーを選択します。

◆WEP キー 1 ～ 4、WEP キー 1 ～ 4 の再入力

[WEP] を選択した場合は、無線ネットワークで使用する WEP キーを指定します。

◆パスフレーズ、パスフレーズの再入力

[WPA2 Personal] または [Mixed Mode Personal(AES/TKIP)] を選択した場合は、パスフレーズを設定します。

◆ 認証方式

[WPA2 Enterprise] または [Mixes Mode Enterprise (AES/TKIP)] を選択した場合は、WPA Enterprise で使用する EPA 認証方式を設定します。

- [PEAPv0 MS-CHAPv2]
- [EAP-TLS]
- [EAP-TTLS/PAP]
- [EAP-TTLS/CHAP]
- [EAP-TTLS/MS-CHAPv2]

◆ ルート証明書

ルート証明書を指定します。

◆ クライアント証明書

クライアント証明書を指定します。

[EAP-TLS] を選択した場合、この設定を行う必要があります。

◆ Identity

第 1 認証の EAP ID を指定します。

◆ ユーザー名

EAP-Enterprise の第 2 認証で使用するユーザー名を指定します。ASCII 32 文字以内で指定してください。[Identity] と同じ文字列を使用できます。

◆ パスワード、パスワードの再入力

ユーザー名に対するパスワードを指定します。

USB**■ 有効**

USB インターフェイスを使用する場合に選択します。

■ ポート

ポートを有効にする場合に選択します。

■ PJL スイッチ

PJL (Printer Job Language) コマンドとは、実際のプリントジョブの先頭に付加されたデータです。通常は、このオプションを有効にしたまま使用します。

■ プリントモード

使用するプリント言語の種類を選択します。[自動] を選択すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切なプリント処理を行います。

■ 自動排出時間

本機にデータが送られなくなってから、用紙を自動的に排出するまでの時間を設定します。

■ Adobe 通信プロトコル**◆ 標準**

プリンタドライバの出力プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。

◆ バイナリー

プリンタードライバーの出力プロトコルが BCP 形式のときに設定します。

◆ TBCP

プリンタードライバーの出力プロトコルが TBCP 形式のときに設定します。

◆ RAW

プリンタードライバーの出力プロトコルが ASCII 形式またはバイナリ形式のときに設定します。

Adobe 通信プロトコルの制御を受けないで、データをそのまま出力します。

■ PostScript 印刷待ちタイムアウト (RAW モード)

本機ではデータを一定時間受信しないと、接続を自動的に切断します。[Adobe 通信プロトコル] で [RAW] を選択してデータを印刷している場合、接続を切断するまでの時間を [自動排出時間] に従う場合はこの項目を無効にします。PostScript のタイムアウトに従う場合は有効にします。

Wi-Fi Direct**■ 有効**

Wi-Fi Direct ネットワークを有効にする場合に選択します。

補足

- マルチインターフェイス環境では、アドレス範囲が Wi-Fi と重複している場合は、Wi-Fi Direct は無効になります。

■ 接続中の端末

本機と接続している機器間の Wi-Fi Direct 接続の状態が表示されます。

■ グループオーナー機能

本機に現在設定されているグループオーナー機能の状態 ([有効] または [無効]) が表示されます。

■ SSID

本機に現在設定されている SSID が表示されます。

■ グループ設定

グループの構成に応じて Wi-Fi Direct に対するグループ設定を自動で解決するには、[自動] を選択します。

Wi-Fi モバイル端末で本機を検出できるようにするには、[グループオーナー] を選択します。その後、本機の SSID がお使いの Wi-Fi モバイル端末の無線ネットワークのリストに表示されます。

■ デバイス名

デバイス名を入力します。

この項目は [グループ設定] が [自動] に設定されている場合に表示されます。

■ DHCP サーバー**◆ IP アドレス**

IP アドレスが表示されます。

◆サブネットマスク

サブネットマスクが表示されます。

◆IP アドレスリース時間

IP アドレスのリース時間を指定します。

■グループオーナー

◆SSID

Wi-Fi Direct ネットワークを識別する名前が表示されます。[DIRECT-**] の後に、ASCII 23 文字までの英数字を使用して名前を指定できます。

◆パズフレーズ

8 ～ 63 文字の半角英数字、または 64 桁の 16 進数でパズフレーズを入力します。

NFC

■有効

NFC（近距離無線通信）を有効にするかどうかを選択します。

補足

- NFC 機能を利用するには、この項目を有効にした後、CentreWare Internet Services の [システム] > [プラグイン設定] で [組み込みプラグイン機能] を有効にし、本機を再起動する必要があります。

モバイルプリント設定

モバイルプリント機能に関連した設定ができます。

AirPrint™

AirPrint の詳細な設定を行います。

AirPrint を使用するには、ボックスを選択して有効にします。

[Airprint™] を有効にすると、IPP や Bonjour などの必要なプロトコルが自動的に有効になります。

Airprint™	有効	AirPrint を有効にするかどうかを設定します。
	USB 接続	AirPrint を USB 接続で使用するかどうかを選択します。
	(コントローラー ROM 名)	ROM のバージョンが表示されます。
Bonjour	プリンター名	AirPrint プリンターとして表示する名前を入力します。
	設置場所	プリンターの設置場所を入力します。
	位置情報 (緯度)	プリンターの緯度を入力します。
	位置情報 (経度)	プリンターの経度を入力します。

IPP 認証	Basic 認証	[Basic 認証] を有効にするかどうかを設定します。
	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
	パスワード	パスワードを入力します。
	パスワードの再入力	確認のため、ユーザーのパスワードをもう一度入力します。
証明書設定	確認 / 変更	セキュリティ証明書の設定を変更します。
消耗品	確認	消耗品の状態が表示されます。
データエラー発生時のプリント動作	• プリントを中止する • 強制的にプリントする	データエラー発生時のプリントジョブに対する本機の動作を選択します。

Google クラウドプリント™

Google クラウドプリント™機能を使用するには、[有効] を選択して、プリンターを登録します。

Mopria™

Mopria を有効にする場合に選択します。

プロトコル設定

Bonjour

■ ポート

Bonjour を使用する場合に選択します。

■ Wide-Area Bonjour

Wide-Area Bonjour プロトコルを有効にする場合に選択します。

補足

- マルチインターフェイス環境では、この設定はプライマリーインターフェイスのみに有効です。

◆ ホスト名

ホスト名を入力します。

◆ プリンター名

プリンター名を入力します。

HTTP

■ HTTP ポート

HTTP を有効にする場合に選択します。

◆ ポート番号 (HTTP)

ポート番号を入力します。

補足

- ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するプロトコル (IPP、インターネットサービス (HTTP)、SOAP、WebDAV、Web Services on Devices (WSD)) は、同じポート番号を共用できます。

■ HTTPS ポート

HTTPS を有効にする場合に選択します。

◆ ポート番号 (HTTPS)

ポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で入力します。

◆ 最大接続数

同時に接続できる最大数を入力します。

◆ 接続タイムアウト

接続がタイムアウトするまでの時間を設定します。

◆ 本体の証明書

本体の証明書を選択します。

◆ CSRF 対策

CSRF (Cross Site Request Forgeries) 対策を有効にする場合に選択します。本機能は、お客様が悪意のある Web サイトにアクセスした際に、CentreWare Internet Services へ意図しない操作が実行され、本機の設定等が変更されることを防ぐための機能です。

■ プロキシサーバー

外部アクセスを使用するための設定をする場合に選択します。

注記

- ・ プロキシ設定が必要なサービスを使う場合だけ、設定を変更してください。

◆ プロキシサーバー指定方法

プロキシ接続のタイプを選択します。この項目は複数のインターフェイスを使用している場合に表示されます。

- ・ [同じプロキシを指定]
- ・ [個別にプロキシを指定]

◆ プロキシサーバー設定

プロキシサーバー設定のタイプを選択します。

自動で設定するには、[自動検出] を選択します。

構成スクリプトの URL を入力するには、[PAC ファイルを指定] を選択します。

プロキシサーバー情報を入力するには、[手動設定] を選択します。

◆ アドレス種別

[手動設定] の場合、プロキシサーバーを指定するタイプを選択します。

選択したアドレス種別に応じて、アドレスまたはホスト名を 255 文字以内の英数字、アンダーバー、ピリオド、コロンを使用して入力し、ポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で入力します。

◆ パスワード認証

プロキシサーバーに接続するときに認証が必要な場合に選択します。

◆ ログイン名

ログイン名を入力します。

◆ パスワード、パスワードの再入力

パスワードを入力します。

◆プロキシを使用しないアドレス

プロキシサーバーを使用しないアドレスを設定します。IPv4、IPv6 および FQDN 形式を使用できます。また、「*」（ワイルドカード）や「;」（区切り文字）を使った指定もできます。

IPP

■ポート

IPP（Internet Printing Protocol）を使って、インターネット経由でプリントするときに選択します。

■ポート番号

ポート番号が表示されます。

■PJL スイッチ

PJL スイッチを有効にする場合に選択します。PJL を使用すると、その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のジョブで使用するプリント言語を指定できます。

■プリントモード

使用するプリント言語の種類を選択します。[自動] を選択すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切なプリント処理を行います。

■追加ポート（IPP）、追加ポート（IPPS）

標準のポート番号以外で IPP を受け付ける場合に設定します。[追加ポート番号（IPP）] または [追加ポート番号（IPPS）] にポート番号を入力します。

補足

- ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。ただし、IPP の場合は、HTTP を使用するポート（インターネットサービス（HTTP）、SOAP、WebDAV、Web Services on Devices（WSD））は、同じポート番号を共用できます。または IPP では、443（HTTPS）は使用できませんが、80（HTTPS）または well-known ポート（HTTPS）は使用できません。

■TBCP フィルター

PostScript データに対して TBCP フィルターを有効にする場合に選択します。送信データにバイナリデータまたは EPS データが含まれている場合は、無効にします。

■アクセス権制御

認証にパスワードを使用する場合に選択します。

■接続タイムアウト

タイムアウトを設定する場合に選択します。

■タイムアウト値

接続タイムアウト時間を設定します。

■スプール

スプールを有効にする場合は [する] を選択します。

IPsec

IPsec について設定します。

補足

- [IKE 認証方式]、[事前共有鍵]、[DH グループ]、および [PFS] については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

有効	IPsec 通信を有効にするかどうかを設定します。
IKE 認証方式	IKE 認証方式を設定します。[事前共有鍵] または [デジタル署名] から選択できます。
事前共有鍵	事前共有鍵を入力します。[IKE 認証方式] が [事前共有鍵] の場合に設定します。
事前共有鍵の再入力	確認のために、事前共有鍵をもう一度入力します。
本体の証明書	IPsec 通信で使用する証明書を設定します。[IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合に設定します。ここでは、CentreWare Internet Services で作成した自己証明書は使用できません。
IKE SA のライフタイム	IKE SA の有効期間を 5 ～ 28800 分の範囲で 1 分単位で設定します。 補足 • [IPsec SA のライフタイム] より長くなるように設定してください。
IPsec SA のライフタイム	IPsec SA の有効期間を 300 ～ 172800 秒の範囲で 1 秒単位で設定します。 補足 • [IKE SA のライフタイム] より短くなるように設定してください。
DH グループ	DH グループを設定します。[G1]、[G2] および [G14] から選択できます。
PFS	PFS を有効にするかどうかを設定します。
相手アドレスの指定 (IPv4)	相手先の IPv4 アドレスを設定します。IP アドレスを入力する場合、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 の範囲の数値です。
相手アドレスの指定 (IPv6)	相手先の IPv6 アドレスを設定します。IP アドレスを入力する場合、xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。IPv6 アドレスの圧縮形式を使用することもできます。
IPsec 未対応機器との通信	相手アドレスで設定した以外のアドレスの、IPsec に対応していない機器に対して、通信をするかどうかを設定します。

LDAP

■ LDAP サーバー設定

サーバー設定	サーバーアドレス	サーバーの IP アドレスおよびポート番号を入力します。 補足 - IPv4 の場合、アドレスは xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 の範囲の数値です。 - IPv6 の場合は、 xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx の形式で入力します。xxx は 16 進数です。IPv6 アドレスの圧縮形式を使用することもできます。 - IP アドレスの代わりに完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力できます。
	代替サーバーアドレス	バックアップサーバーの IP アドレスおよびポート番号を入力します。 補足 - IPv4 の場合、アドレスは xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 の範囲の数値です。 - IPv6 の場合は、 xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx の形式で入力します。xxx は 16 進数です。IPv6 アドレスの圧縮形式を使用することもできます。 - IP アドレスの代わりに完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力できます。
詳細設定	検索起点エントリー (DN)	検索の起点となる文字列を、255 文字以内で設定します。 補足 ルートノードの識別名を入力します。 (例：CN=users、DC=mydomain、DC=mycorp、DC=com)
	検索用ログイン名	LDAP サーバーを検索するための識別名を、255 文字以内で設定します。
	検索用パスワード	[検索用ログイン名] で指定したユーザーのログインパスワードを設定します。半角で 32 文字まで入力できます。
	リフェラルの使用	接続中の LDAP サーバーによって要求された場合に、別のサーバーに接続を再確立するかどうかを指定します。
	リフェラルのホップ数上限	リフェラル機能を使用している場合に、何ホップ先の LDAP サーバーまで、問い合わせをするかを 1 ～ 5 回から設定します。

■ LDAP 認証

認証方式	認証方式を「直接認証」または「ユーザー属性認証」から選択します。
入力ユーザー名の属性	ユーザー名の属性を、ASCII 32 文字以内で設定します。ここで設定した属性は、LDAP サーバーでユーザー名を検索するときに使用されます。 操作パネルからユーザー名として入力する値に対応した LDAP サーバーの属性を設定します。たとえば、メールアドレスを入力させる場合はこの属性指定で“Mail”を記入します。
認証用ユーザー名の属性	ユーザー名の属性を、ASCII 32 文字以内で設定します。 LDAP サーバーに登録されているユーザー情報の中から実際に認証に使用する属性を入力します。
ユーザー名追加文字列の使用	操作パネルから認証情報を入力するときに、[ユーザー名追加文字列] で入力した文字列を自動で付加するかどうかを設定します。
ユーザー名追加文字列	[ユーザー名追加文字列の使用] が有効な場合にユーザー名に追加する文字列を入力します。ASCII 64 文字以内で設定します。 たとえば、[入力ユーザー名の属性] に“host”を指定し、その対象ユーザーの登録情報が host@mail.com だった場合、通常は host@mail.com と入力する必要があります。 ただし、[ユーザー名追加文字列の使用] が有効で、[ユーザー名追加文字列] で“@mail.com”と指定すれば、操作パネルから入力するデータは“host”だけで後ろの“@mail.com”は本機が付加するので、入力の手間を簡略化できます。

■ フィルター設定

ユーザー ID 用クエリフィルター	ネットワーク認証時の認証ユーザーのユーザー ID を取得するための検索式文字列を、ASCII 512 文字以内で設定します。
-------------------	--

LPD

■ ポート

LPD を使用する場合に選択します。

■ ポート番号

ポート番号を確認または入力できます。

■ PJL スイッチ

PJL スイッチを有効にする場合に選択します。PJL を使用すると、その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のジョブで使用するプリント言語を指定できます。

■ プリントモード

使用するプリント言語の種類を選択します。[自動]を選択すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切なプリント処理を行います。

■ TBCP フィルター

PostScript データに対して TBCP フィルターを有効にする場合に選択します。送信データにバイナリデータまたは EPS データが含まれている場合は、無効にします。

■ タイムアウト

接続タイムアウト時間を設定します。

■ 最大セッション数

本機に LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を、1 ～ 10 の範囲で 1 単位で設定します。

■ 文字列のエンコーディング

パラメーター文字列のエンコーディングの形式を選択します。

- [本体の言語設定に従う]
- [UTF-8]

■ スプール

スプールを有効にする場合は [する] を選択します。

■ TCP-MSS モード

TCP-MSS モードを有効にする場合に選択します。

◆ IPv4 サブネット 1 ～ 3

サブネットアドレスを入力します。

Port 9100

■ ポート

Port9100 を使用する場合に選択します。

Windows® の標準 TCP/IP ポートモニターで通信プロトコルに Raw 形式を使用する場合に設定します。

■ ポート番号

Port9100 のポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で設定します。

初期値は、9100 です。

注記

- ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。

■ PjL スイッチ

PjL スイッチを有効にする場合に選択します。PjL を使用すると、その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のジョブで使用するプリント言語を指定できます。

■ プリントモード

使用するプリント言語の種類を選択します。[自動]を選択すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切なプリント処理を行います。

■ タイムアウト

接続タイムアウト時間を設定します。

■ TBCP フィルター

PostScript データに対して TBCP フィルターを有効にする場合に選択します。送信データにバイナリデータまたは EPS データが含まれている場合は、無効にします。

■ TCP-MSS モード

TCP-MSS モードを有効にする場合に選択します。

◆ IPv4 サブネット 1 ～ 3

サブネットアドレスを入力します。

SMB

■ ポート

ポートを有効にする場合に選択します。

■ DHCP による WINS サーバーアドレス取得

DHCP によって WINS サーバーのアドレスを取得する場合に選択します。[IPv4]の [IP アドレス取得方法] が [DHCP から取得] に設定されている場合に有効です。

■ プライマリー WINS サーバーアドレス、セカンダリー WINS サーバーアドレス

[DHCP による WINS サーバーアドレス取得] が無効の場合に、サーバーアドレスを入力します。

SMTP

SMTP サーバーについて設定します。

■ ポート (メール通知)

メール通知ポートを有効にするかどうかを設定します。

■ 本体メールアドレス

本機のメールアドレスを設定します。ASCII 128 文字以内で入力します。

■ サーバー設定

- [サーバーアドレス設定]

SMTP サーバーのアドレスを設定する画面が開きます。

アドレスを手動で入力するか [サーバー一覧から選択] をクリックしてサーバーアドレスを設定する SMTP サーバーを検索します。

- [送信ポート番号]
ポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で入力します。
初期値は 25 です。

補足

- ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。

■ SSL/TLS 通信

SMTP の SSL/TLS 通信機能を使用するときに設定します。

■ 認証設定

- [送信時の認証方式]
メール送信時の認証方式を指定します。

補足

- AUTH GSSAPI (Kerberos のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTH-LOGIN、または AUTH CRAM-MD5 を認証方法として使用できます。
- [ログイン名]
認証が必要な SMTP サーバーの場合、SMTP 認証ユーザーのメールアドレスを半角 64 文字まで指定します。
- [パスワード]、[パスワードの再入力]
認証が必要な SMTP サーバーの場合、SMTP 認証ユーザーのパスワードを入力します。半角 64 文字まで入力できます。

SNMP**■ ポート**

本機をネットワーク上で管理する弊社製アプリケーションを使用する場合など、SNMP を使用するときを選択します。

■ 認証失敗の通知

認証が失敗したことを通知する場合に選択します。

■ SNMP v1/v2

[SNMP v1/v2] の設定を変更する場合に選択します。

◆ 有効

SNMP v1/v2 の読み取りアクセスを有効にする場合を選択します。

◆ 書き込み許可

SNMP v1/v2 の書き込みアクセスを有効にする場合を選択します。

◆ コミュニティー名**• 取得専用**

取得専用のコミュニティ名を設定します。

• 取得 / 書き込み用

取得 / 書き込み用のコミュニティ名を設定します。

• トラップ通知用

トラップ通知用のコミュニティ名を設定します。

◆ システム管理者名

機械管理者 ID を指定します。

■ SNMP v3

[SNMP v3] の設定を変更する場合に選択します。これは HTTPS が有効な場合に選択できます。

◆ 有効

SNMP v3 の読み取りアクセスを有効にする場合に選択します。

◆ 書き込み許可

SNMP v3 の書き込みアクセスを有効にする場合に選択します。

◆ 機械管理者アカウント**• ユーザー名**

機械管理者のユーザー名が表示されます。

• メッセージダイジェスト方式

メッセージダイジェスト方式の種類を選択します。

• 認証用パスワード、パスワードの再入力

パスワードを ASCII 8 ～ 32 文字で入力します。

• 本文の暗号化方式

本文の暗号化方式を [DEC] および [AES-128] から選択します。

• 暗号化パスワード、パスワードの再入力

パスワードを ASCII 8 ～ 32 文字で入力します。

◆ プリンタードライバアカウント**• メッセージダイジェスト方式**

メッセージダイジェスト方式の種類が表示されます。

• 本文の暗号化方式

本文の暗号化方式の [DEC] または [AES-128] が表示されます。

• パスワードをリセット

パスワードをリセットします。

■ トラップ通知先

通知先を登録できます。

補足

- マルチインターフェイス環境では、インターフェイスごとに通知先を設定してください。

◆ トラップ通知先

アドレスを登録するには [(未登録)] を選択します。

• SNMP バージョン

[SNMP v1/v2] の場合、SNMP バージョンを指定します。

• アドレス種別

アドレス種別を選択します。

• IP アドレス

アドレスおよびポート番号を入力します。

- **トラップコミュニティ名**

[SNMP v1/v2] のトラップコミュニティ名を入力します。

- **ユーザー名**

[SNMP v3] に対しては、[Xadmin] または [Xdrivers] から選択します。

- **通知するトラップ**

受信するトラップの種類を選択します。

- [プリンター]
- [ジョブ管理]
- [コールドスタート]
- [ウォームスタート]
- [認証失敗]

SNTP

■ 時刻サーバーと同期

時刻サーバー（NTP：Network Time Protocol）と本機とを同期させ、本機の時刻を時刻サーバーに合わせることができます。

■ 時刻サーバーアドレス

時刻サーバーのサーバー名または IP アドレスを指定します。

■ 接続間隔

時刻サーバーに接続する間隔を入力します。

SOAP

■ ポート

SOAP ポートを有効にする場合に選択します。

WSD

補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

■ ポート (WSD プリント)

WSD プリント用の機能で、工場出荷時に設定されています。この機能は無効にしないことをお勧めします。Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2、または Windows Server 2016 からネットワーク内にあるプリンターを検索できます。

■ ポート番号

WSD の通信で使用するポート番号を、1 ～ 65535 の範囲で設定します。

初期値は、80 です。

注記

- ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。ただし、HTTP を使用するポート（IPP、インターネットサービス（HTTP）、SOAP、WebDAV、Web Services on Devices（WSD））は、同じポート番号を共用できます。

■ PjL スイッチ

PjL スイッチを有効にする場合に選択します。PjL を使用すると、その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のジョブで使用するプリント言語を指定できます。

■ プリントモード

使用するプリント言語の種類を選択します。[自動] を選択すると、ホスト装置から受信したデータが、どの言語で記述されているかを自動的に判断し、データに合わせて適切なプリント処理を行います。

■ TBCP フィルター

PostScript データに対して TBCP フィルターを有効にする場合に選択します。送信データにバイナリデータまたは EPS データが含まれている場合は、無効にします。

■ データ受信時のタイムアウト

Web Services on Devices (WSD) クライアントからのデータ受信のタイムアウト時間を入力します。

■ 通知配信時のタイムアウト

Web Services on Devices (WSD) クライアントへの通知送信のタイムアウト時間を入力します。

■ 最大 TTL 値

最大 TTL 値を入力します。

■ 通知予約の最大登録数

通知予約の最大数を入力します。

認証 / 集計 / 権限

未認証ユーザーの権限

未認証ユーザーとは、現在プリンターにログインしていない人のことです。

操作パネルと CentreWare Internet Services から、操作に対する未認証ユーザー権限を設定できます。プリント機能の権限を設定することもできます。

操作に未認証ユーザー権限を設定するには、[確認 / 変更] をクリックし、[操作権限] を選択します。詳しくは、「操作権限グループの設定」(P.129) を参照してください。

プリント機能に未認証ユーザー権限を設定するには、[確認 / 変更] をクリックし、[プrint 権限] を選択します。詳しくは、「Print 権限グループの設定」(P.131) を参照してください。

補足

- 未認証ユーザー権限に許可されている機能は、他のすべての権限に対して自動的に許可されます。

アカウント一覧

[アカウント一覧] では、新しいユーザーアカウントを追加して、既存のユーザーアカウントを編集できます。

新しいユーザーアカウントを追加するには、[新規登録] を押します。詳しくは、「CentreWare Internet Services での新規ユーザーアカウントの作成」(P.163) を参照してください。

既存のユーザーアカウントを編集するには、そのユーザーアカウントを選択します。

 ボタンを使用すると、ユーザーを検索できます。詳しくは、「CentreWare Internet Services でのユーザーアカウントの編集」(P.164) を参照してください。

認証設定

認証方式

ログイン方法を選択し、設定を行います。

■簡易認証

本機に登録されているユーザー情報に基づいてユーザーを認証します。

本機にログインするときに、パスワードは必要ありません。

[一覧から選択] または [キーボードで入力] を選択します。

■本体認証

本機に登録されているユーザー情報に基づいてユーザーを認証します。

本機にログインするときに、パスワードが必要です。

[一覧から選択] または [キーボードで入力] を選択します。

■ 外部認証

認証するためのシステムを、[Kerberos]、[SMB]、[LDAP] から選択できます。

• Kerberos サーバー設定

Kerberos サーバー（標準）	認証先	認証先を指定します。
	サーバー名 /IP アドレス	サーバーアドレスを指定します。
追加	[追加] を押すと、[Kerberos サーバー] 部を画面に追加します。代替サーバーの [認証先] と [サーバー名 /IP アドレス] を設定します。	

• SMB サーバー設定

サーバー指定方法	サーバーの指定方法を [ドメイン名で指定] と [ドメイン名とサーバー名 /IP アドレスで指定] から選択します。	
SMB サーバー（標準）	ドメイン名	サーバーのドメイン名を入力します。 補足 • ドメイン名には、NetBIOS または Active Directory のドメイン名を使用します。
	サーバー名 /IP アドレス	サーバーアドレスを指定します。
追加	[追加] を押すと、[SMB サーバー] 部を画面に追加します。代替サーバーの [ドメイン名] と [サーバー名 /IP アドレス] を設定します。	

• LDAP

LDAP 設定については、「LDAP」(P.118) を参照してください。

ログアウト時の確認画面

認証解除時に確認画面を表示するかどうかを次のいずれかから設定します。

- 表示しない
- 表示する

詳細設定

■ 入力設定

認証時のユーザー ID 文字種	ログインユーザー名の大文字小文字を無視するかどうかを選択します。
-----------------	----------------------------------

■動作設定

認証失敗の記録	不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間（10 分）以内に、[失敗回数] で設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録されます。
管理者権限ユーザーの認証失敗アクセス拒否	機械管理者のなりすましによる不正な設定が行われないようするための機能です。機械管理者 ID の認証に連続して失敗した場合にアクセスを拒否するように、その失敗回数を設定できます。 回数は、1 ～ 10 回の範囲で指定できます。 補足 • 本機を再起動すると、失敗した回数はリセットされます。 • アクセス拒否状態を解除するときは、本機の電源を入れ直して、本機を再起動してください。

集計管理

[集計管理設定] を押して、集計管理機能を選択し、設定を行います。

補足

- [集計管理方式] が [Xerox Standard Accounting] に設定されている場合に、集計管理方式を選択するには、[認証 / 集計 / 権限] 画面で [集計管理設定] をクリックし、[集計管理方式] を選択します。集計アカウントを設定するには、[集計アカウントの確認 / 変更] を選択します。

集計管理方式

■運用しない

本機で操作するときに、集計管理は行いません。

■Xerox Standard Accounting

集計管理は、機械に事前に登録されたユーザー情報とアカウント情報に基づいて実行されます。次の設定を行います。

- [トラッキングの設定]

すべてのプリントをトラッキングするか、カラープリントのみをトラッキングするかを設定できます。

[トラッキングの例外設定]	[認証情報のないジョブ]	未認証ユーザーのプリントジョブ（集計管理コードのないジョブ）を許可するかどうかを設定します。
	[IPP プリントジョブ]	IPP 経由でプリントジョブを許可するかどうかを設定します。この設定を有効にするとき、無効な集計管理コードを許可するかどうかを選択します。
	[PC を登録]	特定のコンピューターからのプリントジョブを許可するかどうかを設定します。この設定を有効にするとき、アドレスまたはホスト名、ユーザー ID を入力してコンピューターを指定します。

- [ユーザー ID]
 - [入力文字を隠す]

入力したユーザー ID をマスクするには、[入力文字を隠す] を有効にします。

- [集計情報のリセット]
[集計管理設定] 画面の [Xerox Standard Accounting] の [リセット] からこのオプションを選択すると、すべてのユーザーと一般アカウントの使用状況のデータをリセットできます。
- [工場出荷時の設定に戻す]
[集計管理設定] 画面の [Xerox Standard Accounting] の [リセット] からこのオプションを選択すると、Xerox Standard Accounting に工場出荷時の設定を適用します。

補足

- このオプションでは、すべての一般アカウントと使用状況のデータが失われます。
- [集計管理レポート]
[集計管理設定] 画面の [Xerox Standard Accounting] の [レポート] を選択すると、[集計管理レポート] 画面が表示されます。ユーザー名をレポートに含めるかどうかを選択し、[ダウンロード] を押します。

権限グループ

操作権限グループの設定では、操作パネルと CentreWare Internet Services からの操作の権限を定義します。プリント権限グループの設定では、プリント機能の権限を定義します。権限グループを作成し、各ユーザーに権限を割り当てるができます。

また、権限サーバーと LDAP 権限グループを設定できます。

操作権限グループの設定

- 新しい権限グループの追加
 から新しい権限グループを追加できます。 を選択すると [権限グループの新規作成] と [既存の権限グループから複製] が表示されます。
 新しい権限グループを追加する場合は、[権限グループの新規作成] を選択します。詳しくは、「権限グループの新規作成」(P.130) を参照してください。
 登録済みの権限グループの設定を元に新しい権限グループを追加する場合は、[既存の権限グループから複製] を選択します。詳しくは、「既存の権限グループから複製」(P.131) を参照してください。
- 登録済みの権限グループの確認と編集
 登録済みの権限グループは [権限グループ] の下に表示されます。
 権限グループの設定を変更する場合は、[確認 / 変更] を押します。
 メンバーを確認、追加、または削除する場合は、[ユーザー一覧] を押します。
 - [権限グループの確認 / 変更]
 - [権限グループの確認 / 変更] 画面では、権限グループを設定できます。詳しくは、「権限グループの新規作成」(P.130) を参照してください。
 - [ユーザー一覧]
 - 本機に登録済みの権限グループのユーザーは [ユーザー一覧] の下に表示されます。
 - 新しいユーザーを権限グループに追加する場合は、 を押します。

- ・ユーザーの設定を変更する場合は、ユーザー名を選択してユーザー詳細画面で設定を行います。詳しくは、「CentreWare Internet Services でのユーザーアカウントの編集」(P.164)を参照してください。

補足

- ・権限グループのユーザーの人数は「ユーザー一覧」の後ろに表示されます。
- ・「機械管理者」権限グループは編集または削除できません。

■ 権限グループの新規作成

- ・「名称」
権限グループ名を入力します。
権限グループの説明も入力できます。
- ・「本体操作の権限設定」
操作パネルの操作に関するデフォルトの権限を、「仕様設定以外は許可」と「すべて許可」から選択できます。
上記以外の権限を与えるには、ユーザー定義の権限を設定します。「カスタム権限」を選択すると「カスタム権限の変更」画面を設定することができ、各機能に詳細な権限を設定できます。
「カスタム権限」設定は、次のとおりです。

補足

- ・一部の設定は、ソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

機械確認 / 仕様設定	アプリの使用
	レポート / リストの出力
	用紙トレイの設定
	消耗品確認
	消耗品関連の設定
	メーター確認
	システム / アプリ / ネットワーク設定とリセット
	ネットワーク情報
ホーム *	ログインを要求
ジョブ確認	アプリの使用
	完了ジョブの表示
	ジョブ詳細の確認
	ジョブの中止
カスタマイズ	ホームのカスタマイズ
	プリセットの保存
	初期設定の保存
	機能リストのカスタマイズ
USB プリント	アプリの使用
	USB プリントアプリの使用

*:この項目は、未認証ユーザー権限を設定した場合にのみ表示されます。

- [インターネットサービスの権限設定]

CentreWare Internet Services の操作に関するデフォルトの権限を、[ホームとジョブは許可] と [ホームは許可] から選択できます。

上記以外の権限を与えるには、ユーザー定義の権限を設定します。[カスタム権限] を選択すると [カスタム権限の変更] 画面を設定することができ、各機能に詳細な権限を設定できます。

[カスタム権限] 設定は、次のとおりです。

ホーム *	ログインを要求
ジョブ	ページの表示
	完了ジョブの表示
	ジョブ詳細の確認
	ジョブの中止

*: この項目は、未認証ユーザー権限を設定した場合にのみ表示されます。

■ 既存の権限グループから複製

登録済みの権限グループを元にして、新しい権限グループを作成することができます。登録済みの権限グループから元となる権限グループを選択し、ユーザーを新しい権限グループに移行するかどうかなを選択します。

本機に登録されているユーザーを新しい権限グループに移行するときは、[ユーザーの追加] 画面でユーザーを選択して [決定] を押します。

その後、新しい権限グループを作成する場合と同様の設定を行います。

プリント権限グループの設定

- 新しい権限グループの追加

+ から新しい権限グループを追加できます。**+** を選択すると [権限グループの新規作成] と [既存の権限グループから複製] が表示されます。

新しい権限グループを追加する場合は、[権限グループの新規作成] を選択します。詳しくは、「権限グループの新規作成」(P.132) を参照してください。

登録済みの権限グループの設定を元に新しい権限グループを追加する場合は、[既存の権限グループから複製] を選択します。詳しくは、「既存の権限グループから複製」(P.132) を参照してください。

- 登録済みの権限グループの確認と編集

登録済みの権限グループは [権限グループ] の下に表示されます。

権限グループの設定を変更する場合は、[確認 / 変更] を押します。

ユーザーを確認、追加、または削除する場合は、[ユーザー一覧] を押します。

- [権限グループの確認 / 変更]

- [権限グループの確認 / 変更] 画面では、権限グループを設定できます。詳しくは、「権限グループの新規作成」(P.132) を参照してください。

- [ユーザー一覧]

- 本機に登録済みの権限グループのユーザーは [ユーザー一覧] の下に表示されます。
- 新しいユーザーを権限グループに追加する場合は、**+** を押します。

- ・ユーザーの設定を変更する場合は、ユーザー名を選択してユーザー詳細画面で設定を行います。詳しくは、「CentreWare Internet Services でのユーザーアカウントの編集」(P.164)を参照してください。

補足

- ・権限グループのユーザーの人数は[ユーザー一覧]の後ろに表示されます。
- ・どの権限グループにも属さないユーザーには、[基本プリント権限]が自動的に割り当てられます。

■権限グループの新規作成

- ・[名称]
権限グループ名を入力します。
権限グループの説明も入力できます。
- ・[プリント権限の設定]

制限しない	ユーザーは制限なく文書を印刷できます。	
月曜日から金曜日はプリント許可	ユーザーは月曜日から金曜日の午前 8 時～午後 5 時の間に文書をプリントできます。 ユーザーは片面でもカラーでもプリントできます。	
両面白黒プリントのみ許可	ユーザーは両面白黒プリントのみ行うことができます。	
白黒プリントのみ許可	ユーザーは白黒プリントのみ行うことができます。 補足 ・カラープリントが許可されていない場合、カラープリントとして指示されたプリントジョブは、自動的に白黒で出力されます。	
カスタム権限	時間帯によるプリント権限	特定の日時に白黒プリントやカラープリントに関する権限を設定できます。
	ジョブ種別ごとのプリント権限	プリントジョブの種別ごとに権限を設定できます。
	片面プリントの権限	片面プリントを許可するかどうかを設定できます。 補足 ・片面プリントが許可されていない場合には、片面プリントとして指示された印刷ジョブが自動で両面プリントされます。
	トレイ使用の権限	トレイの使用に関する権限を設定することができます。

■既存の権限グループから複製

登録済みの権限グループをもとにして、新しい権限グループを作成することができます。登録済みの権限グループからもとなる権限グループを選択し、各ユーザーを新しい権限グループに登録するかどうかを選択します。

本機に登録されているユーザーを新しい権限グループに登録するときは、[ユーザーの追加]画面でユーザーを選択して[決定]を押します。

その後、新しい権限グループを作成する場合と同様の設定を行います。

権限サーバーの設定

リモートサーバーが権限を処理できるようにすることができます。

新しい LDAP サーバーを登録するには、[使用する] を選択して [決定] を押します。[LDAP] 画面で設定を行います。LDAP 設定については、「LDAP」(P.118) を参照してください。

補足

- この項目は、権限サーバーが使用されていない場合に表示されます。

権限サーバーの設定

使用されているサーバーを変更するか、権限グループの使用を停止することができます。

補足

- この項目は [権限サーバーの設定] が [使用しない] 以外に設定された場合に表示されます。

LDAP グループの設定

LDAP グループの追加、編集、および削除ができます。

補足

- この項目は [権限サーバーの設定] が [使用しない] 以外に設定された場合に表示されます。

• LDAP グループを追加する

LDAP グループを追加するには、**+** を押します。[LDAP グループの追加] 画面で LDAP グループの設定を行います。

1. グループ名を入力して、 ボタンを押します。
2. [検索結果] からグループを選択して、[次へ] を押します。
3. [操作権限グループの選択] 画面で操作権限グループを選択して、[次へ] を押します。
4. [プリント権限グループの選択] 画面でプリント権限グループを選択します。

• LDAP グループを編集する

既存の LDAP グループを選択すると、次の情報が表示されます

操作権限グループの変更	LDAPグループに設定された操作権限グループを変更できます。
プリント権限グループの変更	LDAPグループに設定されたプリント権限グループを変更できます。
ユーザー一覧	LDAPグループに関連するユーザー名の一覧が表示されます。
LDAP グループの削除	LDAP グループを削除します。

パスワードの運用

最小桁数

パスワードの最小桁数を指定します。

1 ～ 63 桁の範囲で 1 桁単位で設定できます。

最大桁数

パスワードの最大桁数を指定します。

1 ～ 63 桁の範囲で 1 桁単位で設定できます。

ユーザー ID を含むパスワード

ユーザー ID を含むパスワードを許可するかどうかを選択します。

パスワードの必須文字

パスワードに数字または英数字以外の文字を含める必要があるかどうかを選択できます。

システム

日付 / 時刻設定

本機のシステム時計の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻はすべてのリストおよびレポートに印刷されます。

日付

■日付の形式

日付の形式を選択します。

- [年 / 月 / 日]
- [月 / 日 / 年]
- [日 / 月 / 年]

■日付

今日の日付を入力します。カレンダーから日付を選択できます。

時刻

時刻の形式を [12 時間制表示] または [24 時間制表示] で指定します。

■午前 / 午後

[時刻] を [12 時間制表示] に設定した場合、[午前] または [午後] を選択します。

■時刻

現在の時刻を入力します。

■タイムゾーン

タイムゾーンを選択します。

サマータイム調整

夏時間（サマータイム）を設定できます。夏時間（サマータイム）中は、通常時よりも1時間進んだ時刻になります。

SNTP 設定

[確認 / 変更] を選択して、設定を確認または変更します。

詳しくは、「SNTP」(P.124) を参照してください。

省エネルギー設定

節電モード移行設定

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があり、設定時間が経過すると次のように移行し、消費電力を下げます。

「本機を最後に操作」→「低電力モード」→「スリープモード」

補足

- [低電力モード移行時間] および [スリープモード移行時間] には、合計で60分までの時間を入力できます。

■低電力モード移行時間

最終操作から低電力モードに移行するまでの時間を指定します。

■スリープモード移行時間

低電力モードに入った後にスリープモードに移行するまでの時間を指定します。

電源制御の設定

■自動電源オフ

スリープモードで一定時間経過後に、自動的に本機の電源をオフにします。この機能を使用する場合は、[電源オフまでの時間] に値を入力します。

- [しない]

この機能を使用しません。

- [する]

指定した時間の経過後に本機の電源をオフにします。

- [可能な場合はする]

指定した時間内に以下の条件がすべて一致した場合にのみ、本機の電源をオフにします。

- 背面の USB ポートを使用していない
- 有線ネットワークポートを使用していない
- 無線接続を使用していない

タイムアウト設定

自動リセット（本体）

■タイムアウト

操作パネルで何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、自動的にリセットとログアウトされる時間を指定します。

自動リセット（インターネットサービス）

■タイムアウト

CentreWare Internet Services 上で何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、自動的にログアウトされる時間を指定します。

セキュリティー設定

■機械起動時のプログラム診断

本機の電源を入れ、起動させたときに、プログラム診断をするかどうかを設定します。

プログラム診断で意図的なプログラムの書き換えなどの異常が見つかった場合は、起動を停止し、監査ログに記録します。

補足

- プログラム異常の状態によっては、監査ログに記録されない場合があります。

■ ソフトウェアオプションの設定

この機能は、カスタマーエンジニアが設定します。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

補足

- この項目は、HTTP の通信を暗号化すると表示されます。詳しくは、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.154) を参照してください。

■ カスタマーエンジニアの操作制限

カスタマーエンジニアのなりすましによって、本機のセキュリティの設定が変更されないように、カスタマーエンジニアの操作を制限するかどうかを設定します。

設定を有効にする場合は、[保守パスワード] に 4 ～ 12 桁のパスワードを設定できます。

カスタマーエンジニアがメンテナンスを行う場合は、このパスワードを入力する必要があります。

補足

- この項目は、HTTP の通信を暗号化すると表示されます。詳しくは、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.154) を参照してください。
- 設定を有効にする場合は、以下のことに注意してください。
 - 機械管理者のパスワードをなくした場合、カスタマーエンジニアのみが実行できる項目を変更できなくなります。
 - パスワードをなくすと、機器に障害が発生した場合に、カスタマーエンジニアがメンテナンス作業を行えなくなります。
- 制限されている項目の変更およびメンテナンス作業を実行するには、機器の電気回路基盤を交換する必要があります。

電気回路基盤および作業に対する費用が発生します。
機械管理者のパスワードはなくさないようにしてください。

電子証明書

■ 証明書設定

証明書を設定します。

証明書の種類を [デバイス証明書]、[信頼する認証局の証明書]、[中間認証局の証明書]、[その他の証明書] および [CRL] から選択します。

- デバイス自己証明書を作成する

ドロップダウンメニューから [デバイス証明書] を選択して、[新規作成] を押します。その後、[自己署名証明書の作成] を押します。新しいデバイス証明書に次の項目を設定してください。

デジタル署名の方式	[RSA/SHA-256]、[RSA/SHA-384] および [RSA/SHA-512] から選択します。
公開鍵長	[1024bit] および [2048bit] から選択します。
発行者	証明書の発行者の名を入力します。
有効期間 (日数)	[有効期間 (日数)] を 1 ～ 9999 日から選択します。

- 証明書署名要求（CSR）を作成する

ドロップダウンメニューから「デバイス証明書」を選択して、「新規作成」を押します。その後、「証明書署名要求（CSR）の作成」を押します。CSR に次の項目を設定してください。

デジタル署名の方式	[RSA/SHA-1] および [RSA/SHA-256] から選択します。
公開鍵長	[1024bit] および [2048bit] から選択します。
2 文字の国名コード (C)	国名コードを、ASCII 2 文字で入力します。
都道府県名 (ST)	都道府県名を、128 文字以内で入力します。 この項目は省略できます。
市区町村名 (L)	市区町村名を、128 文字以内で入力します。 この項目は省略できます。
組織名 (O)	組織名を、64 文字以内で入力します。
組織単位名 (OU)	部署の名前を、32 文字以内で入力します。
一般名 (CN)	本機に登録されたホスト名とドメイン名を表示します。
メールアドレス	本機に登録されたメールアドレスを表示します。

CSR は作成後にダウンロードできます。

- 証明書をインポートする

ドロップダウンメニューから証明書の種類を選択して、「インポート」を押します。「証明書のインポート」画面が表示されます。

証明書を選択し、パスワードを入力します。その後、「インポート」を押します。

- 証明書を削除する

削除する証明書を確認し、「削除」を押します。

- 証明書の詳細を確認する

証明書をクリックすると、次の項目を確認できる「証明書詳細」画面を表示します。

カテゴリー	証明書カテゴリーを表示します。
発行先	証明書の発行先を表示します。
発行者	証明書の発行者を表示します。
シリアル番号	証明書のシリアル番号を表示します。
デジタル署名の方式	証明書の署名アルゴリズムを表示します。
公開鍵長	証明書の公開鍵ビット長を表示します。
有効期間の開始	証明書の有効期間の開始日と時間を表示します。
有効期間の終了	証明書の有効期間の終了日と時間を表示します。
証明書の状態	証明書の現在の有効性を表示します。
証明書の目的	証明書の目的を表示します。
選択状況	本機の証明書の設定状態を表示します。
メールアドレス	証明書のメールアドレスを表示します。

「エクスポート」をクリックすると、クライアント PC に証明書をエクスポートします。

■ 自己署名証明書の自動生成 / 更新

デバイス証明書がない場合、自動的に自己署名証明書を作成し、証明書の期限が切れる前に自動更新します。

補足

- 手動で作成された自己署名証明書は自動で更新されません。

■ 証明書パス検証

証明書パス検証を有効にするかどうかを設定できます。

■ 証明書失効確認の設定

証明書失効確認の設定をします。

証明書検証レベル	証明書の検証レベルを設定します。[低]、[中]、[高] から選択できます。 [低] の場合、証明書の失効確認を行いません。 [中] の場合、証明書の失効確認まで行います。ネットワークエラーなどで失効確認できなかったときも有効な証明書として扱います。 [高] の場合、失効していないと確認された証明書だけを有効な証明書として扱います。	
失効確認の方式	証明書失効確認の方式を設定します。本機が検証局から失効リスト (CRL) を取得して照合する場合は、[失効リスト (CRL) を取得する] を選択します。証明書の有効性を確認できる OCSP (Online Certificate Status Protocol) を使って認証局や検証局に問い合わせる場合は、[OCSP で問い合わせる] を選択します。	
OCSP	レスポнда指定方法	OCSP レスポндаの指定方法を設定します。[証明書に記載の URL を使用]、[本体で設定した URL を使用] から選択できます。
	レスポнда URL	[レスポнда指定方法] で [本体で設定した URL を使用] を選択した場合は、問い合わせ先の URL を 255 文字以内で指定します。使用できる文字は、英数字、パーセント (%)、アットマーク (@)、ピリオド (.)、コロン (:)、スラッシュ (/)、アンダーバー (_)、ハイフン (-)、チルダ (~)、クエスチョン (?)、アンド (&)、イコール (=) です。
	通信時間の上限	OCSP レスポндаとの通信時間の上限を、5 ～ 60 秒で 1 秒単位で設定します。
失効リスト (CRL)	CRL の自動取得	失効リスト (CRL) を自動取得するかどうかを設定します。
	CRL 取得時間の上限	失効リスト (CRL) を取得する時間の上限を、5 ～ 60 秒で 1 秒単位で設定します。

ハードディスクの上書き消去

ハードディスクの上書き消去をするかどうかを設定します。

プリントの処理が終了すると、各処理で使用したハードディスクの領域からデータを削除したあと、それらの情報が記録されていた領域に情報を持たないデータで自動的に上書きします。そうすることによって、ハードディスクに記録されていたデータの不正な取り出し / 復元を防ぎます。システムが一時的に保存したデータにも対応します。

補足

- ハードディスクドライブのサイズやファイルの数によっては、ハードディスクの上書き消去が完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。
- 開始した上書き消去処理は取り消せません。
- ハードディスクの上書き消去が無効の場合は「設定変更」ボタン、有効の場合は「設定変更 / 手動実行」ボタンが画面に表示されます。
- お使いの機種またはオプションの装着状況によっては、この機能は利用できません。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

■ 共通

◆ 上書き消去

ハードディスクデータの上書き機能を有効にするかどうかを選択します。

◆ 上書き回数

上書きする回数を、1 回または 3 回から選択できます。

◆ 上書き確認レポート

上書きの実行結果をプリントするタイミングを、「エラー時のみ自動出力する」または「常に自動出力する」から選択します。

■ 日時指定

定期的な上書きを有効にするかどうかを選択します。

◆ 実行間隔

上書きが定期的に実行される間隔を選択します。

◆ 曜日

(「毎週」を指定した場合にのみ選択できます。)

定期的な上書きが実行される曜日を設定します。

◆ 日

(「毎月」を指定した場合にのみ選択できます。)

定期的な上書きが実行される日を設定します。

◆ 時刻

上書きが実行される時刻を設定します。

■ 手動実行

上書きを今すぐ実行する場合は、「開始」を選択します。

ネットワークセキュリティ

■ SSL/TLS 設定

SSL/TLS について設定します。

[TLS 1.0]、[TLS 1.1]、[TLS 1.2] からプロトコルを選択します。

本体の証明書 - サーバー	SSL/TLS 通信するための、サーバー証明書を設定します。
HTTP-SSL/TLS 通信	SSL/TLS 通信を有効にするかどうかを設定します。
HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号	SSL/TLS 通信のポート番号を、1 ～ 65535 の範囲で指定します。 初期値は、443 です。 補足 • ほかのポートと同じポート番号を使用しないでください。
LDAP-SSL/TLS 通信	認証などのアクセスに SSL/TLS 通信するかどうかを設定します。 SSL 通信を有効にした場合には、[LDAP サーバー設定] の [サーバーアドレス] と [代替サーバーアドレス] を変更する必要があります。 LDAP のディレクトリーサーバーの SSL 通信のポート番号は、通常、636 になります。
SMTP-SSL/TLS 通信	SSL/TLS 通信を [無効]、[STARTTLS 接続 (可能な場合)]、[STARTTLS 接続]、[SSL/TLS 接続] から設定します。
本体の証明書 - クライアント	SSL/TLS 通信するための、クライアント証明書を設定します。
相手サーバーの証明書の検証	本機を SSL クライアントとして動作させるときに、相手サーバーの証明書を検証するかどうかを設定します。

受付ポート

利用できるポートの一覧を表示します。ポートを登録するには、[追加] を押します。

■ 受付ポートの追加

◆ ポート番号

ポート番号を設定します。

◆ ポートの種類

ポートの種類を設定します。

- [ソース]
- [ディスティネーション]

◆ プロトコル

プロトコルの種類を設定します。

- [TCP]
- [UDP]

受付 IP アドレス制限

本機へ接続できる IP アドレスを登録することができます。

補足

- 各インターフェイスに 25 個まで IP アドレスと IP マスクを追加することができます。

■ IPv4

接続を受け付ける IPv4 アドレスを登録する場合に選択します。

◆ IP アドレス / マスク

[追加] を選択してから、IP アドレスおよび IP マスク（サブネットマスク）を入力します。

IP マスクを設定するには、0 ～ 32 の数字を入力します。この数字の範囲は IP アドレスを構成する 32 ビットの 2 進数に対応しています。

例：

- IP アドレスが 1 つ（192.0.2.1）のみ使用可能な場合は、
 - IP アドレス：192.0.2.1
 - IP マスク：32
- 複数の IP アドレス（192.168.10.1 ～ 192.168.10.255）が使用できる場合は、
 - IP アドレス：192.168.10.1
 - IP マスク：24

補足

- この設定は、プリントおよび CentreWare Internet Services などの TCP/IP を使用するすべての機能に適用されます。

■ IPv6

接続を受け付ける IPv6 アドレスを登録する場合に選択します。

◆ IP アドレス / マスク

[追加] を選択してから、IP アドレスおよび IP マスク（サブネットマスク）を入力します。

IP マスクを設定するには、0 ～ 128 の数字を入力します。この数字の範囲は IP アドレスを構成する 128 ビットの 16 進数に対応しています。

例：

- IP アドレスが 1 つ（2001:D880:ABCD:EF01:0:20:3:4567）のみ使用可能な場合は、
 - IP アドレス：2001:D880:ABCD:EF01:0:20:3:4567
 - IP マスク：128
- 複数の IP アドレス（2001:D880:ABCD:EF01:1:1:1:1 ～ 2001:D880:ABCD:EF01:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF）が使用できる場合は、
 - IP アドレス：2001:D880:ABCD:EF01:0:20:3:4567
 - IP マスク：64

補足

- この設定は、プリントおよび CentreWare Internet Services などの TCP/IP を使用するすべての機能に適用されます。

送受信ドメインの制限

ドメインを制限するオプションを選択します。

[送受信許可ドメインを指定] に設定すると、送受信を許可するドメインを指定できます。[送受信禁止ドメインを指定] に設定すると、送受信を禁止するドメインを指定できます。

この機能を無効にするには、[しない] を選択します。

■ 送受信許可ドメイン、送受信禁止ドメイン

[送受信ドメインの制限] で [送受信許可ドメインを指定] または [送受信禁止ドメインを指定] を選択した場合に、そのドメインを最大 50 個まで指定できます。

初期設定

共通

■ スタートアップページ

本機の電源が入ったときに、自動でスタートアップページをプリントするかどうかを設定します。

- [自動出力しない]

スタートアップページをプリントしません。

- [自動出力する]

自動でスタートアップページをプリントします。

■ プリント用紙サイズの初期値

使用頻度の高い用紙サイズを既定サイズとして設定します。

[A4]、[8.5×11"] から選択できます。

■ 用紙の置き換え

自動トレイ選択で選択された用紙サイズの用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えてプリントをするかどうかを設定します。置き換える場合は、[大きいサイズを選択]、[近いサイズを選択]、[特定サイズのみ近いサイズを選択]、[手差しトレイを選択] から選択できます。

■ 転写装置の待機状態

本機が、[カラープリント向き] または [白黒プリント向き] のどちらで待機するかを選択します。

指定した待機状態ではないプリントの場合、一枚めの出力に多少の時間がかかります。

■ カラーモード自動時の印刷動作

カラーモードが自動に設定されている場合、カラープリントを [標準]、[消耗品の節約を優先]、[速度を優先] のいずれで実行するかを選択します。

■ 階調補正

既定の階調を手動で補正できます。

トレイ設定

■用紙種類別画質処理

各用紙に使用する画像処理の種類を設定します。

■ユーザー用紙属性の名称設定

ユーザー用紙種類 1 ～ 5 に名称を付けられます。

名称は、24 文字まで設定できます。

プリンター設定

プリンターで使用する用紙に関する設定をします。

■メモリー設定

メモリーの設定を変更できます。

■蓄積プリント以外のプリント

蓄積プリント以外のプリントを許可するかどうかを選択します。

■手差しプリントの確認

手差しトレイの用紙種類とサイズを確認するかどうかを設定します。

■異常終了後のプリント処理

エラーなどでプリントジョブが停止した場合に、そのジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。

補足

- 本機は後続のプリントジョブを制限するため、オフライン状態になります。

◆自動的に再開する

そのジョブを自動的に削除し、後続のプリントジョブのプリントを開始します。

◆ユーザー操作で再開する

そのジョブを削除するかどうかの確認画面を表示します。確認画面でユーザーが削除を指示した後に、そのジョブを削除し、後続のプリントジョブのプリントを開始します。

■紙づまり発生時のプリント処理

プリント実行中に紙づまりなどのエラーが発生した場合、紙づまりの処置が終了したあとのプリント処理方法を設定します。

◆紙づまり除去後再開する

紙づまりの処置が終了すると、正常に排出された最後のページの次のページから、自動的にプリントを再開します。

◆プリントを中止する

プリントを中止して、そのプリントジョブを削除します。

補足

- 蓄積されているプリント文書（セキュリティプリント、サンプルプリントの文書）は、[プリントを中止する] を設定していても、紙づまりの処置が終了するとプリントを再開します。

■ バナーシートの出力

本機を複数のユーザーで使用している場合など、ユーザーごとのジョブを区別して、印刷物が混在しないようにバナーシートを出力します。ジョブの前や後ろに出力することができます。

バナーシートには、日付、時間、ユーザー名、ファイル名などが印刷されます。

補足

- Macintosh からのプリントジョブのバナーシートには、文書名は表示されません。
- バナーシートをプリントした場合は、メーターに加算されます。

◆ 用紙トレイ

仕分け用の用紙（バナーシート）に使用する用紙トレイを設定します。

◆ プリンタードライバーの設定を優先

チェックを付けると、プリンタードライバーでのバナーシート出力設定に従って処理します。

◆ 区切りページ指定の検出

クライアントによる区切りページ指定を検知するかどうかを設定します。

■ レポート設定

◆ レポート出力用トレイ

レポートを出力するトレイを指定します。

◆ プリントエラーレポート

プリントエラーレポートを自動的に出力するかどうかを選択します。

エミュレーション設定

[エミュレーション設定] 画面で選択できる機能について説明します。

PCL6/5e 設定

[PCL6/5e] メニューでは、Printer Control Language (PCL) エミュレーションプリント言語を使用するジョブのみに影響を与えるプリンター設定を変更します。

[プリント部数の優先指定]

デフォルトの優先プリント部数を設定します。

[プリント部数]

デフォルトのプリント部数を設定します。プリンタードライバーから特定のジョブに必要な部数を設定します。プリンタードライバーから設定した値は、操作パネルから設定された値より優先されます。

〔用紙トレイ〕

デフォルトの用紙トレイを設定します。

〔用紙サイズ〕

デフォルトの用紙サイズを設定します。

〔用紙サイズ（手差しトレイ）〕

手差しトレイのデフォルトの用紙サイズを設定します。

〔カスタム用紙サイズ 幅〕

ユーザー定義サイズの用紙の幅を設定します。

〔カスタム用紙サイズ 高さ〕

ユーザー定義サイズの用紙の高さを設定します。

〔カラーモード〕

カラーでプリントするか白黒でプリントするか、または本機が自動でカラーモードを判別するかを設定します。

〔両面〕

片面プリントか両面プリントかを設定します。両面プリントの場合は、長辺とじか短辺とじかを設定できます。

〔白紙スキップ〕

白紙をプリントするかどうかを設定します。

〔原稿の向き〕

原稿の向きを設定します。

〔ワイド A4〕

A4 ワイドを有効にするかどうかを設定します。

〔フォントピッチ〕

スケーラブルな等幅のフォントのフォントピッチを設定します。

〔フォントサイズ〕

スケーラブルな書体のフォントサイズを設定します。

〔フォント〕

本機に登録されているフォントからデフォルトのフォントを設定します。

〔シンボル〕

指定したフォントのシンボルセットを設定します。

[フォーム行数]

ページの行数を設定します。

[LF と FF の指定]

行末処理を設定します。

- [しない]
行末処理をしない。
- [CR+LF/CR+FF]
LF/FF に CR をつけて、CR+LF および CR+FF として処理する。

[CR 指定]

行末処理を設定します。

- [しない]
行末処理をしない。
- [CR+LF]
CR に LF をつけて、CR+LF として処理する。

[HexDump]

HexDump 機能を有効にすると、プリントトラブルの原因を切り分ける手助けをします。[HexDump] が設定されているとき、本機に送信されたすべてのデータが 16 進法の文字表記でプリントされます。制御コードは実行されません。

[イメージエンハンス]

イメージエンハンス機能を有効にすると、白と黒の境界線が滑らかになり、端のギザギザを減らすことで見た目がよくなります。

■ マクロ / フォント管理

- [マクロ管理]
使用するマクロの各項目を設定します。
詳しくは、[マクロ一覧] ボタンをクリックして表示される [PCL マクロ一覧] 画面で設定します。
- [フォント管理]
使用する PDL のフォントの各項目を設定します。
詳しくは、[フォント一覧] ボタンをクリックして表示される [PCL フォント一覧] 画面で設定します。
- [Paper Supply コマンド]
[一覧の表示] ボタンをクリックすると、[PCL Paper Supply コマンド] 画面が表示されます。ここでは、論理給紙トレイ番号と物理トレイ名称が表示されます。

PostScript 設定

■ エラーシートの出力

PostScript 対応ページ記述言語に関するエラー内容をプリントするかどうかを設定します。

■用紙選択

PostScript モードのトレイを選択する方法を設定します。

[自動]	トレイを PCL モードと同じ設定にします。
[トレイから選択]	トレイを一般 PostScript プリンターと互換のある方法に設定します。

PDF 設定

[PDF] メニューでは、PDF ジョブのみに影響を与えるプリント設定を変更します。

[デコンポーザーの切り替え]

プリント処理モードを設定します。

[出力部数]

プリントする部数を設定します。

[用紙サイズ]

PDF ファイルの出力用紙サイズを設定します。

[カラーモード]

プリント時のカラーモードの初期値を設定します。

[両面]

用紙の片面または両面をプリントするかどうかを設定します。両面プリントするときは、長辺とじまたは短辺とじを設定できます。

[ソート]

PDF ジョブをソートするかどうかを設定します。

[印刷モード]

印刷モードを設定します。

- [標準]

標準サイズの文字の原稿に使用します。

- [高速]

画質は下がりますが、標準モードよりも高速でプリントできます。

- [高画質]

小さい文字や細かい線のある原稿、またはドットマトリックスプリンターでプリントされた原稿に使用します。

[レイアウト]

出力レイアウトを設定します。

- [自動倍率]

プリンターが設定した倍率で原稿をプリントします。

- [カタログ]
端をとじたときに冊子になるように、原稿を両面プリントします。
- [2UP]
2 ページを用紙の片面にプリントします。
- [4UP]
4 ページを用紙の片面にプリントします。
- [等倍]
原稿と同じサイズでプリントします。

[パスワード]

ファイルを開くのにパスワードが必要な PDF ファイルをプリントする場合に、パスワードを設定します。

TIFF/JPEG 設定

[TIFF/JPEG] メニューでは、TIFF/JPEG ジョブのみに影響を与えるプリント設定を変更できます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

XPS

XPS のバージョンを表示します。

補足

- XPS とは、XML Paper Specification の略です。

ログ設定

監査ログ

本機での作業を記録する監査ログ機能を有効にしたり、監査ログを取り出したりすることができます。

ソフトウェアバージョンアップ設定

バージョンアップが可能な場合は、本機のソフトウェアを更新することができます。

機械管理の権限のあるユーザーは、コンピューターから更新ファイルを指定してソフトウェアを更新することができます。

プラグイン設定

カスタムサービスを利用する場合に、プラグインを登録、表示および有効にできます。

プラットフォームバージョン

プラットフォームバージョンを表示します。

登録 / 更新時の署名検証

プラグインを登録または更新する場合に署名を検証します。

組み込みプラグイン機能

組み込まれているプラグイン機能を使用するかどうかを設定します。

組み込みプラグイン

プラグインの一覧を表示し、状態を変更します。

プラグインを追加するには、[登録] をクリックします。

単位表示 / サイズ検知切り替え

ミリ / インチ切り替え

画面に表示される単位を [ミリ] または [インチ] に切り替えます。

サイズ検知切り替え

プリント設定に使用するデフォルトの用紙サイズを選択することができます。

A4 サイズの用紙を次のいずれかのプリント設定の初期値に設定する場合や、[ミリ / インチ切り替え] を [ミリ] に設定する場合には、[A B 系] を選択します。

レターサイズの用紙を次のいずれかのプリント設定の初期値に設定する場合や、[ミリ / インチ切り替え] を [インチ] に設定する場合には、[インチ系] を選択します。

- プリント用の初期設定の用紙サイズ
- 各用紙トレイの画面に表示された初期設定のユーザー定義用紙
- 各用紙トレイと手差しトレイの初期設定の用紙サイズ

8

暗号化と署名機能の設定

暗号化と署名機能の概要

証明書の種類

本機で暗号化と署名機能を利用するには、証明書が必要になります。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書（有効期限は、1 から 9999 日の範囲で指定可能）
- 他の認証局で作成された証明書

他の認証局で作成された証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services で本機にインポートしてください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書

暗号の種類	証明書の種類	
	自己証明書	他の認証局から発行された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）	○	○
本機から外部サーバーへの HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）	X	○
IPsec を使用した暗号化	X	△*

○: 使用できる

△: 必要に応じて使用する

×: 使用できない

*:[IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合に使用できます。

他の認証局に証明書の発行を依頼する

CentreWare Internet Services の [証明書設定] 画面で [新規作成] が選択できる場合は、他の認証局に証明書の発行を依頼する際に必要な証明書署名要求（CSR）を生成できます。

通信の暗号化機能

本機とデータを送受信する場合、データを暗号化できます。

クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の HTTP サーバーを利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス (HTTP) ポート、IPP ポート、WebDAV ポートがあります。

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通信を暗号化するには、デバイス証明書として、自己証明書または他の認証局で作成された証明書が使用できます。

補足

- HTTP の通信を暗号化することによって、IPP でプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。

本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

本機から外部サーバーへの HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、他の認証局で作成された証明書が使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、他の認証局で作成された証明書を CentreWare Internet Services を使用して本機にインポートしてください。

IPsec を使用し暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。アプリケーションに関係なく、IP レベルでの暗号化が行われます。

[IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合は、他の認証局で作成されたデバイス証明書が必要です。

[IKE 認証方式] が [事前共有鍵] の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

補足

- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (Key-Usage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

また、通信相手装置の検証をする場合には、相手側の他の認証局で作成された証明書 (上位の CA 証明書) を本機に登録しておく必要があります。

補足

- 作成済みの証明書を使用するには、CentreWare Internet Services を使用してインポートします。

HTTP の通信を暗号化するための設定

HTTP の通信を暗号化するための設定について説明します。

Step1 本体側の設定

本機に証明書を設定します。[自己署名証明書の自動生成 / 更新] が [する] に設定されている場合は、自己証明書が SSL サーバー用証明書として自動的に設定されます。必要に応じて、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートしてください。

補足

- [自己署名証明書の自動生成 / 更新] はデフォルトで [する] に設定されています。

ここでは、CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合の手順について説明します。

CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合

CentreWare Internet Services で証明書を設定するには、自己証明書（SSL サーバー用）を生成する場合と、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートする場合があります。

注記

- 証明書をインポートするときに、[本体] または [その他] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

■ 自己証明書（SSL サーバー用）を生成する場合

- 1 自己証明書を必要に応じて設定します。

参照

- 詳しくは、「証明書設定」(P.137) を参照してください。

- 2 [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] を選択します。
- 3 [HTTP-SSL/TLS 通信] を有効にします。
- 4 [HTTP-SSL/TLS 通信ポート番号] を設定します。

◆ 他の認証局で発行された証明書のインポート

- 1 証明書をインポートします。

参照

- 詳細は、「証明書設定」(P.137) を参照してください。

- 2 [証明書設定] 画面で証明書を選択します。
- 3 証明書の詳細画面で、[カテゴリー] が [本体の証明書] に設定され、[目的] が [SSL サーバー] に設定されていることを確認します。

Step2 コンピューター側の設定

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- IP アドレスの入力例
https://192.0.2.1/ (IPv4 の場合)
https://[2001:DB8::1234]/ (IPv6 の場合)
- インターネットアドレスの入力例
https://myhost.example.com/

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec を使って暗号化するための設定について説明します。

Step1 本体側の設定（証明書の設定）

CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合の手順について説明します。

[IKE 認証方式] が [デジタル署名] の場合は、本機に証明書を設定します。証明書は、本体出荷時には、本機に登録されていません。

CentreWare Internet Services で証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- 本機にインポート可能な証明書の公開鍵は、RSA[®] 公開鍵 4096 ビットまでとなります。
- IPsec 用には、CentreWare Internet Services で作成した自己証明書は使用できません。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (Key-Usage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

参照

- HTTP の通信を暗号化する設定方法は、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.154) を参照してください。

1 証明書をインポートします。

参照

- 詳しくは、「証明書設定」(P.137) を参照してください。

補足

- 証明書をインポートするときに、[デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (Key-Usage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

2 [証明書設定] 画面で証明書を選択します。

3 [証明書詳細] 画面で、[カテゴリ] が [本体の証明書] に、[目的] が [IPsec] に設定されていることを確認します。

Step2 コンピューター側の設定

コンピューター側では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て

参照

- 設定方法は、コンピューターにインストールされているヘルプを参照してください。

無線 LAN の設定 WPA-Enterprise (EAP-TLS)

補足

- デジタル署名を管理するには、HTTPS 通信を設定する必要があります。
- WPA-Enterprise は [通信モード] が [Infrastructure] に設定されている場合にのみ使用できます。
- 証明書は Internet Explorer® を使用してインポートしてください。
- PKCS#12 形式の証明書をインポート後は、エクスポート機能を使用しても秘密鍵はエクスポートされません。

- 1 無線 LAN (サーバーまたはルート証明書) で使用する証明書をインポートします。詳しくは、「証明書設定」(P.137) を参照してください。
- 2 [証明書詳細] 画面で、証明書の [証明書の状態] が [有効] になっていることを確認します。
- 3 [証明書詳細] 画面で、証明書の右側にチェックマークが表示されていることを確認します。これにより、証明書が使用目的に関連付けられ、現在使用されていることが確認できます。
- 4 無線 LAN (クライアントまたはクライアント証明書) で使用する証明書をインポートします。詳しくは、「証明書設定」(P.137) を参照してください。
- 5 [証明書詳細] 画面で、証明書の [証明書の状態] が [有効] になっていることを確認します。
- 6 [証明書詳細] 画面で、証明書の右側にチェックマークが表示されていることを確認します。これにより、証明書が使用目的に関連付けられ、現在使用されていることが確認できます。
- 7 [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] を選択します。
- 8 [Wi-Fi] 画面で [暗号化設定] を選択します。
- 9 [暗号化設定] を [WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] に設定します。
設定内容が [セキュリティー設定] の下に表示されます。

補足

- [WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] は、以下の手順を適切に設定している場合に有効になります。
 - デジタル証明書のインポート
 - デジタル証明書の設定

- 10 [Identity] を設定します。
- 11 [認証方式] を [EAP-TLS] に設定します。

無線 LAN の設定 WPA-Enterprise (PEAPV0-MS-CHAPV2、EAP-TTLS PAP、EAP-TTLS CHAP)

補足

- デジタル署名を管理するには、HTTPS 通信を設定する必要があります。
- WPA-Enterprise は [通信モード] が [Infrastructure] に設定されている場合にのみ使用できます。
- 証明書は Internet Explorer® を使用してインポートしてください。
- PKCS#12 形式の証明書をインポート後は、エクスポート機能を使用しても秘密鍵はエクスポートされません。

- 1 無線 LAN (サーバーまたはルート証明書) で使用する証明書をインポートします。詳しくは、「証明書設定」(P.137) を参照してください。
- 2 [証明書詳細] 画面で、証明書の [証明書の状態] が [有効] になっていることを確認します。
- 3 [証明書設定] 画面で、証明書の右側にチェックマークが表示されていることを確認します。これにより、証明書が使用目的に関連付けられ、現在使用されていることが確認できます。
- 4 [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] を選択します。
- 5 [Wi-Fi] 画面で [暗号化設定] を選択します。
- 6 [暗号化設定] を [WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] に設定します。設定内容が [セキュリティ設定] の下に表示されます。
 - [WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise (AES/TKIP)] は、以下の手順が適切に設定されている場合に有効になります。
 - デジタル証明書のインポート
 - デジタル証明書の設定
- 7 [認証方式] を [PEAPv0 MS-CHAPv2]、[EAP-TTLS/PAP]、または [EAP-TTLS/CHAP] に設定します。
- 8 [Identity]、[ログイン名]、および [パスワード] を設定します。

9

認証と集計管理機能について

ユーザー認証および集計管理

ユーザーの種類について

認証機能を利用すると、ユーザーの種類ごとに本機に対する操作を制限できます。

機械管理者

使用環境に合わせてシステムの設定値を登録 / 変更できるユーザーです。

機械管理者は、機械管理者 ID という特殊な定義のユーザー ID を使用します。

機械管理者モードへ入るには、認証画面に表示されるユーザー ID 欄に、登録されている機械管理者 ID を入力します。

補足

- 機械管理者 ID は、「11111」です。
- 機械管理者パスワードの初期値は、「x-admin」です。

認証ユーザー

本機または外部のサーバーに、ユーザー登録されているユーザーです。

認証ユーザーは、利用が制限されている機能を利用する場合には、認証画面でユーザー ID やパスワードを入力します。

認証未登録ユーザー

登録されていないユーザーです。

認証未登録ユーザーは、利用が制限されているサービスを利用できません。

ロールについて

ロールは、本機の機能に対する権限および一部の設定へのアクセスを制御するために使用します。作成したロールをユーザーに割り当てて、適切な権限を与えることができます。

ロールには次の種類があります。

参照

- 設定の詳細は、「権限グループ」(P.129) を参照してください。

管理者権限グループ

[管理者権限グループ] はデフォルトで機械管理者アカウントに割り当てられています。

[管理者権限グループ] ロールをカスタマイズすることはできません。

基本操作権限

[基本操作権限] は機器のユーザーロールが割り当てられていないユーザーに対して自動的に割り当てられ、[基本プリント権限] はプリントユーザーロールが割り当てられていないユーザーに自動的に割り当てられます。

設定および構成以外の機能がデフォルトで許可されています。

基本ユーザー権限はカスタマイズすることができます。

カスタム

ロールを作成して、そのロールにカスタム権限を設定することができます。

認証の種類について

本機で利用できる認証の種類について説明します。

ユーザー ID 認証

ユーザーは、ユーザー情報を本機の操作パネルからあらかじめ入力しておきます。本機または外部のサーバーに登録されているユーザー情報を利用して、認証を行います。

■ 本体認証

簡易認証および本体認証では、本機に登録したユーザー情報を使用して認証管理を行います。

簡易認証にはパスワードが必要ありませんが、本体認証にはパスワードが必要です。

コンピューターから直接送信されたプリントデータは、あらかじめクライアント側のドライバーで設定した認証情報と、本機側に登録されている認証情報を照合することによって認証され、本機で受信できます。

参照

- プリンタードライバーの設定については、ヘルプを参照してください。

■ 外部認証

外部の認証サーバーに対して認証を行います。本機にユーザー情報は登録しません。

外部認証は、外部の認証サーバー（LDAP、Kerberos、または SMB）で管理されているユーザー情報を使用して認証します。

補足

- [認証方式] を変更すると、本機に登録されたユーザー情報は削除されます。
- 外部認証サーバーに登録するユーザーID は半角 32 文字以内、パスワードは半角 128 文字以内で設定してください。ただし、SMB 認証の場合、パスワードは半角 32 文字以内で設定してください。

集計管理モードの種類

補足

- [認証方式] の設定によっては選択できない集計管理モードがあります。詳しくは、「認証モードと集計管理モードの関係」(P.162) を参照してください。

Xerox Standard Accounting

集計管理を、本機に登録されているユーザー情報とアカウント情報を使用して実行します。また、集計情報は、各ユーザーに対して自動作成されるさまざまなカウンターを使用してカウントされます。集計管理レポートは、CentreWare Internet Services を使用して CSV 形式で作成されます。

参照

- プリンタードライバーの設定については、ヘルプを参照してください。

注記

- 他の機械のユーザー情報やアカウント情報を設定する場合は、CentreWare Internet Services の設定情報の複製機能を使用することをおすすめします。

ネット集計管理

ネット集計管理は、外部サービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。

外部のサーバーが本機に保存されているジョブデータを収集し、ユーザー別に集計します。

補足

- 外部サービスで管理されているユーザー情報は、外部サービスから本機に送られてきて、本機に登録されます。外部サービスで管理されているユーザー情報が更新された場合は、外部サービスからユーザー情報を本機に送信する必要があります。

認証モードと集計管理モードの関係

〔認証方式〕と〔集計管理設定〕は別々に設定できます。設定できる組み合わせは、次のとおりです。

		集計方法		
		運用しない	Xerox Standard Accounting	ネット集計管理
ログイン方法	簡易認証および本体認証	○	○	○
	外部認証	○	○	○

○: できる

ユーザー認証の操作

本機には、特定のユーザーまたは認証モードによって利用できるサービスを制限するための、認証機能があります。

登録ユーザーの認証

ここでは、本機の操作パネルを操作してログインする方法と、CentreWare Internet Services にログインする方法、およびログアウト方法について説明します。

■ 本機へのログイン / ログアウト

◆ 操作パネルからのユーザー認証

- 1 ホーム画面で〔ログイン〕を選択します。
- 2 リストからユーザーアカウントを選択するか、ユーザー名を入力します。

補足

- 外部認証の場合は、ユーザー名を入力します。本体認証または簡易認証の場合は、設定によってユーザー情報が異なります。

- 3 パスワードを入力します。

補足

- 簡易認証にはパスワードは必要ありません。
- ネット認証システムが Kerberos または SMB の場合は、レルムまたはドメインの入力が必要です。
- 利用が制限されているサービスを選択すると、ログイン画面が表示されます。必要な情報を入力してサービスを利用します。

◆ 認証解除

1 ユーザー名を選択します。

1) 確認画面が表示された場合は、[ログアウト] を選択します。

2) ドロップダウンメニューが表示された場合は、[Log Out of Accounting] を選択します。

参照

- 認証解除時の確認画面については、「ログアウト時の確認画面」(P.127) を参照してください。

■ CentreWare Internet Services へのログイン / ログアウト

◆ CentreWare Internet Services へのログイン

1 [ログイン] を選択します。

2 リストからユーザーアカウントを選択するか、ユーザー名を入力します。

補足

- 外部認証の場合は、ユーザー名を入力します。本体認証または簡易認証の場合は、設定によってユーザー ID が異なります。
- ネット認証システムが Kerberos または SMB の場合は、レルムまたはドメインの入力が必要です。Kerberos の場合は、ユーザー名およびレルムを UPN 形式 (<username>@<realm>) で入力します。SMB の場合は、ユーザー名およびドメインを NetBIOS 形式 (<domain>\<username>) で入力します。

3 パスワードを入力します。

補足

- 簡易認証にはパスワードは必要ありません。
- 利用が制限されているサービスを選択すると、ログイン画面が表示されます。必要な情報を入力しサービスを利用します。

◆ CentreWare Internet Services からのログアウト

1 ユーザー名を選択します。

2 [ログアウト] を選択します。

ユーザーアカウントの作成および編集

CentreWare Internet Services での新規ユーザーアカウントの作成

1 認証が必要な場合に表示される [アカウント一覧] 画面または [ログイン] 画面で、[アカウントの新規登録] を選択します。

2 [新規アカウントの追加] 画面でユーザー名を入力します。

3 認証にパスワードが必要な場合は、パスワードを設定します。

4 [Contact Details] 画面でアカウントの詳細を設定します。

CentreWare Internet Services でのユーザーアカウントの編集

ユーザーの詳細画面でユーザーアカウントを編集できます。この画面は、[認証 / 集計 / 権限] で [アカウント一覧] を選択してから編集するユーザー名を選択すると表示されます。

[権限グループ]	ユーザーに対して機器のユーザーロールおよびプリントユーザーロールを設定できます。
[個人用設定]	ユーザー名とパーソナライズ設定をリセットできます。
[蓄積プリント使用時のユーザー名]	コンピューターのユーザー名と本機のアカウントをリンクできます。
[集計情報]	ユーザーが実行したプリント数を表示します。[登録] を選択すると、それぞれのジョブの制限を変更でき、Xerox Standard Accounting 一般アカウントをユーザーに関連付けることができます。 補足 • [アカウント集計情報の変更] 画面に表示される内容は、[トラッキングの設定] の設定によって異なります。 • 最大 100 個の Xerox Standard Accounting 一般アカウントをユーザーに関連づけることができます。
[メールアドレスの設定]	送信者のメールアドレスを設定します。

CentreWare Internet Services からのユーザーアカウントの削除

[認証 / 集計 / 権限] で、[アカウント一覧] > 編集するユーザー名 > [削除] の順に選択します。

CentreWare Internet Services でのパスワードの変更

- 管理者
[認証 / 集計 / 権限] で、[アカウント一覧] > [11111] の順に選択します。
- ユーザー
[認証 / 集計 / 権限] で、[アカウント一覧] > 編集するユーザー名の順に選択します。

集計管理のためのユーザー認証

- Xerox Standard Accounting

追跡機能を選択すると [集計管理設定] 画面が表示されます*。ユーザー ID、および必要に応じてパスコードを入力します。アカウントが正常に認証されたら、この機能を使用できます。

集計情報がユーザーに関する場合、[アカウントの集計情報] 画面が表示されます。[現在のアカウント] を設定してアカウントを変更し、残りのジョブまたは使用したジョブの数を確認できます。また、アカウントレポートをプリントして、アカウントの詳細（各ジョブの制限、使用回数、残りの数）を確認することもできます。

*:この手順は、ユーザーがリモート認証を使用してすでにログインしていて、認証に使用したのと同じユーザー名が Xerox Standard Accounting ユーザーとして登録されている場合、スキップできます。

- ネット認証

追跡機能を選択すると [集計管理設定] 画面が表示されます。ユーザー ID、および必要に応じてアカウント ID を入力します。

10

日常の管理

消耗品を交換する

本機には、消耗品、および定期交換部品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品 / 定期交換部品の使用をお勧めします。

参照

- ここで説明のない交換手順については、消耗品 / 定期交換部品に付属の手順書を参照してください。

消耗品 / 定期交換部品の種類	商品コード	形態
トナーカートリッジ [K] (ブラック)	CT203053	1 個 / 1 箱
トナーカートリッジ [C] (シアン)	CT203054	1 個 / 1 箱
トナーカートリッジ [M] (マゼンタ)	CT203055	1 個 / 1 箱
トナーカートリッジ [Y] (イエロー)	CT203056	1 個 / 1 箱
大容量トナーカートリッジ [K] (ブラック)	CT203057	1 個 / 1 箱
大容量トナーカートリッジ [C] (シアン)	CT203058	1 個 / 1 箱
大容量トナーカートリッジ [M] (マゼンタ)	CT203059	1 個 / 1 箱
大容量トナーカートリッジ [Y] (イエロー)	CT203060	1 個 / 1 箱
ドラムカートリッジ [K] (ブラック)	CT351149	1 個 / 1 箱
ドラムカートリッジ [C] (シアン)	CT351150	1 個 / 1 箱
ドラムカートリッジ [M] (マゼンタ)	CT351151	1 個 / 1 箱
ドラムカートリッジ [Y] (イエロー)	CT351152	1 個 / 1 箱
用紙搬送ロールキット *	-	1 セット / 1 箱
転写ユニットキット *	-	1 セット / 1 箱
トナー回収ボトル	CWAA0915	1 個 / 1 箱
定着ユニット 100V *	-	1 個 / 1 箱

* : 定期交換部品です。エンジニアが交換作業を行います。

補足

- 消耗品は、予備を用意することをお勧めします。

⚠ 警告

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

操作パネルで消耗品の状態を確認する

操作パネルや CentreWare Internet Services から、消耗品の状態や残量のパーセンテージを確認できます。消耗品の交換時期が近づくと、操作パネルにメッセージが表示されます。

- 1 [機械確認 / 仕様設定] > [消耗品確認] を押して消耗品の状態を表示できます。
- 2 目的の項目を押して指定した項目の情報を表示できます。
- 3 [X] を押して [消耗品確認] 画面に戻ります。
- 4 後向きの矢印を押して [機械確認 / 仕様設定] 画面に戻ります。

トナーカートリッジを交換する

トナーの残量によって、次のようなメッセージが操作パネルのディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

注記

- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。

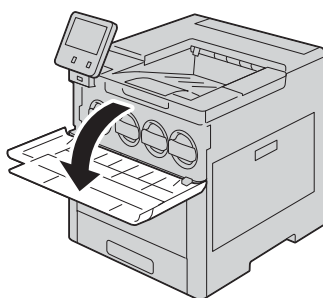
メッセージ	使用可能ページ数*	処置
予備を用意 (XX)	• トナーカートリッジ (工場出荷時) ブラック：約 750 ページ ブラック以外：約 450 ページ • トナーカートリッジ ブラック：約 1,050 ページ ブラック以外：約 750 ページ • 大容量トナーカートリッジ ブラック：約 2,250 ページ ブラック以外：約 1,650 ページ	トナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを用意してください。
XX トナーカートリッジ (XX) を交換してください。	—	トナーカートリッジが空になっています。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

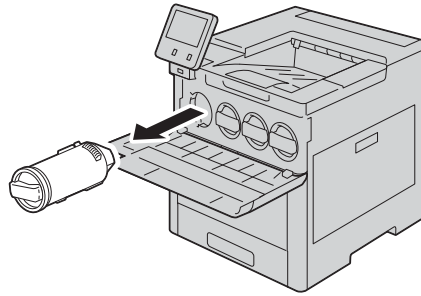
- メッセージの XX は、トナーの色によって異なります。

*:プリントできる残りページ数は、A4 (□) の用紙を使用した場合の枚数です。プリントできる残りページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

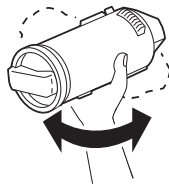
- 1 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開けます。



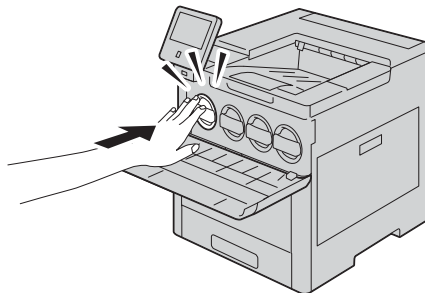
- 2 トナーカートリッジの取手を持って、ゆっくり手前に引き出します。



- 3 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、上下左右に 5、6 回振ります。



- 4 トナーカートリッジをゆっくりと奥に突き当たるまで差し込みます。



- 5 正面カバーを閉じます。

ドラムカートリッジを交換する

注記

- 弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するドラムカートリッジをご使用ください。

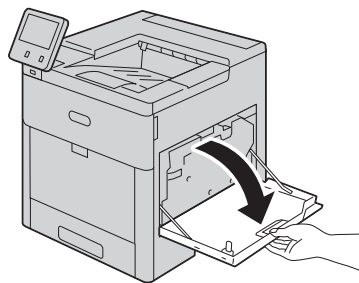
メッセージ	使用可能ページ数 *	処置
交換時期超過 (XX)	約 8,000 ページ	印刷品質の保証外となるため、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。本機を停止せずに操作は続けることができます。
ドラムカートリッジの (XX) を交換してください。	—	新しいドラムカートリッジに交換してください。本機が停止します。

補足

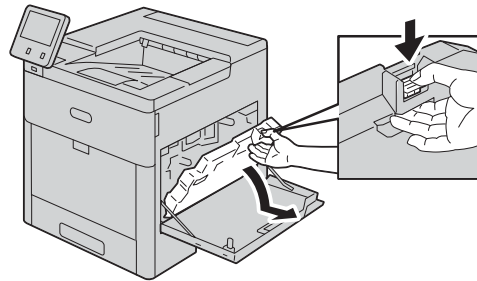
- メッセージの XX は、トナーの色によって異なります。

*: プリントできる残りページ数は、A4 (□) の用紙を使用した場合の枚数です。プリントできる残りページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

- 1 機械が停止していることを確認し、右側カバーを開けます。

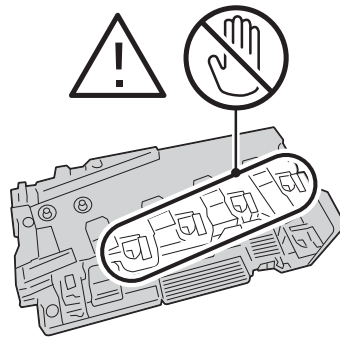


- 2 トナー回収ボトルの上の部分にあるツメを下に押しながら、倒すように引き抜きます。



補足

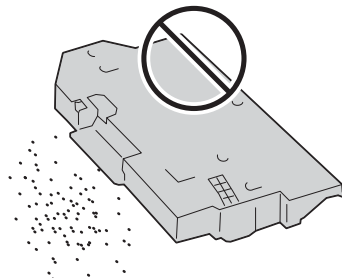
- トナーの飛散を防ぐために、開口部は上に向けてください。
- トナー回収ボトルを引き抜いたら、図で示した位置に触れないでください。



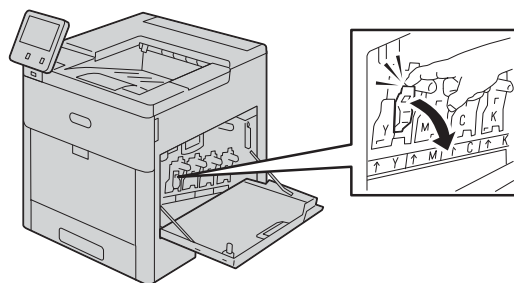
- 3 取り出したトナー回収ボトルの開口部を上に向けて、平らな場所に置きます。

補足

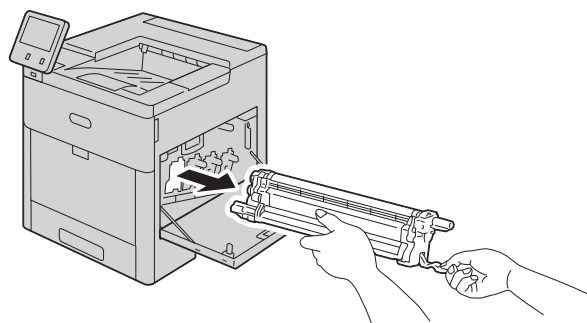
- トナーの飛散や故障を防ぐために、トナー回収ボトルを横に置いたり、開口部を下に向けたりしないでください。



- 4 ドラムカートリッジ Y、M、C、K のストッパーを下ろします。



- 5 ドラムカートリッジの下側を支えて、ドラムカートリッジを引き抜きます。



補足

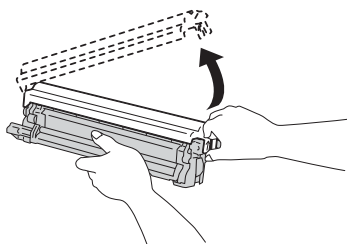
- ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。
- ドラムカートリッジは、トナーで汚れています。なるべくトナーに触らないように注意してください。もし触ってしまった場合は、手を洗ってください。

- 6 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れてその箱にしまいます。

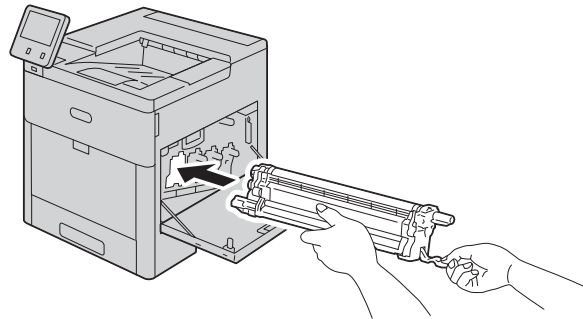
注記

- 新しいドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- 使用済みのドラムカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

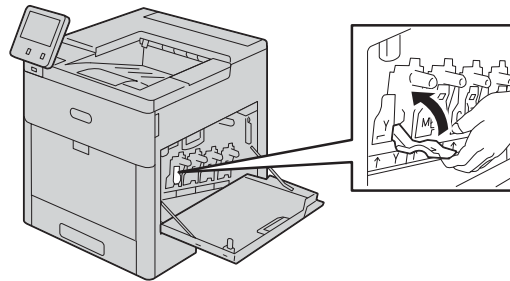
- 7 ドラムカートリッジの保護カバーを取り外します。



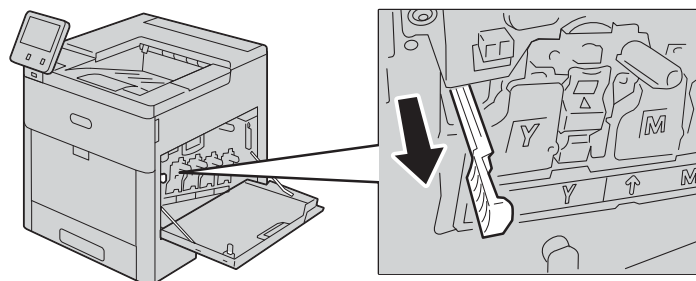
- 8** 奥に突き当たり「カチッ」と音がするまで、ドラムカートリッジをまっすぐ押し込みます。ドラムカートリッジが確実に取り付けられていることを確認します。



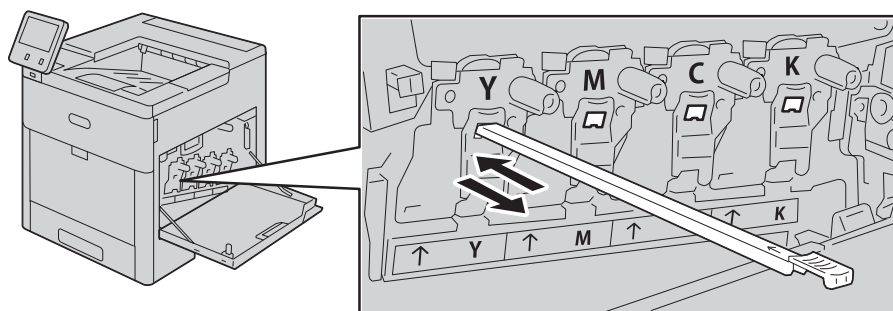
- 9** ドラムカートリッジ Y、M、C、K のストッパーを上に戻します。



- 10** 清掃棒をプリンターから引き抜きます。

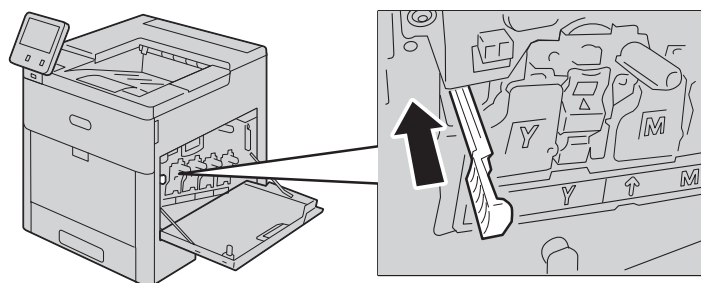


- 11** 4つの穴のうちの一つに、清掃棒を突き当たるまで押し込み、ゆっくり引き抜きます。これを3回繰り返します。

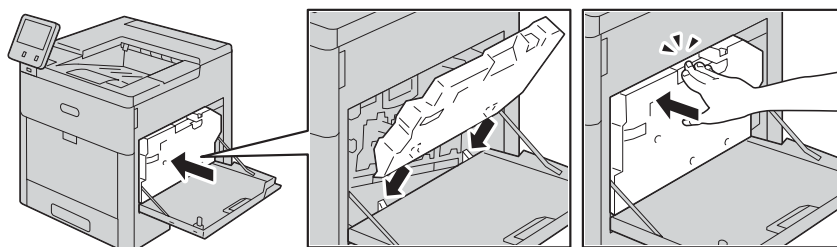


- 12** その他の3つの穴について、同じ手順を繰り返してください。

- 13** 清掃棒を元の場所に戻します。



- 14** トナー回収ボトルを下部から差し込んだ後、トナー回収ボトルの上部を押して「カチッ」と音がするまではめ込みます。トナー回収ボトルが確実に取り付けられていることを確認します。



- 15** 右側カバーを閉じます。

補足

- 右側カバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

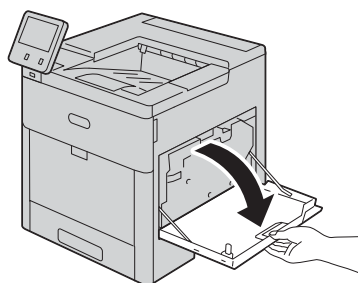
トナー回収ボトルを交換する

トナー回収ボトルとは、使用済みのトナーを回収するボトルです。トナー回収ボトルの状態によって、次のメッセージがディスプレイに表示されます。メッセージに従って、処置を行ってください。

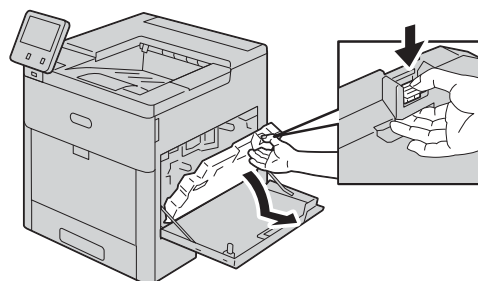
メッセージ	使用可能ページ数*	処置
予備を用意（トナー回収ボトル）	約 3,000 ページ	トナー回収ボトルの交換時期が近づいています。新しいトナー回収ボトルを用意してください。
トナー回収ボトルがいっぱいになりました。	—	トナー回収ボトルの交換時期になりました。新しいトナー回収ボトルに交換してください。

*:プリントできる残りページ数は、A4（□）の用紙を使用した場合の枚数です。プリントできる残りページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

- 1 本機が停止していることを確認し、右側カバーを開けます。



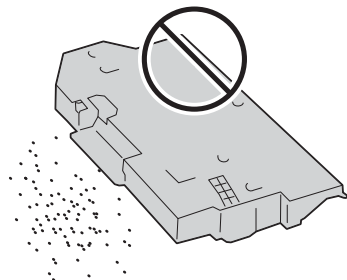
- 2 トナー回収ボトルの上の部分にあるツメを下に押しながら、倒すように引き抜きます。



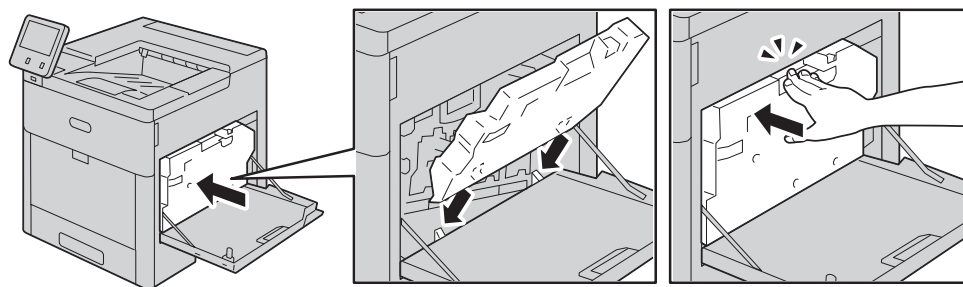
3 トナーの飛散を防ぐために、開口部は上に向けてください。

補足

- トナーの飛散や故障を防ぐために、トナー回収ボトルを横に置いたり、開口部を下に向けしないでください。



4 トナー回収ボトルを下部から差し込んだ後、トナー回収ボトルの上部を押して「カチッ」と音がするまではめ込みます。トナー回収ボトルが確実に取り付けられていることを確認します。



5 右側カバーを閉じます。

本体を清掃する

⚠ 警告

機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

本体外部の清掃

本体外部の清掃について説明します。

注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 本機を水でぬらしすぎると、機械が故障したり印刷するときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

- 1 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側をふきます。

注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

- 2 柔らかい布で、水分をふき取ります。

タッチパネルの清掃

1 か月に 1 回をめに、タッチパネルを清掃してください。

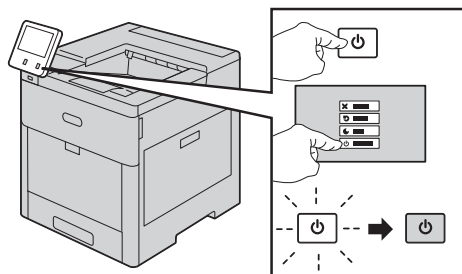
- 水でぬらした柔らかい布で、タッチパネルを拭いてください。
- 清掃後、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

LED レンズの清掃

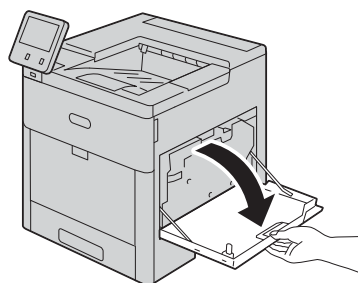
本体の LED レンズの清掃方法を説明します。

白筋や色筋が出るなどプリント結果に問題がある場合は、LED レンズを清掃してください。

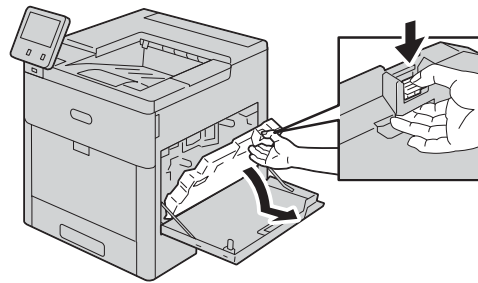
- 1 本機の電源を切ります。



- 2 右側カバーを開けます。

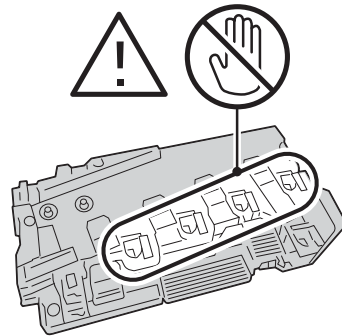


- 3 トナー回収ボトルの上の部分にあるツメを下に押しながら、倒すように引き抜きます。

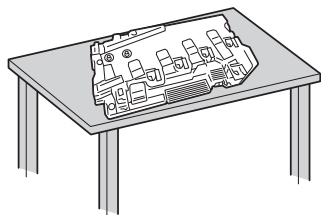


補足

- トナーの飛散を防ぐために、開口部は上に向けてください。
- トナー回収ボトルを引き抜いたら、図の位置に触れないでください。

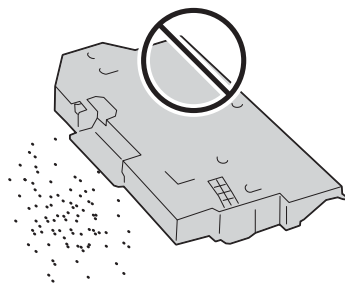


- 4 取り出したトナー回収ボトルの開口部を上に向けて、平らな場所に置きます。

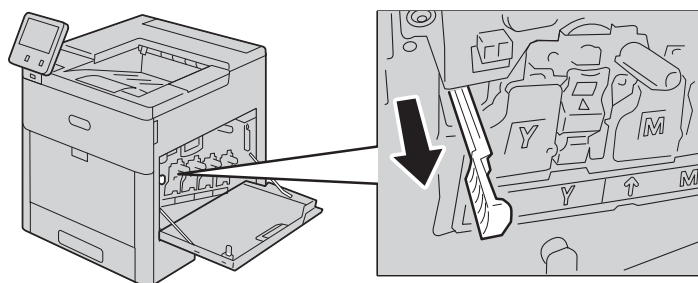


補足

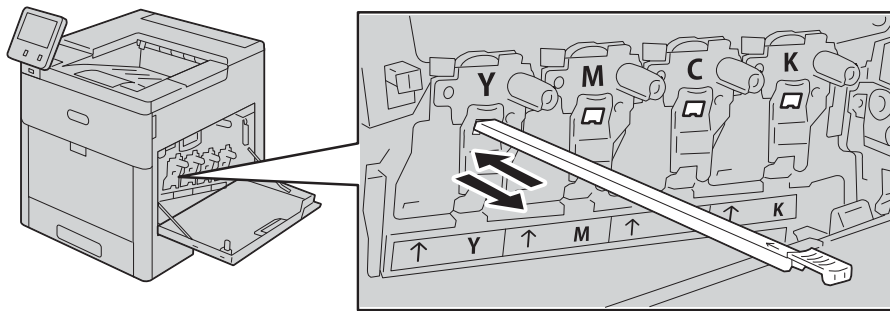
- トナーの飛散や故障を防ぐために、トナー回収ボトルを横に置いたり、開口部を下に向けたりしないでください。



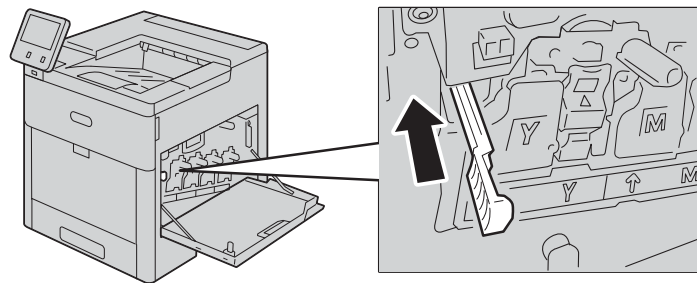
- 5 清掃棒をプリンターから引き抜きます。



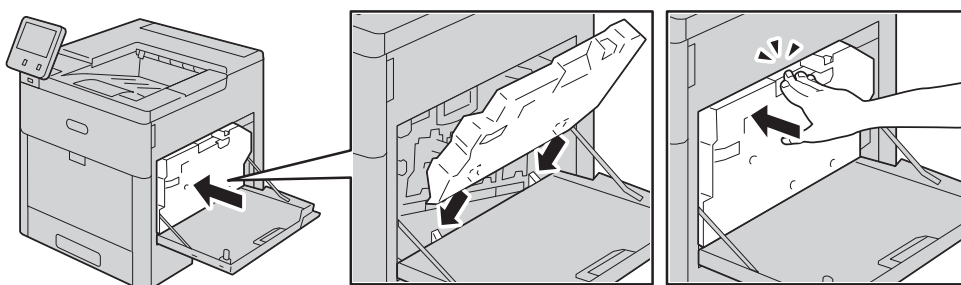
- 6** 4つの穴に、清掃棒を突き当たるまで押し込み、ゆっくり引き抜きます。各穴に対して、3回ずつ繰り返します。



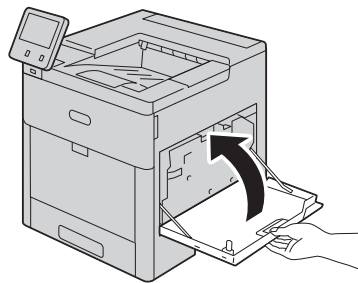
- 7** 清掃棒を元の場所に戻します。



- 8** トナー回収ボトルを下部から差し込んだ後、トナー回収ボトルの上部を押して「カチッ」と音がするまではめ込みます。



9 右側カバーを閉じます。

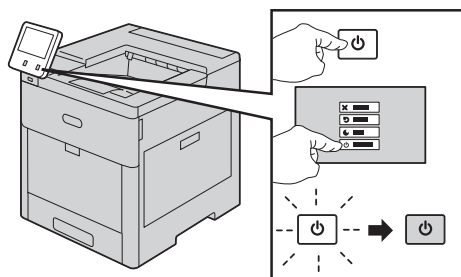


色濃度センサーの清掃

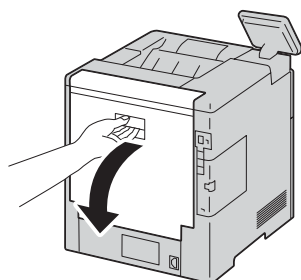
ここでは、本機の色濃度センサーの清掃方法について説明します。

プリント密度や色の濃さが適切でなかったり、像が欠けたり、背景がぼやけたり、画質に問題がある場合は、色濃度センサーを清掃してください。

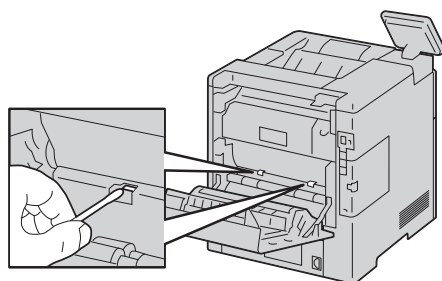
1 本機の電源を切ります。



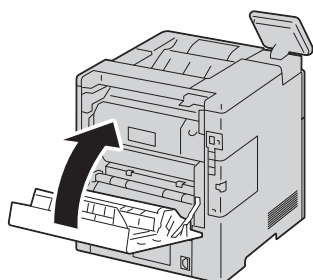
2 リリースレバーを持ち上げて、背面カバーを開けます。



- 3 乾いた綿棒で、色濃度センサーを清掃します。



- 4 背面カバーを閉じます。



調整と保守の手順

カラーレジ補正

自動補正が有効になっている場合、本機が自動的にカラーレジを補正します。本体が停止中のときは、手動でカラーレジを補正できます。本機の設置場所を変更した場合、必ずカラーレジ補正を行ってください。プリント結果に問題がある場合にも、カラーレジ補正を行ってください。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [カラーレジ補正] を押します。
- 3 [スタート] を押します。
- 4 カラーレジ補正が正常に完了したことが表示されたら、[閉じる] を押します。
- 5 メニューを終了するには、X を押します。
- 6 ホームボタンを押します。

濃度補正

適切な色でプリントされない場合や、濃度の異なる灰色がプリントされると区別できない場合は、濃度補正を実行してください。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [濃度補正] を押します。
- 3 [スタート] を押し、画面の指示に従います。
- 4 濃度補正が完了したら、[閉じる] を押します。
- 5 メニューを終了するには、X を押します。
- 6 ホームボタンを押します。

アライメント調整の設定

用紙にプリントする画像の位置を調整する場合、この設定を使用します。上下左右の余白を調整することができます。すべての用紙トレイについて、用紙のおもてとうらのプリント位置を指定できます。

補足

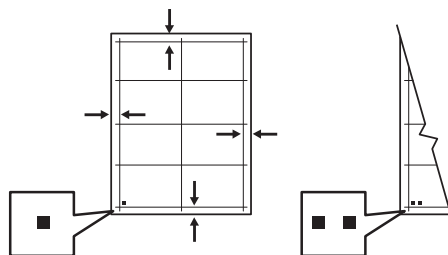
- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

アライメントの確認

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [アライメント調整] を押します。
- 3 アライメントを確認する給紙トレイを選択します。
 - 1) [用紙選択] を押します。
 - 2) トレイを選択します。
- 4 アライメントを確認する面を選択します。
 - おもて面を選択する場合、[調整面] > [おもて] を押します。
 - うら面を選択する場合、[調整面] > [うら] を押します。
- 5 サンプルページをプリントする枚数を指定します。
 - 1) [プリント設定] を押します。
 - 2) プラスアイコン (+) またはマイナスアイコン (-) を使ってサンプルページの枚数を設定し、[決定] を押します。
- 6 [確認プリント] を押して、サンプルページをプリントします。
- 7 プリントが完了したら、[閉じる] を押します。
- 8 ものさしを使って、用紙の上下左右の端からプリントされた画像までの距離をそれぞれ測定します。

補足

 - おもて面とうら面とを識別するため、おもて面の場合は四角が1つ、うら面の場合は四角が2つ、サンプルページにプリントされます。



- 9 画像が用紙の中央にプリントされている場合は、アライメント調整は不要です。画像が用紙の中央にプリントされていない場合は、アライメント調整を行います。詳細は、「手動アライメント調整を実行する」(P.185) を参照してください。

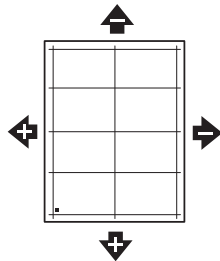
手動アライメント調整を実行する

- 1 ホームボタンを押します。

- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [アライメント調整] を押します。
- 3 アライメント調整を行う用紙トレイを選択します。
 - 1) [用紙選択] を押します。
 - 2) トレイを選択します。
- 4 調整する面を選択します。
 - 1) おもて面を選択する場合、[調整面] > [おもて] を押します。
 - 2) うら面を選択する場合、[調整面] > [うら] を押します。
- 5 [リード / サイドレジ] を押して、「アライメントの確認」で測定した数値を使ってアライメントを調整します。
 - 1) 横方向のアライメントは、[サイドレジ] のプラスアイコン (+) とマイナスアイコン (-) を使って調整します。
 - 2) 縦方向のアライメントは、[リードレジ] のプラスアイコン (+) とマイナスアイコン (-) を使って調整します。

おもて面とうら面を表す四角がページの下部にくるようにサンプルページを置いた場合、画像のプリント位置は次のように変化します。

 - 横方向のアライメント調整では、プラスアイコンを押すと画像がページの左へ移動します。
 - 縦方向のアライメント調整では、プラスアイコンを押すと画像がページの下へ移動します。



- 6 [決定] を押して設定を保存します。
- 7 必要に応じて、もう片方の面も同じ手順で調整します。
- 8 サンプルページを再度プリントし、必要であれば再度調整を行います。
- 9 ホームボタンを押します。

転写出力調整

転写出力調整では、プリントする用紙種類ごとに、転写ローラーの電圧を指定します。プリントした画像が薄い場合、転写出力を上げてください。プリントした画像にムラや染みがある場合、転写出力を下げてください。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [転写出力調整] を押します。
- 3 [用紙種類] を押して、転写出力を調整する用紙種類を選択します。
- 4 [調整値] のプラスアイコン (+) またはマイナスアイコン (-) を使って、転写出力を調整します。
- 5 [調整値設定] を押します。
- 6 X を押してメニューを終了します。
- 7 ホームボタンを押します。

定着温度調整

定着温度の調整は、様々な種類の用紙において最適な印刷品質を得るために行います。用紙がトナーで汚れたり用紙からトナーがはがれたりする場合は、定着温度を上げてください。トナーがにじんだりまだらになったりする場合は、定着温度を下げてください。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [定着温度調整] を押します。
- 3 [用紙種類] を押して、用紙種類を選択します。
- 4 プラスアイコン (+) またはマイナスアイコン (-) を使って定着温度を設定し、[調整値設定] を押します。
- 5 他の用紙種類の定着温度も調整する場合は、手順3と4を繰り返します。
- 6 X を押してメニューを終了します。
- 7 ホームボタンを押します。

標高設定

プリンターの設置場所に合わせて標高を設定します。標高の設定が正しくない場合、印字品質の低下の原因になります。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [標高設定] を押します。
- 3 プリンター設置場所の標高を設定して、[決定] を押します。
- 4 ホームボタンを押します。

現像器と転写ユニットのクリーニング

本機の電源を入れたままプリントを行わない状態が続いた場合、プリント結果の背景に意図しない色が付くことがあります。これを軽減するために、現像器と転写ユニットのクリーニングを行います。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [現像器と転写ユニットのクリーニング] を押します。
- 3 [スタート] を押します。
- 4 清掃が正常に完了したことが表示されたら、[閉じる] を押します。
- 5 X を押してメニューを終了します。
- 6 ホームボタンを押します。

転写ベルトクリーニング

転写ベルトにゴミが付いている場合、プリント結果に黒またはカラーの縦筋や線が表れることがあります。これを解消するために、転写ベルトのクリーニングを行います。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [転写ベルトクリーニング] を押します。
- 3 [スタート] を押します。
- 4 清掃が正常に完了したことが表示されたら、[閉じる] を押します。

- 5 Xを押してメニューを終了します。
- 6 ホームボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

目標濃度の設定

プリント時に使用するトナーの量を調整します。濃度を下げるとトナーの節約になり、濃度を上げるとはっきりとしたプリント結果になります。数値を大きくすると濃度が上がり、数値を小さくすると濃度が下がります。使用する用紙の種類や厚さに応じて、濃度を設定することもできます。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [目標濃度の設定] > [濃度レベル]を押します。
- 3 スライダーを動かして、濃度レベルを調整します。
- 4 [決定]を押して、設定を保存します。
- 5 ホームボタンを押します。

トナーリフレッシュ

トナーの濃度と現像器の電圧を再調整します。トナーのリフレッシュによってプリント品質が最適化されます。

補足

- トナーリフレッシュは必要以上に行わないでください。トナーリフレッシュをくり返し行くと、トナーの減りが速くなります。
- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [トナー リフレッシュ]を押します。
- 3 [スタート]を押します。
- 4 トナーリフレッシュが正常に完了したことが表示されたら、[閉じる]を押します。
- 5 Xを押してメニューを終了します。
- 6 ホームボタンを押します。

ブロッキング対策

用紙のブロッキング（用紙同士がくっついてしまう状態）を防止するための処理を行うかどうかを設定します。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [ブロッキング対策]を押します。
- 3 [する]または[しない]を押して、[決定]を押します。
- 4 ホームボタンを押します。

生産性の設定

コート紙の印刷において、画質を優先するかプリント速度を優先するかを選択します。

注記

- [プリント速度を優先] は速度を優先してプリントしますが、画質が低下する場合があります。[画質を優先] はプリント速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいにプリントします。

補足

- 本機の設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [生産性の設定]を押します。
- 3 [画質を優先]または[プリント速度を優先]を選択し、[決定]を押します。
- 4 Xを押してメニューを終了します。
- 5 ホームボタンを押します。

オプション製品を取り外す

注記

- 本機は、本体の両側にある持ち手をつかんで、2人以上で持ち上げてください。
- 本機を落としたりけがをしないように、本機の両側のくぼんだ部分をしっかりと持って持ち上げてください。他の部分をつかんで本機を持ち上げないでください。
- トレイモジュールが本機にしっかり固定されていないと、地面に落ちてけがの原因となります。

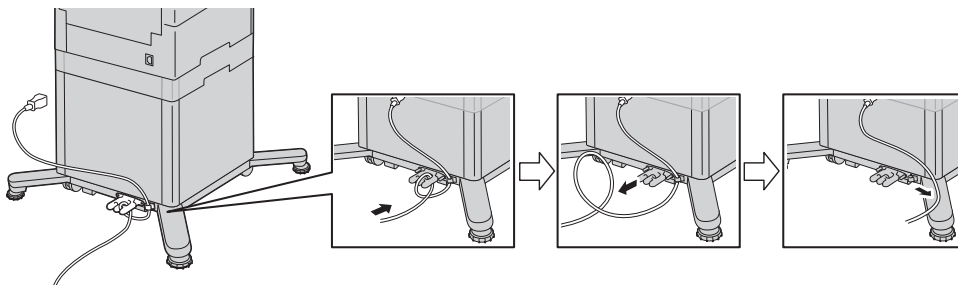
大容量トレイモジュールを取り外す

ここでは、大容量トレイモジュール（オプション）の取り外し方について説明します。

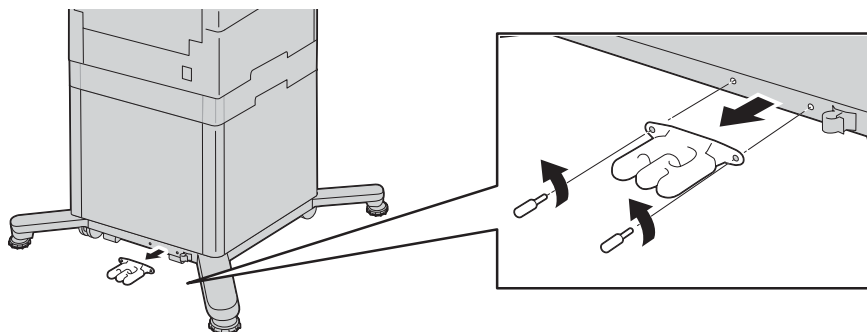
注記

- 手差しトレイが開いている場合、閉じてください。

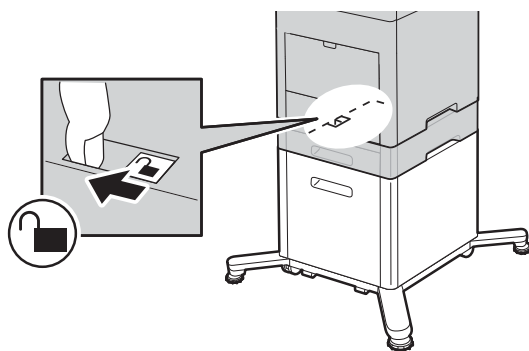
- 1 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 2 本機からネットワークケーブル、USB ケーブル、電源ケーブルを取り外します。
- 3 ケーブルフックから電源ケーブルを取り外します。



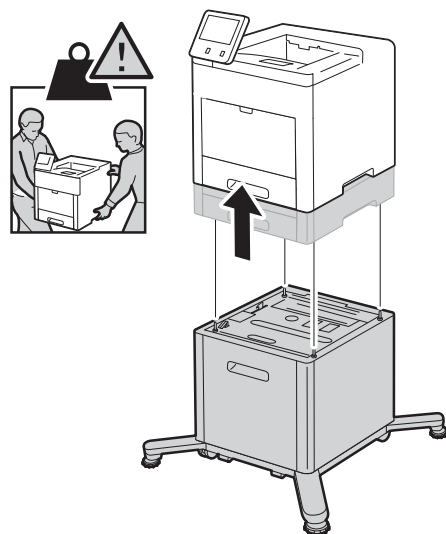
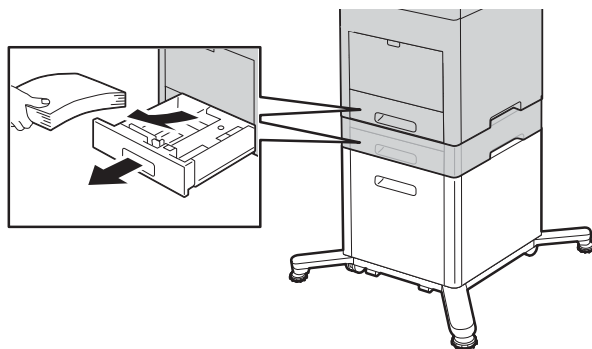
- 4 ケーブルフックを取り外します。



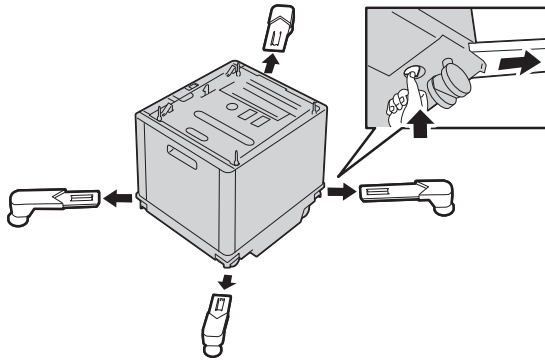
5 トレイのロックスイッチを解除します。



6 トレイ内の用紙を取り除き、本機を持ち上げます。



7 専用スタンドを引き抜きます。



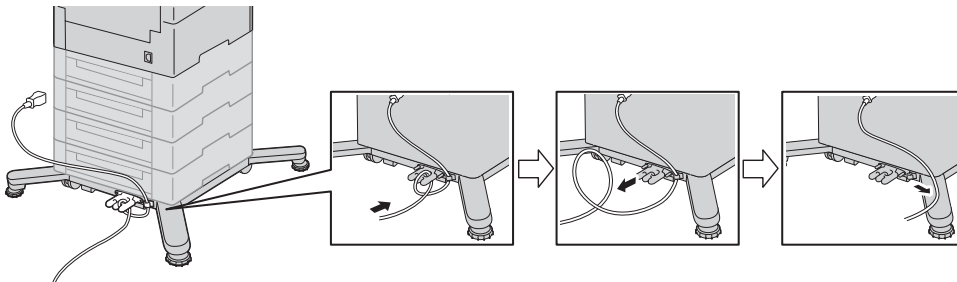
専用キャスター台を取り外す

ここでは、専用キャスター台（オプション）の取り外し方について説明します。

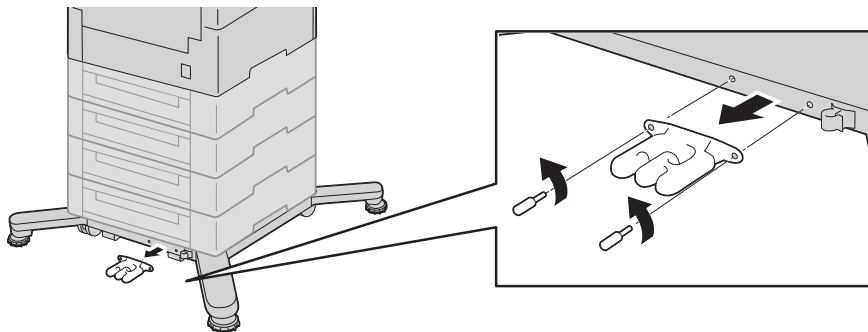
注記

- 手差しトレイが開いている場合、閉じてください。

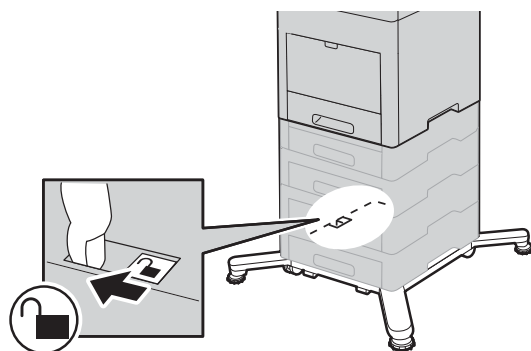
- 1 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 2 本機からネットワークケーブル、USB ケーブル、電源ケーブルを取り外します。
- 3 ケーブルフックから電源ケーブルを取り外します。



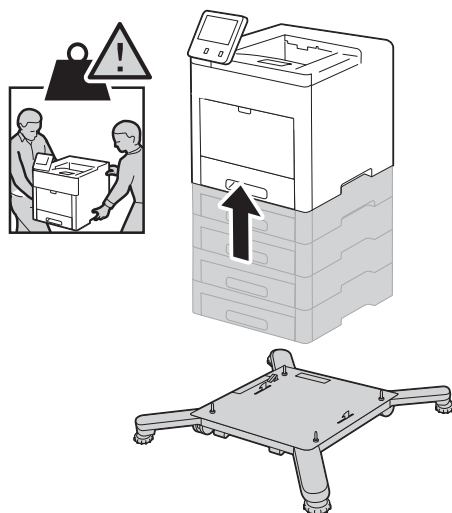
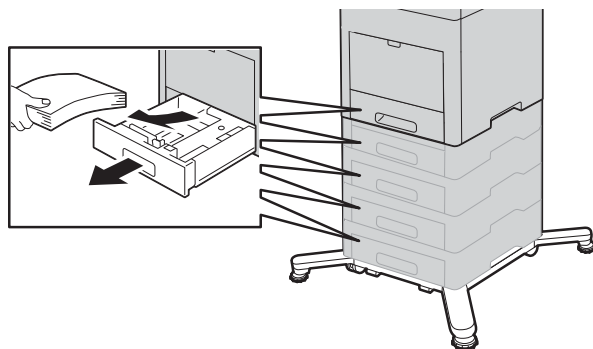
4 ケーブルフックを取り外します。



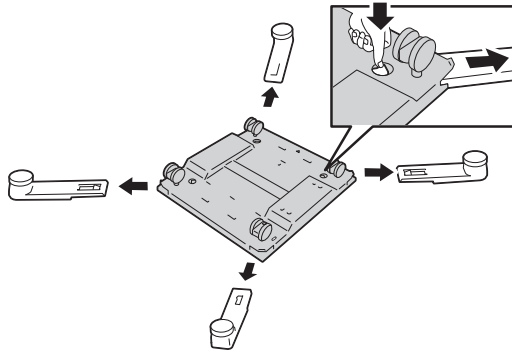
5 トレイのロックスイッチを解除します。



6 トレイ内の用紙を取り除き、本機を持ち上げます。



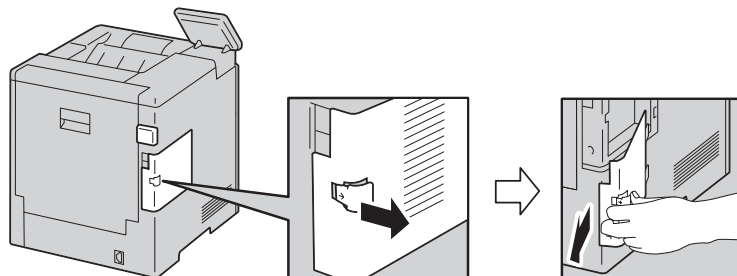
- 7 フットを引き抜きます。



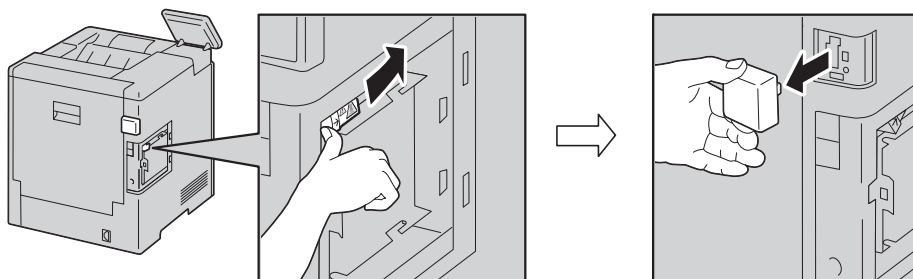
無線 LAN キットを取り外す

ここでは、無線 LAN キット（オプション）の取り外し方について説明します。

- 1 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 2 本機からネットワークケーブル、USB ケーブル、電源ケーブルを取り外します。
- 3 左側パネルのつまみを引いて、左側パネルを矢印の方向に引き抜きます。



- 4 無線 LAN キット取外しレバーを本体の前面側にスライドし無線 LAN キットを取り外します。



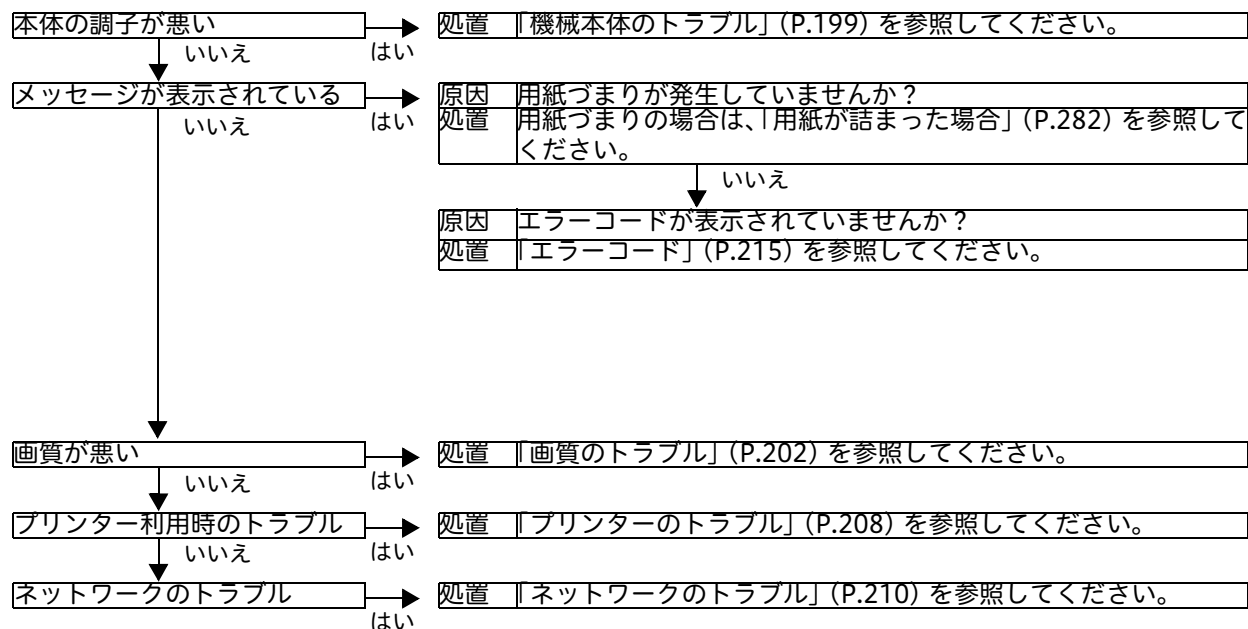
- 5 本体に無線 LAN キットポートカバーと左側パネルを取り付けます。

11

トラブル対処

トラブルと思ったら

本機に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。トラブルが発生した場合は、次の流れに従って処置してください。



なお、上記のトラブル対処に従って処置しても正常に作動しないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

機械本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	主電源または電源が切れていませんか？	主電源および電源を入れてください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源および主電源をいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、主電源および電源を入れてください。
	本機側の電源コードのコンネクターが抜けていませんか？	
	電源の電圧が適切ですか？	電源が 100V（ボルト）、15A（アンペア）であることを確認してください。本機の最大消費電力（1.5kW）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照 •『はじめにお読みください』を参照してください。
ディスプレイが暗い	節電状態に入っていますか？	電源ボタンを押して、節電状態を解除してください。
	画面輝度調整が暗すぎませんか？	画面輝度調整画面で、ディスプレイの輝度を調整してください。
プリントできない	操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。
印字品質がよくない	画質のトラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「画質のトラブル」を参照して処置してください。 参照 •「画質のトラブル」(P.202)を参照してください。
正しい文字が印字されない（文字化けが起る）	本機に標準で搭載されていないフォントを使用しています。	アプリケーションまたはプリンタードライバの設定を確認してください。
用紙トレイの出し入れができない	プリント中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？	無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れをしてください。
用紙づまり、紙しわがたびたび発生する	用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。

症 状	原 因	処 置
用紙づまり、紙しわがたびたび発生する	用紙トレイが正しくセットされていますか？	用紙トレイを確実に奥まで押し込んで正しくセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？	未開封の用紙と交換してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	用紙がカールしていませんか？	用紙トレイ内の用紙をうら返すか、未開封の用紙と交換してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	用紙と用紙トレイの設定は正しいですか？	セットしている用紙に合わせて、正しく用紙と用紙トレイを設定してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	機械の内部に詰まった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	機械を開けるか、用紙トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。 参照 •「用紙が詰まった場合」(P.282)、「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	規格外の用紙がトレイに入っていないですか？	使用基準内の用紙と交換してください。 参照 •「用紙について」(P.38)、「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	用紙トレイ内の用紙上限線を超えて、用紙をセットしていませんか？	用紙トレイ内の用紙上限線を超えないように、用紙をセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	用紙ガイドが正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に軽く当てるように合わせてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	用紙いっぱい画像がありませんか？	先端のわく消し量を増やしてください。
	用紙がきれいに裁断されていますか？	用紙の種類によっては、きれいに裁断されていない場合があります。よくさばいてから用紙をセットしてください。

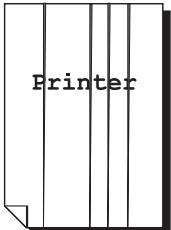
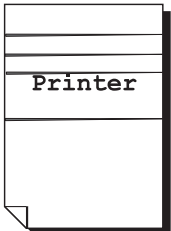
症 状	原 因	処 置
用紙がきれいにそろって排出されません。	用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？	用紙トレイ内の用紙をうら返してください。

画質のトラブル

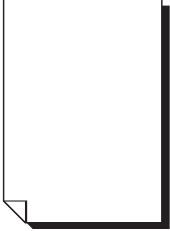
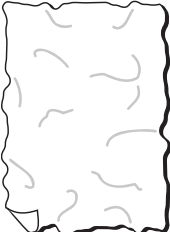
プリント結果の画質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。

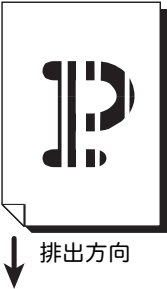
該当する処置をしても画質が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
プリントがわずかにずれる	用紙がずれていたり、用紙の先端が用紙トレイの角から離れていませんか？	用紙をそろえて、用紙の先端を用紙トレイの角に合わせてセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
ずれたり、曲がってプリントされる	用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	手差しトレイの用紙ガイドが用紙に触れるようにセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 参照 •「手差しトレイに用紙をセットする」(P.44)を参照してください。
	用紙トレイが確実にセットされていますか？	用紙トレイを確実に奥まで押し込んで、正しくセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
部分的にプリントされない	用紙が湿気を含んでいませんか？	用紙が湿気を含んでいると、部分的にプリントされなかったり、不鮮明になります。未開封の用紙と交換してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	折り目やしわが入った用紙がトレイに入っていますか？	不良用紙を取り除くか、未開封の用紙と交換してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。

症 状	原 因	処 置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	LED レンズが汚れています。	LED レンズを清掃してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照 •「トナーカートリッジを交換する」(P.168)を参照してください。
黒点がプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
黒線または色線がプリントされる  	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
	LED レンズが汚れています。	LED レンズを清掃してください。

症 状	原 因	処 置
等間隔に汚れが起きる 	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚プリントしてください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
何もプリント されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 ・「用紙をセットする」（P.42）を参照してください。
	電源または高圧電源の故障が考えられます。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
白抜けや白筋 または色筋が 出る 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 ・「用紙をセットする」（P.42）を参照してください。
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「用紙をセットする」（P.42）を参照してください。
全体がうっす らとプリント される 	手差しトレイを使用してプリントした場合で、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。	手差しトレイに、正しい種類とサイズ の用紙をセットしてください。
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 ・「用紙をセットする」（P.42）を参照してください。
用紙にしわが 付く 	使用している用紙が適切ではありません。	新しい用紙と交換してください。 参照 ・「用紙をセットする」（P.42）を参照してください。
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	新しい用紙と交換してください。 参照 ・「用紙をセットする」（P.42）を参照してください。
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	

症 状	原 因	処 置
たて長に白抜けまたは色抜けする	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P.168)を参照してください。
	LED レンズが汚れています。	LED レンズを清掃してください。
斜めにプリントされる	用紙カセットの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。	たてよこの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「用紙をセットする」(P.42)を参照してください。
		

プリントの画質でお困りのお客様へ

封筒へのプリント時にトナー汚れ（定着不良）が発生する場合

封筒のプリント面を指でこするとかすれたり、トナーが封筒に定着しなかったり、封筒がトナーで汚れたりする場合は、以下の設定を行ってください。

補足

- プリンターの設定によっては、管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。詳しくは、DocuPrint CP500 d の『ユーザーズガイド』を参照してください。

- 1 ホームボタンを押します。
- 2 [機械確認 / 仕様設定] > [保守] > [定着温度調整] を押します。
- 3 [用紙種類] を [封筒] に設定します。
- 4 [調整値] を [6] に設定します。
- 5 [調整値設定] を押します。
- 6 タッチパネルディスプレイ上に「正常終了しました。」と表示されたことを確認します。
- 7 X を押してメニューを終了します。
- 8 ホームボタンを押します。

プリンターのトラブル

プリント機能利用時のトラブル対処方法について説明します。

プリントできない

プリントできない場合の処置方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
プリンターアイコンにデータが残っている	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	コンピューターのネットワークケーブルが外れている。	コンピューターのネットワークケーブルをつなげてください。
	本機のネットワークケーブルが外れている。	本機のネットワークケーブルをつなげてください。
	本機でエラーが発生している。	エラーの内容を確認して対処してください。
	IP アドレス、または SMB のネットワークパスが正しく設定されていない。	正しい IP アドレス、または SMB のネットワークパスを設定してください。
	コンピューターと本機の間のネットワークが正常ではない。	ネットワーク管理者に相談してください。
	ポートが起動していない。	利用しているポートを起動してください。
	本機のハードディスクの残り容量が不足している。	親展ボックスのデータや蓄積されている文書（セキュリティープリントなど）で不要になったデータを削除し、空きスペースを増やしてください。
	本機が複数のコンピューターと接続している。	しばらく待ってから、再度プリントしてください。
データは本機に送られている	用紙が入っていない。	用紙を補給してください。
	指定した用紙サイズ用の紙がない。	指定した用紙サイズの用紙をセットしてください。 参照 •「用紙をセットする」(P.42) を参照してください。
	本機でエラーが発生している。	エラーの内容を確認して対処してください。
	ジョブの実行が一時的に停止されている。	画面でジョブをキャンセルするかどうかを指定してください。

思った通りのプリント結果にならない

プリント結果が予想と違う結果になる場合の処置方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
カラーでプリントされない	プリントオプションの[カラーモード]で[白黒]が選択されている。	[カラーモード]で[カラー(自動判別)]を選択してください。
異なった用紙サイズでプリントされる	指定したトレイに異なったサイズ用の紙がセットされている。	トレイにセットされている用紙サイズを変更するか、指定した用紙サイズがあるトレイにプリントオプションを変更してください。
用紙の端にあるイメージが欠ける	本機の印字可能エリアを超えています。	本機の印刷エリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。
コンピューターで指定したフォントとプリント結果のフォントが異なる	プリンタードライバーで、フォントの置き換えを設定している。	フォントの置き換えテーブルを確認してください。
プリントオプションで指定した内容が無効になる 端が欠ける	他機種のプリンタードライバーを使用している。	本機のプリンタードライバーをインストールしてください。
	本機の印字可能エリアを超えています。	本機の印刷エリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。
プリントの色が以前と違う	色階調がずれている。	自動階調補正をしてください。 参照 ・「濃度補正」(P.184) を参照してください。
出力紙に黒線が出る	他機種のプリンタードライバーを使用している。	本機のプリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワークのトラブル

ネットワーク関連のトラブル対処について説明します。

TCP/IP を使用したときのトラブル

TCP/IP (LPD) 使用時にトラブルが発生した場合の、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

Windows OS の場合

■ プリントされないとき

症 状	原 因	処 置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本機のIPアドレスが正しいかどうかを調べてもらう。	本機に、正しい IP アドレスを設定してください。
LPD スプールをメモリースプールに設定している場合に、コンピューターから1回のプリント指示で送信されるプリントデータの容量が、受信容量の上限を超えている。	LPD スプールのメモリー容量を確認して、1 回のプリント指示で送信しようとしているプリントデータの容量と比較してみる。	プリントデータ容量が 1 つのファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、そのファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割してプリントを指示してください。 プリントデータ容量が複数のファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、1 度にプリントを指示するファイル数を減らす。
プリント処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルのディスプレイで、エラーが表示されていないかを確認する。	本機の電源を切って、ディスプレイが暗くなってから再度電源を入れてください。
コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択してください。
本機が処理しようとするプリントデータのデータ形式と、コンピューターから送られてくるプリントデータのデータ形式が一致していない。	－	Ctrl-D を出力しない設定にしてください。

■ 希望どおりにプリントされないとき

症 状	原 因	処 置
指定したプリント言語とプリントデータのプリント言語が異なっている。	指定したプリント言語とプリントデータのプリント言語を確認する。	プリントデータのプリント言語に一致するプリント言語を指定してください。
本機に付属のプリンタードライバーを使っていない（他社のプリンタードライバーを使っている）。	本機に付属のプリンタードライバーが選択されているか確認する。	本機に付属のプリンタードライバーを選択してください。選択項目にない場合は、本機に付属のプリンタードライバーをインストールし、選択してください。他社のプリンタードライバーを使った場合は、動作が保証されません。

CentreWare Internet Services を使用したときのトラブル

CentreWare Internet Services 使用時にトラブルが発生した場合の、症状と処置は次のとおりです。

症 状	処 置
CentreWare Internet Services に接続できない。	本機は、正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているかを確認してください。
	インターネットサービスが起動していますか？ 「機能設定リスト」をプリントして確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。 接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使っていますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わないで、Web ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、使用するアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
「しばらくお待ちください」と表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してください。それでも状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
画面の表示が崩れる。	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	Web ブラウザーの表示を更新してください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使ってください。また、半角カナ文字は使用しないでください。
[OK] ボタンをクリックしても反映されない。	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。

症 状	処 置
[OK] ボタンをクリックしても反映されない。	本機の操作パネルで操作中、または操作後ではありませんか？ 自動リセット機能が設定されている場合、設定時間が経過するまで、CentreWare Internet Services での設定は適用されません。しばらくお待ちください。
[OK] ボタンをクリックすると、Web ブラウザーに「無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される。	パスワードは正しいですか？ パスワードの確認入力の内容が一致していません。正しいパスワードを入力してください。
	本機を再起動してください。
漢字を入力できない。	「*」で表示される項目に漢字は入力できません。
ジョブを削除できない。	しばらく待ってから Web ブラウザーの表示を更新してください。

インターネット / イン트라ネット接続のトラブル

インターネット / イン트라ネット接続時にトラブルが発生した場合の、考えられる原因と処置は次のとおりです。

インターネット / イン트라ネットに接続できないとき

原因	処 置
外部サーバーで使用している認証機能が、本機では対応していない。	本機で対応している認証機能は、Basic 認証だけです。NTLM/digest には対応していません。セキュリティ上の問題を考慮する場合には、SSL を使った認証に変更してください。
使用している外部連携サービスと、本機のモデルやオプションが合っていない。	外部連携サービスを使用する場合は、該当する製品 / モデル / オプションを購入してください。
IP アドレスが正しく設定されていない。	IP アドレスの設定を確認してください。IP アドレスが正しく設定されていない場合は、IP アドレスを固定で指定するか、DHCP または AutoIP などを使用して、IP アドレスを解決してください。
IP ゲートウェイアドレスが正しく設定されていない。	プロキシサーバーに接続する場合、または Web サーバーに接続するために IP ゲートウェイを経由する場合は、IP ゲートウェイアドレスを正しく入力してください。
サブネットマスクが正しく設定されていない。	サブネットマスクは、使用している環境に合わせて正しく設定してください。
DNS サーバーのアドレスが正しく設定されていない。	DNS サーバーのアドレスを確認してください。
設定されている DNS サーバーがアドレスを解決できない。	アドレスを解決できる DNS サーバーを設定してください。 - プロキシサーバーを経由する場合 プロキシサーバーのアドレスを解決できる DNS サーバーのアドレスを設定してください。 - プロキシサーバーを経由しない場合 宛先アドレスを解決できる DNS サーバーのアドレスを設定してください。

原因	処 置
プロキシを経由しないアドレスの設定が間違っている。	プロキシを経由しないアドレスだけが指定されているかどうかを確認してください。なお、FQDN 形式でプロキシを経由しないアドレスを指定していても、IP アドレスを直接指定してサーバーにアクセスしている場合には、登録したサーバーが除外対象にはなりません。プロキシを経由しないアドレスを IP アドレスでも指定してください。同様に、IP アドレスを直接指定してプロキシを経由しないアドレスを指定していても、FQDN 形式でサーバーにアクセスする場合には、登録したサーバーが除外対象になります。プロキシを経由しないアドレスを FQDN 形式でも指定してください。
接続するサーバー、またはプロキシサーバーがダウンしている。	接続するサーバー、またはプロキシサーバーが正常に稼働しているかどうかを確認してください。
ネットワークケーブルが抜けている、または断線している。	ネットワークケーブルの接続を確認してください。ネットワークの切断に強い環境を構築するためには、スパンニングツリー環境を使用することをお勧めします。
サーバーアプリケーションに負荷がかかっているため、通信できない。	しばらく待ってから、もう一度アクセスしてください。
操作パネルには表示されていないが、エラーが発生している。	バックグラウンド処理を実行中にエラーが発生しても、操作パネルには表示されません。[ジョブ確認]画面を表示するか、ジョブ履歴レポートをプリントして、実行結果を確認してください。
プロキシサーバー、ファイアウォール、または Web サーバーに設定されているアクセス制限によって接続できない。	アクセス制限の種類には、次のものがあります。設定されているアクセス制限を確認してください。 • アドレス（ポート）制限 • SSL 利用制限 • ユーザーアクセス制限（アクセス権レベルも含む） • コンテンツブロック • 利用スキーム制限（HTTP 利用不可など） • 転送データサイズ制限 • 利用メソッド制限（POST 利用不可など） • HTTP ヘッダー制限（特定ブラウザだけ受付など） • 時間制限（特定時間帯だけ利用可能など）

IPv4 または IPv6 接続のトラブル

IPv4 または IPv6 接続時にトラブルが発生した場合の、考えられる症状と処置は次のとおりです。

IPv4 に接続できないとき

症 状	処 置
IPv4 アドレス入力時、192.0.2.010 のように、アドレス先頭に 0 を付加した場合、正しく動作しない。	0 を付けずに指定してください。

IPv6 に接続できないとき

症 状	処 置
リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない。	リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。 たとえば Windows 7 の Internet Explorer 11 を利用して、fe80::203:baff:fe48:9010 を指定してアクセスする場合には、Windows 7 のイーサネットアダプタローカルエリア接続の番号（例：8）をスコープ識別子として付加し、fe80::203:baff:fe48:9010%8 と入力してください。
IPv6 が利用できる Windows OS と通信できない。	IPv6 が利用できる Windows OS で固定アドレスを設定してください。 通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。
ルーターを越える検索が正しく動作しない。	SMB を使った検索でルーターを越える場合、宛先アドレスを直接入力してください。 マルチキャストに応答するのは、ローカルリンク内のマルチキャスト（FF02::1）のみです。
CentreWare Internet Services で、SSL を有効に設定している場合に、http:// [IPv6 アドレス] を指定しても https:// [IPv6 アドレス] サイトヘリダイレクトされない。	SSL を有効に設定している場合、https:// [IPv6 アドレス] サイトを指定してください。

IPv6 でプリントできないとき

症 状	処 置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 が利用できる Windows OS から Windows 共有プリンターが使用できない。	IPv6 が利用できる Windows OS 上の hosts ファイルに本機のコンピューター名を登録してください。 格納先例： C:\Windows\system32\driver\etc\hosts ファイルに登録します。

11

その他 IPv6 について

症 状	処 置
UPnP で IPv6 機器を検索できない。	IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリー機能を使用してください。
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境において、SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する。	認証サーバーパラメーターのコンピューター名に、IPv6 アドレスを直接指定してください。
DocuShare など外部アクセス接続サービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスで指定すると正しく動作しない。 例：http:// [ipv6:2001:db8::1]	IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。
出力されたジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されない。	IPv4 で運用してください。

エラーコード

エラーコードについて説明します。

エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。

次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

補足

- エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているプリントデータや、本機のメモリーに蓄えられた情報は保証されません。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。カスタマーコンタクトセンターの電話番号は、機械に添付してあるラベル、またはカードに記載されています。

"005-001" - "011-999"

エラーコード	原因 / 処置
010-321	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
010-331 010-332 010-333 010-334 010-335	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
010-338 010-339 010-340	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
010-344 010-345 010-346	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"016-001" - "016-999"

エラーコード	原因 / 処置
016-210 016-211 016-212 016-217 016-218 016-219	【原因】 ソフトウェアにエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-230	【原因】 ソフトウェアにエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-233	【原因】 ソフトウェアにエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-234 016-235	【原因】 本機の認証機能でエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-242	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-244	【原因】 自己署名証明書が自動更新できませんでした。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
016-245	【原因】 現在の認証と集計の設定では使用できない関連商品が接続されています。 【処置】 関連商品の接続が不要な場合： 機械管理者モードで関連商品に関する設定を変更してから、本機の電源を切って、関連商品を取り外し、電源を入れてください。 関連商品の接続が必要な場合： 機械管理者モードで認証と集計の設定をもう一度やり直して、本機を再起動してください。
016-246	【原因】 現在の認証と集計の設定では使用できない関連商品が接続されています。 【処置】 機械管理者モードで関連商品に関する設定を変更してから、本機の電源を切って、関連商品を取り外し、正しい種類の関連商品を取り付けて、電源を入れてください。
016-310	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-324 016-325 016-326 016-327	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-330 016-331 016-332	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-335 016-336 016-337 016-338 016-339 016-340 016-341 016-342	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-345 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
016-353 016-354 016-356 016-357 016-358 016-359 016-360 016-361 016-362 016-363 016-364 016-365 016-366 016-367 016-368 016-370	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-383	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-400	【原因】 Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 【処置】 Ethernet1 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	【原因】 Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 【処置】 Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	【原因】 Ethernet1 で、認証接続がタイムアウトになりました。 【処置】 本機の Ethernet1 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-403	【原因】 ルート証明書が一致しませんでした。 【処置】 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、IEEE 802.1x 設定の証明書の検証を無効にしてください。
016-404	【原因】 内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実行してください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-405	【原因】 本機に格納されている証明書にエラーがありました。 【処置】 証明書の初期化を実行してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-406	【原因】 SSL クライアント証明書にエラーがありました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選択する。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	【原因】 本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。 【処置】 カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-422	【原因】 オフライン状態です。 【処置】 以下を実施してください。 • ほかのメッセージが表示されている場合には、その処置をしてください。 • メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。 • リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。 それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-423	【原因】 オフライン状態です。 【処置】 以下を実施してください。 • ほかのメッセージが表示されている場合には、その処置をしてください。 • コントロールパネルを操作中の場合は、操作を完了してください。 • リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。 それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-424 016-425	【原因】 節電モード中です。 【処置】 節電モードを解除してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
016-427	【原因】 Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なります。 【処置】 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-428	【原因】 Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 【処置】 Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	【原因】 Ethernet2 で、認証接続がタイムアウトになりました。 【処置】 本機のEthernet2と物理的ネット接続されている認証サーバーのスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-430	【原因】 ルート証明書が一致しませんでした。 【処置】 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、IEEE 802.1x 設定の証明書の検証を無効にしてください。
016-431	【原因】 内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-432	【原因】 Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAPTLS」以外のものを選択する。
016-450	【原因】 SMB のホスト名が重複しています。 【処置】 ホスト名を変更してください。
016-453	【原因】 DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 【処置】 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	【原因】 DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。 【処置】 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。
016-455	【原因】 SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。 【処置】 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	【原因】 SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。 【処置】 SNTP サーバーの設定を確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-500 016-502	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-503	【原因】 メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 【処置】 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。
016-514	【原因】 XPS 文書の処理中にエラーが発生しました。 【処置】 XPS 対応ドライバーからの印刷でエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバー（PCL など）を使用して印刷してください。 XPS 文書をダイレクトプリントした際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバー（PCL など）を使用して印刷してください。 補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-515	【原因】 XPS 文書の処理中にメモリーが不足しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 ・ プリンタードライバーの [印刷モード] を [標準] にする ・ メモリーを増設する ・ XPS Document Viewerからプリンタードライバー（PCL など）を使用して印刷する 補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-516	【原因】 XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していない印刷設定が含まれています。 【処置】 プリントジョブを送信したアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかをご確認ください。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-517	【原因】 PostScript ファイルに記述されている内容に誤りがあります。 【処置】 PostScript ドライバーでプリントしてください。または、PostScript ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-518	【原因】 PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。 【処置】 PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。
016-519	【原因】 設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。 【処置】 機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。
016-522	【原因】 LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。 【処置】 LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。
016-523	【原因】 LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 【処置】 本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
016-524	【原因】 LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。 【処置】 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。LDAP の SSL/TLS 通信を無効にしてもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-525	【原因】 LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 【処置】 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。LDAP の SSL/TLS 通信を無効にしてもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-526	【原因】 LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。 【処置】 本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。LDAP の SSL/TLS 通信を無効にしてもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	【原因】 LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。 【処置】 ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-529	【原因】 Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間（45 秒内）にサーバーから応答がありませんでした。 【処置】 ネットワーク接続を確認してください。Remote Download サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-533	【原因】 Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 【処置】 本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	【原因】 Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 【処置】 本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。Windows Server と接続する場合は、認証先名は大文字にしてください。
016-535	【原因】 Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。 【処置】 ファイルを確認してください。
016-536	【原因】 Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。 【処置】 DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	【原因】 Remote Download サーバーに接続できませんでした。 接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。 【処置】 ネットワーク設定のポートを確認してください。
016-538	【原因】 Remote Download ファイルをハードディスクへ書き込む際に、エラーが発生しました。 Remote Download サーバーから取得したファイルをハードディスクに書き込めません。 【処置】 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ハードディスクを交換してください。
016-539	【原因】 Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 【処置】 ソフトウェアにエラーが発生しました。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-543	【原因】 指定された認証先やドメインが、認証管理ソフトウェアから削除されました。 【処置】 認証先画面で認証先情報を更新するか、お使いの認証管理ソフトウェアにドメインを追加してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-545	【原因】 認証管理ソフトウェアとアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。 【処置】 認証管理ソフトウェアをインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。認証管理ソフトウェアがインストールされたコンピューターの Windows のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。
016-546	【原因】 一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとした。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-548	【原因】 本機が認証管理ソフトウェアに登録されていません。 【処置】 本機をお使いの認証管理ソフトウェアに登録してください。
016-553	【原因】 認証管理ソフトウェアが本機のインターフェースのバージョンに対応していません。 【処置】 お使いの認証管理ソフトウェアのバージョンを上げる必要があります。本機が、上げたバージョンに対応している商品であることを確認してください。
016-554	【原因】 認証管理ソフトウェアのドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。 【処置】 お使いの認証管理ソフトウェアのドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	【原因】 認証管理ソフトウェアがデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。 【処置】 お使いの認証管理ソフトウェアからデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。
016-556	【原因】 認証管理ソフトウェアが接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。 【処置】 サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。 それでも改善されないときは、お使いの認証管理ソフトウェアを確認してください。
016-557	【原因】 認証管理ソフトウェアの内部エラーです。 【処置】 お使いの認証管理ソフトウェアを確認してください。
016-558	【原因】 本機が認証管理ソフトウェアから不明なエラーを受信しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-559	【原因】 Remote Download パラメーターエラーが発生しました。 必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。 【処置】 必要なシステムデータの設定を確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-560	【原因】 本機と認証管理ソフトウェア間で通信エラーが発生しました。 【処置】 ネットワークケーブルの抜けや、お使いの認証管理ソフトウェアの設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「サーバー名 / IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。
016-562	【原因】 アクティブディレクトリーまたは認証管理ソフトウェアの一時ユーザー用データベースに、同じ IC カードの情報を持つエントリーが複数見つかりました。 【処置】 アクティブディレクトリーまたは認証管理ソフトウェアの一時ユーザーエントリーを、同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
016-564	【原因】 Remote Download Server の認証に失敗しました。 【処置】 Remote Download Server にアクセスしたときの、ユーザー名とパスワードを確認してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-565	【原因】 バックアップに失敗しました。 【処置】 USB メモリーが正しく挿入されているかを確認してください。
016-566	【原因】 バックアップまたはリストアに失敗しました。 【処置】 バックアップの場合には、USB メモリーの dwld フォルダーにダウンロードファイルを格納して USB メモリーを挿入してください。リストアの場合には、ソフトウェアのバージョンがバックアップ時と同じかを確認してください。また、バックアップファイルが本機で作成されたものであるかを確認してください。
016-567	【原因】 バックアップ先の容量不足、またはバックアップ時のデータ暗号化用メモリー不足です。 【処置】 バックアップファイル、その他不要なファイルを削除して容量を増やしてください。
016-568	【原因】 HDD アクセスエラー、USB メモリーアクセスエラー、またはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。 【処置】 バックアップファイルを削除してください。USB によるバックアップまたはリストアの場合には、USB メモリーが正しく挿入されていることを確認してください。問題が解決しない場合には、USB メモリーをコンピューターで初期化してみてください。
016-569	【原因】 認証管理ソフトウェアのエラーです。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
016-570	【原因】 ジョブチケット用メモリーの容量が不足しているため、プリントできませんでした。 【処置】 ジョブチケット用メモリーの容量を大きくし、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、再度プリントしてください。
016-571	【原因】 ジョブチケットの内容が正しくないため、プリントできませんでした。 【処置】 プリントのプリント設定に不整合がないかどうかを確認し、プリント設定を修正して、再度プリントしてください。
016-572	【原因】 ジョブチケットで指定された用紙属性が、本機で使用できない用紙（サイズ、紙質、紙色）になっているため、プリントできませんでした。 【処置】 プリント時に指定した用紙が本機で利用できる用紙かどうかを確認してください。
016-573	【原因】 ジョブチケットの内容が正しくないため、プリントできませんでした。 【処置】 プリントを指示したコンピューターにプリンタードライバーが正しくインストールできているか、動作条件が整っているか、本機で利用できるドライバーかどうかを確認してください。
016-700	【原因】 プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリント、または認証プリントの暗証番号が、本機に設定してある蓄積時の暗証番号最小桁数よりも桁数が少なかったため、処理を中断しました。 【処置】 プリンタードライバーで設定する暗証番号を、本機に設定してある蓄積時の暗証番号最小桁数よりも大きな桁数に設定してください。
016-701	【原因】 メモリーが不足したため、プリントデータを処理できませんでした。 【処置】 プリンタードライバーで解像度を低くしたり、両面プリントやNアップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-702	【原因】 プリントページバッファが不足したため、プリントデータを処理できませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にする • プリントページバッファを増やす • メモリーを増設する

エラーコード	原因 / 処置
016-705	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 本機用のプリンタードライバーを使用していない 2. ハードディスクが装着されていない状態で、セキュリティープリント、ボックス保存プリント、認証プリント、プライベートプリントのどれかのジョブを受信した 【処置】 1. の場合： 本機用のプリンタードライバーを使用してください。 2. の場合： 本機にハードディスクが装着されているか確認してください。 ハードディスクが装着されていない場合： • 機能を利用しない場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ> [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [なし] 設定する • 機能を利用する場合は、ハードディスクを装着する ハードディスクが装着されている場合： • プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ> [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [あり] に設定する それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-706	【原因】 セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えたため、記憶領域が不足しています。 【処置】 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーを削除してください。
016-707	【原因】 サンプルプリントができませんでした。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-708	【原因】 記憶領域が不足しているため、アノテーションができませんでした。 【処置】 記憶領域内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	【原因】 プリント処理でエラーが発生しました。 【処置】 もう一度プリントを指示してください。
016-710	【原因】 時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-715	【原因】 ESCPフォーム用のパスワードが一致しないため、ESCPフォームにアクセスできませんでした。 【処置】 ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。

エラー コード	原因 / 処置
016-716	【原因】 本機に蓄積できる容量を超えたため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 【処置】 本機内に蓄積されている不要な文書や登録ユーザーを削除してください。 ハードディスクがオプションの機種の場合は、ハードディスクを装着してください。ハードディスクの装着については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-718	【原因】 メモリーが不足したため、PCL プリントデータを処理できませんでした。 【処置】 解像度を低くしたり、両面プリントや N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-719	【原因】 プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 【処置】 プリントページバッファを増やしてください。
016-720	【原因】 PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。 【処置】 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-721	【原因】 ESC/P のコマンドエラーが発生しました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
016-726	【原因】 プリントモード指定が自動の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 次の原因が考えられます。 1. Adobe® PostScript® 3™* が装着されていない状態で、PostScript データを送信した 2. エミュレーションキット* が装着されていない場合に、プリントモード指定を自動にして、HP-GL/2、201H、PCL のデータを送信した *: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 1. については、Adobe® PostScript® 3™の装着が必要です。 2. については、エミュレーションキットの装着が必要です。
016-728	【原因】 TIFFファイルにサポートしていないTagが含まれていました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
016-729	【原因】 TIFF ファイルの色数 / 解像度が有効範囲の上限を超えているためプリントできませんでした。 【処置】 TIFF ファイルの色数 / 解像度を変更して、もう一度プリントデータを指示してください。
016-731	【原因】 TIFF データが途切れてプリントできませんでした。 【処置】 もう一度プリントを指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-732	【原因】 エミュレーションで指定したフォームが、ホスト側に登録されていませんでした。 【処置】 フォームデータを再送してください。
016-733	【原因】 次の原因が考えられます。 1. メール送信時、宛先メールアドレスの@の右側の文字列から IP アドレスを取得できませんでした。 2. メール送信時、@の右側のインターネットアドレスを DNS で解決できませんでした。 【処置】 1. については、宛先メールアドレスが正しく入力されているか確認してください。 2. については、DNS サーバーアドレスを正しく設定してください。
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	【原因】 本体の更新処理にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-746	【原因】 受信した PDF には、サポートしていない機能が含まれています。 【処置】 プリンタードライバーを使用してプリントしてください。
016-749	【原因】 1. プリントジョブで発生する場合： プリンタードライバーから受信したプリント言語が、本機で印刷できないプリント言語でした。 2. インターネットファクス受信文書をプリントするときに発生する場合： 相手機からインターネットファクス送信されてきた文書が、本機で印刷できないプリント言語でした。 【処置】 1. については、本機用のプリンタードライバーを使用して印刷してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 2. については、インターネットファクス送信側に本機で印刷可能なプリント言語で送信するように依頼してください。 補足 • PostScript など印刷するプリント言語によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

エラーコード	原因 / 処置
016-750	【原因】 ファイルを直接送信して印刷するアプリケーションを使用している場合、PDF、XPS とともに送信されるプリントジョブチケットを本機が受信しましたが、プリントジョブチケットデータが本機で対応していない文法、または本機で対応していない印刷指示内容でした。 【処置】 プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかをご確認ください。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、機能設定リスト（共通項目）、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得の上、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 補足 ・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-751	【原因】 次の原因が考えられます。 1. PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。 2. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。 【処置】 1. については、プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 2. については、OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。
016-752	【原因】 メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。 【処置】 印刷モードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。または、メモリーを増設してください。
016-753	【原因】 パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 【処置】 本機で正しいパスワードを指定してください。
016-755	【原因】 印刷禁止指定された PDF ファイルを処理しようとしてしました。 【処置】 Adobe Acrobat® を使用して、印刷禁止指定を解除して再プリントしてください。
016-756	【原因】 サービスの利用が許可されていません。 【処置】 機械管理者に確認してください。
016-757	【原因】 アカウント情報が間違っています。 【処置】 入力したアカウント情報、または登録されているアカウント情報を確認して、再度やり直して下さい。
016-758	【原因】 サービスを利用できる部門として登録されていません。 【処置】 集計管理者にご相談ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-759	【原因】 サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 【処置】 集計管理者にご相談ください。
016-760	【原因】 PostScript [*] の処理中にエラーが発生しました。 [*] : お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • プリンタードライバでイメージの高速処理を有効にする • PostScript 使用メモリーを増やす
016-761	【原因】 イメージ処理中にエラーが発生しました。 【処置】 本機用のプリンタードライバで、イメージの高速処理を有効にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、ページ印刷モードでプリントしてください。
016-762	【原因】 実装されていないプリント言語が指定されました。 【処置】 使用するポートのプリントモードに正しいプリント言語を指定してください。
016-764	【原因】 SMTP サーバーに接続できませんでした。 【処置】 SMTP サーバーの管理者にご相談ください。
016-765	【原因】 SMTP サーバーのハードディスクの空き容量がないため、メール送信ができませんでした。 【処置】 SMTP サーバーの管理者にご相談ください。
016-766	【原因】 SMTP サーバーでエラーが発生しました。 【処置】 SMTP サーバーの管理者にご相談ください。
016-767	【原因】 メールアドレスが間違っているため、メール送信ができませんでした。 【処置】 メールアドレスを確認し、もう一度送信してください。
016-768	【原因】 本機のメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバーに接続できませんでした。 【処置】 本体メールアドレスを確認してください。
016-769	【原因】 SMTP サーバーが配送確認（DSN）に対応していません。 【処置】 配送確認（DSN）の設定をしないで、メールを送信してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-781	【原因】 次の原因が考えられます。 1. メール送信時に、メールサーバーが見つかりませんでした (TCP/IP のセッション確立失敗)。 2. メール送信時に、メールサーバーから本機へ SMTP サーバーエラーを受信しました。 【処置】 1. 次のどれかの方法で処置してください。 • ネットワークケーブルを確認する • SMTP サーバーを IP アドレスで指定している場合は、IP アドレスが正しいか確認する 2. 本機のメールアドレス / ホスト名を、ASCII 文字で指定してください。 使用できる文字 • アルファベット (a ~ z、A ~ Z) • 数字 (0 ~ 9)
016-792	【原因】 指定したジョブの履歴が取得できませんでした。 【処置】 もう一度操作を実行してください。
016-798	【原因】 ハードディスクが取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。 【処置】 ハードディスクの装着が必要です。ハードディスクの装着については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
016-799	【原因】 アプリケーション側のプリントデータそのものに不正なパラメーターが含まれている、もしくはプリントデータと印刷設定に不整合が生じている可能性があります。 【処置】 アプリケーション側のプリントデータと印刷設定を確認し、もう一度プリントを指示してください。

"017-001" - "017-999"

エラーコード	原因 / 処置
017-500	【原因】 Job Limit サーバーから不正な応答がありました。 【処置】 ジョブパラメーター設定を確認してもう一度実行してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-501	【原因】 プリントが許可されていません。 【処置】 機械管理者に相談して、権限を変更してください。
017-503	【原因】 プリントジョブの暗証番号が最大桁数を超過しています。 【処置】 プリントジョブの暗証番号の桁数を減らして、もう一度操作を実行してください。

エラーコード	原因 / 処置
017-504 017-505	【原因】 Job Limit サーバーの接続に失敗しました。 【処置】 ネットワークの状態を確認してください。Job Limit サーバーが動作しているかを確認してください。
017-506	【原因】 Job Limit サーバーで拒否されたため、ジョブが取り消されました。 【処置】 機械管理者に相談してください。
017-507	【原因】 本機でダイレクトプリントが無効です。 【処置】 ダイレクトプリント機能を有効にしてください。
017-713	【原因】 SMTP サーバーが STARTTLS 接続に対応していません。 【処置】 SSL/TLS 通信の設定を [STARTTLS 接続] 以外に変更してください。
017-714	【原因】 SMTP サーバーとの SSL 接続に失敗しました。 【処置】 SMTP サーバーが SSL 接続に対応しているか確認ください。対応している場合、SMTP サーバーのポート番号を確認してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-715	【原因】 SMTP サーバーの SSL サーバー認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 【処置】 本機が SMTP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。SMTP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
017-716	【原因】 SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期間より前のものです。 【処置】 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-717	【原因】 SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 【処置】 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-718	【原因】 SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。 【処置】 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP-SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。

エラー コード	原因 / 処置
017-719	【原因】 SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。 【処置】 もう一度、同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-720	【原因】 Contract Type の値が正しくありません。 【処置】 PjL コマンドで指定した Contract Type の値を修正して、もう一度やり直してください。
017-721	【原因】 Geographic Region の値が正しくありません。 【処置】 PjL コマンドで指定した Geographic Region の値を修正して、もう一度やり直してください。
017-722	【原因】 PjL コマンドを実行できませんでした。 【処置】 トータルページ数が 9,999,900 以下のときに操作してください。
017-725	【原因】 強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。 【処置】 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 もう一度、本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名をご確認ください。
017-729	【原因】 プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、受け付けられるジョブの数が上限を超えているか、ジョブのスプール領域不足により、ジョブが一時的に送信できませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の CentreWare Internet Services で、IPP のスプールを有効にしてください。 • しばらく待ってから、再度ジョブを送信してください。
017-730	【原因】 プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 次の確認を行ってください。 • ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する。 • プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の電源が入っていることを確認する。 • プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の IPP ポートが起動していることを確認する。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
017-732	【原因】 プリントジョブ蓄積先の機器（親機）がオフライン状態になっているため送信できませんでした。 【処置】 プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、プリンターモードをオンラインにしてください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-733	【原因】 プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ソフトウェアの内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-734	【原因】 AirPrint/Mopria 等の処理中に、内部エラーが発生しました。 【処置】 IPPからのプリント以外の弊社製プリンタードライバーやソフトウェアを使用した別な手段で、もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-735	【原因】 デバイスの利用が禁止されています。 【処置】 機械管理者に相談してください。
017-755	【原因】 ソフトウェアダウンロードに失敗しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • CentreWare Internet Services の「ソフトウェアバージョンアップ」の設定を確認してください。 • USB からソフトウェアをダウンロードしてください。
017-759	【原因】 本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-780	【原因】 [プリントジョブの追い越し] により追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。 【処置】 特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、[プリントジョブの追い越し] の設定を変更してください。
017-787	【原因】 Google クラウドプリントのプリントデータ処理中にエラーが発生しました。 【処置】 Google クラウドプリント以外の方法でプリントしてください。

エラー コード	原因 / 処置
017-789	【原因】 論理エラーです。 【処置】 ジョブパラメーター設定を確認してもう一度実行してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
017-790 017-791	【原因】 プリントが許可されていません。 【処置】 操作が許可されている時間を確認して、もう一度やり直してください。 機械管理者に相談して、権限を変更してください。
017-792 017-793 017-794 017-795 017-796 017-797 017-798 017-799	【原因】 プリントが許可されていません。 【処置】 機械管理者に相談して、権限を変更してください。

"018-001" - "020-999"

エラー コード	原因 / 処置
018-400	【原因】 IPsec 設定エラーが発生しました。 【処置】 IPsec 設定の不整合を解消して、再度 IPsec を有効にしてください。 • [IKE 認証方式] に [事前共有鍵] が設定されている場合、パスワードを設定する • [IKE 認証方式] に [デジタル署名] が設定されている場合、IPsec 証明書を設定する
018-405	【原因】 LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。 【処置】 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止に設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	【原因】 Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。 【処置】 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
018-407	【原因】 Ethernet1とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一のIPv6アドレスが設定されたことを検知しました。 【処置】 各イーサネットに別々のIPアドレスを設定し直してください。同一IPアドレスを設定したい場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-408	【原因】 Ethernet2側のネットワークで、IPv4のIPアドレスが重複しています。 【処置】 Ethernet2側のIPv4アドレスを変更してIPアドレスの重複を解消してください。
018-409	【原因】 Ethernet2側のネットワークで、IPv6のIPアドレスが重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器のIPv6アドレスを変更して、IPアドレスの重複を解消してください。
018-410	【原因】 Ethernet2側のネットワークで、DNSサーバーに対する、IPv4アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 【処置】 DNSサーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	【原因】 Ethernet2側のネットワークで、DNSサーバーに対する、IPv6アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 【処置】 DNSサーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-412 018-413	【原因】 Ethernet2側のネットワークで、IPv6のIPアドレスが重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器のIPv6アドレスを変更して、IPアドレスの重複を解消してください。
018-414	【原因】 Ethernet2側で手動設定したIPv6のIPアドレスが間違っています。 【処置】 正しいIPv6アドレスを設定し直してください。
018-415	【原因】 Ethernet2側で手動設定したIPv6のIPアドレスが間違っています。 【処置】 本機IPv6の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器のIPv6アドレスを変更して、IPアドレスの重複を解消してください。
018-416	【原因】 Ethernet2側のネットワークで、IPv6のIPアドレスが重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器のIPv6アドレスを変更して、IPアドレスの重複を解消してください。
018-424	【原因】 WPA-Enterprise認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。 【処置】 本機にWPA-Enterprise認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise以外の無線セキュリティを使用してください。

エラー コード	原因 / 処置
018-425	【原因】 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。 【処置】 証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-426	【原因】 WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。 【処置】 - サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。 - 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-427	【原因】 Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。 【処置】 Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-428	【原因】 無線 LAN モジュールが正しく接続されていません。 【処置】 本機の電源を切り、無線 LAN モジュールが取り付けられていることを確認してください。
018-429	【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 【処置】 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-430	【原因】 Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 【処置】 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-431	【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-432	【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-433	【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-434	【原因】 Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 【処置】 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-435	【原因】 Wi-Fi側で手動設定したIPv6のIPアドレスが重複しています。 【処置】 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-436	【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器のIPv6アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-439	【原因】 [通信モード] が [Ad-hoc] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 【処置】 [通信モード] を [Infrastructure] に変更してください。
018-440	【原因】 [IP 動作モード] が [IPv6 モード] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 【処置】 [IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4 モード] に変更してください。
018-441	【原因】 [動作周波数帯] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 【処置】 [動作周波数帯] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。
018-556	【原因】 HTTP サーバーでエラーが発生しました。 【処置】 スキャン文書送信先の HTTP サーバーに指定したドライブおよびディレクトリーにアクセスできるか確認してください。もう一度、同じ操作をし、それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-560	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーにコンピューターからアクセスできるか • ログインユーザー名 • ログインパスワード • スキャン文書送信先の HTTP サーバー名 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーパス名
018-561	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーにコンピューターからアクセスできるか • スキャン文書送信先の HTTP サーバー名 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーパス名
018-562 018-563	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーにコンピューターからアクセスできるか • HTTP サーバー設定

エラーコード	原因 / 処置
018-564	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーが DNS に登録されているか • DNS サーバーと接続されているか • DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか
018-565	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • 本機に設定されているプロキシサーバー名が DNS に登録されているか • DNS サーバーと接続されているか • DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか
018-566	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • ネットワークケーブルが接続されているか • スキャン文書送信先の HTTP サーバーにコンピューターからアクセスできるか
018-570	【原因】 HTTP サーバーとの通信に失敗しました。 【処置】 次の項目を確認してください。 • スキャン文書送信先の HTTP サーバーにコンピューターからアクセスできるか • 本機に SSL クライアント証明書が正しく設定されているか • スキャン文書送信先の HTTP サーバーのデバイス証明書が正しいか
018-590	【原因】 サーバー上で同名のファイルやフォルダーを検知しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 1. 複数の機械から同じサーバーの同じフォルダーにアクセスしていない状態で、もう一度同じ操作をしてください。 2. 再発する場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-595	【原因】 LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリーが複数見つかりました。 【処置】 LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。
018-596	【原因】 LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-700	【原因】 外部認証時にエラーが発生しました。 【処置】 しばらくしてから、もう一度同じ操作を実施してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-709	【原因】 通信エラーが発生しました。 【処置】 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 • 本機の IPv4 アドレスを確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する • DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 • 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する • ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する • IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する
018-715	【原因】 Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。Kerberos サーバーに、本機で利用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで利用できる認証方式と一致するものはありません。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 1. Kerberos サーバーの認証方式を設定しなおしてください。 2. 本機の FIPS 認証モードを解除してください。 それでも状態が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-722	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-723	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 【処置】 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-724	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、SSL 通信エラーが発生しました。 【処置】 SSL の設定が正しいかを確認してください。
018-725	【原因】 Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。 【処置】 パスワードの使用期限を延長してください。
018-727	【原因】 Kerberos サーバーに認証されませんでした。 【処置】 IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-728	【原因】 Kerberos サーバーに認証されませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録する • KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新する • 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認する
018-729	【原因】 Google クラウドプリントとの接続がタイムアウトになりました。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-730	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。それでも状態が改善されないときは、内部エラーが発生している可能性があります。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-731	【原因】 データストレージ容量が不足しているため、ジョブを中止しました。 【処置】 データストレージの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。
018-737	【原因】 内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-738	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 【処置】 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-739	【原因】 内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-740	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 【処置】 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-741	【原因】 内部エラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
018-743	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 【処置】 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-744	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 【処置】 DNS の設定が正しいかを確認してください。
018-745	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 【処置】 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-746	【原因】 Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 【処置】 DNS の設定が正しいかを確認してください。

"021-001" - "022-999"

エラーコード	原因 / 処置
021-215	【原因】 接続された課金集計機器と本機で設定した課金集計機器が異なります。 【処置】 本機の設定を修正するか、本機の設定にあった機器を取り付けて、電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直してください。

"023-001" - "025-999"

エラーコード	原因 / 処置
024-312 024-313 024-314 024-315 024-322 024-323	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
024-340 024-341 024-342 024-343 024-345 024-346 024-347 024-348 024-349 024-350 024-351 024-352 024-353 024-354 024-355 024-356 024-357 024-358 024-359 024-360	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
024-361 024-362 024-363 024-364 024-365 024-366 024-367 024-368 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
024-700	【原因】 オプション機能を利用するために必要なメモリー容量、またはハードディスクが装着されていません。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
024-701	【原因】 指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。 【処置】 組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。
024-702	【原因】 [プリンター設定] で [紙づまり発生時のプリント処理] を [プリントを中止する] に設定しているときに、紙づまりが発生しました。 【処置】 詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。
024-707	【原因】 用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。 【処置】 用紙の種類を変更するか、片面プリントに変更してください。

エラーコード	原因 / 処置
024-708	【原因】 用紙の種類が両面 / 反転印刷に対応していません。 【処置】 用紙の種類を変更するか、おもて面プリントに変更してください。
024-746	【原因】 指定した紙質と組み合わせできない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、排出トレイ、両面プリントのどれか）が指定されました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
024-747	【原因】 プリンターパラメーターの組み合わせが不正です。原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 【処置】 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
025-596 025-597	【原因】 ハードディスクにエラーが発生しました。 【処置】 ハードディスクを交換する必要があります。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"026-001" - "026-999"

エラーコード	原因 / 処置
026-400	【原因】 USB ホストポートに3つ以上の機器が接続されています。 【処置】 接続機器が最大2つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-402	【原因】 プリント速度が遅くなりました。 【処置】 ジョブが完了するまで待ってください。
026-710	【原因】 本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 - メール送信者に暗号方式（3DES）で暗号化したメールの送信を依頼してください。 - 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-712	【原因】 CentreWare Internet Services からの操作中にエラーが発生しました。 【処置】 しばらくしてから、もう一度操作してください。
026-718	【原因】 プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 【処置】 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。

エラー コード	原因 / 処置
026-722	【原因】 USB メモリーがフォーマットされていません。 【処置】 コンピューターを使用して、USB メモリーを次の形式でフォーマットしてから、もう一度同じ操作を実施してください。 • 対応フォーマット：FAT12、FAT16 (FAT)、FAT32 それでも状況が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 補足 • NTFS フォーマットには対応していません。 • ソフトウェアによって暗号化された USB メモリーには対応していません。
026-726	【原因】 プリントジョブの指定時に機器構成情報が、実際の機器構成と一致していません。 【処置】 プリンタードライバー画面で機器構成情報と、実際の機器構成を合わせてください。
026-727	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 保存先のパス名に、使用できない文字 (①など) が使われています。 2. 保存先のパス名 (拡張子を含む) が利用できる文字数を超えています。 【処置】 次のいずれかを実行してください。 1. については、保存先のパス名を変更してください。 2. については、保存先のパス名を 1 ～ 255 バイト以内で設定してください。
026-730	【原因】 指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。 【処置】 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
026-731	【原因】 PIN 番号が無効です。 【処置】 PjL コマンドで指定している PIN 番号を修正して、もう一度実行してください。
026-732	【原因】 printcount 値が無効です。 【処置】 PjL コマンドで指定している printcount 値を修正して、もう一度実行してください。
026-733	【原因】 パスワードが無効です。 【処置】 PjL コマンドで指定しているパスワードを修正して、もう一度実行してください。
026-734	【原因】 ダウンロードに失敗しました。 【処置】 操作が完了してから 1 分以上待って、ダウンロードを開始してください。

"027-001" - "032-999"

エラーコード	原因 / 処置
027-442 027-443 027-444	【原因】 IPv6 の IP アドレスが重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	【原因】 手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 【処置】 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	【原因】 手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 【処置】 本機 IPv6 の手動設定アドレス、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	【原因】 IPv6 の IPv6 アドレスが重複しています。 【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	【原因】 IPv4 の IP アドレスが重複しています。 【処置】 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。
027-500	【原因】 SMTP サーバーに接続できませんでした。 【処置】 SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。
027-504	【原因】 SMTP サーバーでエラーが発生しました。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
027-700	【原因】 宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されています。 【処置】 宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されていないことを確認してください。
027-701	【原因】 本機からネットワークケーブルが抜けています。 【処置】 ネットワークケーブルが抜けていることを確認し、ケーブルを接続し直してください。
027-702	【原因】 指定した宛先用証明書がありません。 【処置】 宛先用証明書を本機に登録してください。
027-703	【原因】 指定した宛先用証明書の有効期限が切れています。 【処置】 有効期限が切れていない宛先用証明書を本機に登録してください。
027-705	【原因】 指定した宛先用証明書が、廃棄対象になっています。 【処置】 廃棄対象ではない宛先用証明書を指定してください。
027-710	【原因】 受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。 【処置】 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。

エラー コード	原因 / 処置
027-711	【原因】 受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。 【処置】 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	【原因】 受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。 【処置】 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	【原因】 受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 【処置】 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-714	【原因】 受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。 【処置】 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	【原因】 受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。 【処置】 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	【原因】 受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。 【処置】 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。
027-717	【原因】 メール送信で使用する SMTP サーバーのアドレスを DNS サーバーから取得できませんでした。 【処置】 DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。
027-720	【原因】 アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。 【処置】 DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーションがインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	【原因】 アプリケーション連携先が存在しません。 【処置】 連携するアプリケーションが正しく動作しているかを確認してください。
027-722	【原因】 アプリケーション連携先との接続中に、タイムアウトになりました。 【処置】 ジョブフローを、もう一度実行してください。
027-723	【原因】 アプリケーション連携先の認証に失敗しました。 【処置】 ジョブフロー作成時に、入力するユーザー名、パスワードを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-724	【原因】 アプリケーション連携に失敗しました。 【処置】 アプリケーションが正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	【原因】 アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。 【処置】 連携するアプリケーションが正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	【原因】 アプリケーション連携先のステータスが不明になりました。 【処置】 アプリケーションが正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-727	【原因】 アプリケーション連携でパラメーターが不正です。 【処置】 ジョブフロー設定で、パラメーターが正しいかどうかを確認してください。
027-728	【原因】 外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。 【処置】 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。
027-735	【原因】 SSL を使った転送指定に対して、本機の SSL 設定が無効になっています。 【処置】 本機の SSL 設定を有効にしてください。または、転送プロトコルを HTTP に指定してください。
027-736	【原因】 サーバー証明書検証指定に対して、本機のサーバー証明書検証が無効になっています。 【処置】 本機のサーバー証明書検証設定を有効にしてください。または、転送時のサーバー証明書検証指定を無効にしてください。
027-751	【原因】 ジョブフローに従って実行するときに、エラーが起きました。 【処置】 ジョブフローの設定内容を確認してください。
027-752	【原因】 ジョブフローの必須入力項目が入力されていません。 【処置】 次のどちらかの方法で処置してください。 • 必須入力項目があるジョブフローは、親展ボックスに関連付けない • ジョブフローの必須入力項目に既定値を設定する
027-753	【原因】 次の原因が考えられます。 1. ジョブフローを実行するために必要なポートが、起動されていないか使用できない状態で、サービスを実行しようとした。 2. S/MIME 通信を無効に設定している状態で、暗号化またはデジタル署名ありのメールを送信するジョブフローを実行しました。 【処置】 1. については、機械管理者にポートの状態を確認してもらってください。 2. については、S/MIME 通信を有効に設定するか、暗号化、およびデジタル署名なしでメールを送信するようにジョブフローの設定を変更してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-754	【原因】 ジョブフローで PDF 署名について設定している場合に、設定内容に矛盾が生じています。 【処置】 PDF 署名のシステムデータの設定（本機の現在の設定）と実施したジョブフローの署名の設定を確認してください。システムデータの設定とジョブフローの設定が異なっている場合には、どちらかの設定を変更してください。
027-757	【原因】 次の原因が考えられます。 1. サーバーとの通信でエラーが発生しました。 2. 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 3. SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 4. 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。 5. SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 6. サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。 【処置】 1. については、ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。 2. については、本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。 3. については、本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないか確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。 4. については、本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているか確認してください。対応してない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。 5. については、本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。 6. については、本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。
027-758	【原因】 LDAP サーバーから RFC2251 規定の resultMessageNo「49」（指定された認証証明書は無効）が返されました。 【処置】 LDAP サーバー/ ディレクトリサービス設定の検索用ログイン名と検索用パスワードが正しく設定されているかを確認してください。改善されないときは、ネットワーク管理者に相談し、LDAP サーバー側の認証設定を確認してください。
027-759	【原因】 LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定で指定された LDAP サーバーから照会された LDAP サーバーに対する接続に失敗しました。 【処置】 本機のネットワーク設定が正しく設定されているかを確認してください。 状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に相談し、本機から照会先のサーバーへの接続状態を確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-760	【原因】 XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。 【処置】 指定したパラメーターを確認してください。
027-761	【原因】 本機に外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントを指示しましたが、印刷要求をしてから実際に印刷処理を開始するまでの時間が、本機に設定されている時間を超えました。 【処置】 複数文書を外部アクセス機能を使ってオンデマンドプリントした場合は、文書数を減らして再度実行してください。
027-762	【原因】 外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントジョブが本機に指示されましたが、指示されたジョブチケットが次のように不正でした。 • 本機ソフトウェア不具合によるジョブチケット異常書き換え • 送信元の外部サーバーのバグによるジョブチケット異常書き換え • ネットワークトラブルによるジョブチケット異常書き換え • 意図的なジョブチケットの改ざん 【処置】 もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
027-763	【原因】 外部のアカウンティングサーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • 外部アカウンティングサーバーが正しく動作しているか確認する • ネットワークに障害がないか確認する • ネットワークケーブルを正しく接続する • 本機の設定を確認する
027-765	【原因】 DNS の名前解決に失敗しました。 【処置】 • 送信先の WebDAV サーバーが DNS サーバーに登録されているかどうかを確認してください。 • DNS サーバーとの接続を確認してください。 • DNS サーバーアドレスの設定を確認してください。
027-766	【原因】 プロキシサーバーの名前解決に失敗しました。 【処置】 • プロキシサーバーが DNS サーバーに登録されているかどうかを確認してください。 • DNS サーバーとの接続を確認してください。 • DNS サーバーアドレスの設定を確認してください。
027-767	【原因】 SSL/TSL の接続に失敗しました。 【処置】 • 送信先の WebDAV サーバーにコンピューターからアクセスできるかどうかを確認してください。 • 送信先の WebDAV サーバーで、SSL の設定を確認してください。 • 送信先の WebDAV サーバーの名前を確認してください。 • WebDAV サーバーで、送信先のパスを確認してください。

エラー コード	原因 / 処置
027-768	【原因】 証明書の検証でエラーが発生しました。 【処置】 - 送信先のWebDAVサーバーにコンピューターから接続できるかどうかを確認してください。 - 送信先のWebDAVサーバーのSSLサーバー証明書が、本機に登録されているかどうかを確認してください。 - 送信先のWebDAVサーバーのSSLサーバー証明書が、有効期限切れになっていないか、または証明書失効リストにないかを確認してください。本機の時間設定を確認してください。SSLサーバー証明書のパスを確認して、CA証明書をインポートしてください。 - 送信先のWebDAVサーバーに証明書が登録されていない場合、証明書の検証を無効にしてください。
027-769	【原因】 WebDAVサーバーの接続エラーが発生しました。 【処置】 - ネットワークケーブルの接続を確認してください。 - 送信先のWebDAVサーバーにコンピューターから接続できるかどうかを確認してください。 - ネットワークインターフェースを確認してください。
027-770	【原因】 プリントジョブに問題があります。 【処置】 ジョブを再度実行してください。
027-771	【原因】 本機に接続しているサーバーのメモリーがいっぱいになりました。 【処置】 サーバーのデータを削除してください。
027-772	【原因】 SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。 【処置】 本機のホスト名を、ASCII文字で設定してください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者にSMTPサーバーがHELOコマンドに対応しているか確認してください。
027-773	【原因】 SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
027-774	【原因】 指定したメールアドレスに使用できない文字が含まれています。 【処置】 宛先のメールアドレスは、ASCII文字だけで設定してください。
027-775	【原因】 送信する宛先数が多すぎます。 【処置】 宛先数を減らしてください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者にSMTPサーバーがEHLOコマンドに対応しているか確認してください。
027-776	【原因】 SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。 【処置】 本機のホスト名を、ASCII文字で設定してください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者にSMTPサーバーがEHLOコマンドに対応しているか確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-777	【原因】 送信先のSMTPサーバーがSMTP-AUTHに対応していません。 【処置】 CentreWare Internet Services で、メール送信時の認証を無効にしてください。
027-778	【原因】 送信先のSMTPサーバーが、本機に設定してあるSMTP-AUTHの認証方式に対応していません。 【処置】 ネットワーク管理者に、SMTP サーバーに認証方式を確認してください。 本機が対応している認証方式は、AUTH GSSAPI (Kerberos 指定時のみ)、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTHLOGIN、AUTH CRAM-MD5 です。
027-779	【原因】 SMTP サーバーの認証に失敗しました。 【処置】 SMTP-AUTH に設定してあるログイン名とパスワードを確認してください。
027-780	【原因】 ネットワークインターフェースでエラーが派生しました。 【処置】 ネットワークインターフェースを確認してください。
027-781	【原因】 データサイズが利用可能な容量を超えています。 【処置】 スキャンデータを分割してください。
027-782	【原因】 リダイレクト回数が上限に達しました。 【処置】 WebDAV サーバーのリダイレクト設定で、リダイレクトのループが発生していないかどうかを確認してください。
027-783	【原因】 認証に失敗しました。 【処置】 - 送信先のWebDAVサーバーにコンピューターから接続できるかどうかを確認してください。 - ログインユーザー名とパスワードを確認してください。 - 送信先の WebDAV サーバーの名前を確認してください。 - WebDAV サーバーで、送信先のパスを確認してください。
027-784	【原因】 認証に失敗しました。 【処置】 本機に設定されているプロキシサーバーのユーザー名とパスワードを確認してください。
027-785 027-786	【原因】 WebDAV サーバーの接続がタイムアウトしました。 【処置】 しばらくしてから、もう一度操作を実行してください。それでも状態が改善されない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。
027-788	【原因】 要求が失敗しました。 【処置】 - 指定した送信先のWebDAVサーバーのドライブとディレクトリにアクセスできるかどうかを確認してください。 - もう一度操作を実行してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
027-789	【原因】 アクセスが許可されていません。 【処置】 - 指定した保存場所のファイルとフォルダーの読み取りおよび書き込みができるように設定してください。 - 指定したファイル保存パスが正しいかどうかを確認してください。
027-790	【原因】 ファイルが見つかりませんでした。 【処置】 送信先の WebDAV サーバーに、指定したディレクトリが存在するかどうかを確認してください。
027-791	【原因】 要求で指定した方法は許可されていません。 【処置】 - 接続先が WebDAV サーバーかどうかを確認してください。 - 指定した保存場所で、ファイルとフォルダーの読み取りおよび書き込みができるように設定してください。 - 指定したファイル保存パスが正しいかどうかを確認してください。
027-792	【原因】 ファイルパスが無効です。 【処置】 指定したファイル保存パスを確認してください。
027-793	【原因】 要求が失敗しました。 【処置】 - 送信先の WebDAV サーバーにコンピューターからアクセスできるかどうかを確認してください。 - もう一度操作を実行してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
027-794	【原因】 内部エラーが発生しました。 【処置】 - WebDAV サーバが正常に稼働していることを確認してください。 - 送信先の WebDAV サーバーにコンピューターからアクセスできるかどうかを確認してください。
027-795	【原因】 不明な方法です。 【処置】 - 接続先が WebDAV サーバーかどうかを確認してください。 - 指定した保存場所で、ファイルとフォルダーの読み取りおよび書き込みができるように設定してください。
027-796	【原因】 メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 【処置】 メール本文やメールヘッダー情報などもプリントする場合は、CentreWare Internet Services で、設定を変更してください。
027-797	【原因】 受信メールの出力先が不正です。 【処置】 正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
027-798	【原因】 指定した文書が存在しませんでした。 【処置】 正しい文書を指定して、もう一度実行してください。
027-799	【原因】 保存先のサーバーに、空き領域がありません。 【処置】 サーバーに空き領域があることを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
029-700	【原因】 要求が失敗しました。 【処置】 • WebDAV サーバーが正常に稼働していることを確認してください。 • 送信先の WebDAV サーバーにコンピューターからアクセスできるかどうかを確認してください。
029-701	【原因】 無効な応答が返されました。 【処置】 • 送信先の WebDAV サーバーにコンピューターからアクセスできるかどうかを確認してください。 • サーバーの設定を確認してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-702	【原因】 予期せぬエラーが発生しました。 【処置】 もう一度操作を実行してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-704	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルの形式が無効です。 【処置】 ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-705	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。 【処置】 次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
029-706	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。 【処置】 次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-707	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。 【処置】 [プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [手動設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [PAC ファイルを指定] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-708	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルが無効です。 【処置】 [プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [手動設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [PAC ファイルを指定] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
029-709	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。 【処置】 次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-710	【原因】 Wi-Fi でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。 【処置】 ネットワーク管理者に相談して、DHCP サーバーに PAC ファイルの URL 情報が登録されているかどうかを確認してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-711	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定 (PAC) ファイルが無効です。 【処置】 ファイル形式が JavaScript で使用できるかどうか、ファイルサイズが 64KB 以下かどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-712	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定 (PAC) ファイルを取得するときに、タイムアウトになりました。 【処置】 次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
029-713	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、接続エラーになりました。 【処置】 次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 • DNS サーバアドレス設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは HTTP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-714	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、エラーになりました。 【処置】 [プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [手動設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [PAC ファイルを指定] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル格納先が正しく設定されている場合は、HTTP サーバーに PAC ファイルがあるかどうかを確認してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-715	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。プロキシの自動設定（PAC）ファイルが無効です。 【処置】 [プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [手動設定] の場合は、ファイル格納先の設定を確認してください。[プロキシサーバーの使用] の [プロキシサーバー設定] が [PAC ファイルを指定] の場合は、DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
029-716	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルの URL を取得するときに、タイムアウトになりました。 【処置】 次のことを確認して修正してください。 • LAN ケーブルの接続 • デフォルトゲートウェイ設定 • サブネットマスク設定 エラーが継続して発生する場合は、ネットワークまたは DHCP サーバーに問題がある可能性があるため、ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
029-717	【原因】 Ethernet1 でエラーが発生しました。本機がプロキシの自動設定（PAC）ファイルを取得するときに、エラーになりました。ファイルが見つかりませんでした。DHCP サーバーに設定されているファイル格納先情報に問題がある可能性があります。 【処置】 ネットワーク管理者に相談してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"041-001" - "044-999"

エラーコード	原因 / 処置
041-310	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-318	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
041-321 041-322	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-340 041-341	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-342	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-343	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-344	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-363	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
041-388	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
042-313	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
042-325	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
042-335 042-336	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
042-348	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
043-373	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
044-329	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
044-370	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"045-001" - "046-999"

エラーコード	原因 / 処置
045-310 045-311	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
045-370 045-371	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"055-001" - "058-999"

エラーコード	原因 / 処置
058-310 058-311	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
058-313	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"059-001" - "059-999"

エラーコード	原因 / 処置
059-321	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
059-324	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
059-326	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"060-001" - "060-999"

エラー コード	原因 / 処置
060-341 060-342 060-343 060-344 060-349 060-350 060-351 060-352	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"061-001" - "061-999"

エラー コード	原因 / 処置
061-354 061-355 061-356 061-357 061-358 061-359 061-360 061-361 061-362 061-363 061-364 061-365 061-366 061-367 061-368 061-369 061-370 061-371 061-372 061-373	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
061-390 061-391 061-392 061-393	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"071-001" - "076-999"

エラー コード	原因 / 処置
072-210	【原因】 用紙トレイ 2 が故障しました。 【処置】 用紙トレイ 2 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。
072-310 072-311	【原因】 用紙トレイ 2 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
072-312	【原因】 用紙トレイ 2（オプション）が本機で対応していない可能性があります。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、用紙トレイ 2（オプション）を本体から取り外してください。
073-210	【原因】 用紙トレイ 3（オプション）が故障しました。 【処置】 用紙トレイ 3（オプション）の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
073-310 073-311	【原因】 用紙トレイ 3（オプション）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
073-312	【原因】 用紙トレイ 3（オプション）が本機で対応していない可能性があります。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、用紙トレイ 3（オプション）を本体から取り外してください。
074-310 074-311	【原因】 用紙トレイ 4（オプション）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
074-312	【原因】 用紙トレイ 4（オプション）が本機で対応していない可能性があります。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、用紙トレイ 4（オプション）を本体から取り外してください。

"077-001" - "077-999"

エラーコード	原因 / 処置
077-314	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
077-322 077-323	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
077-327	【原因】 用紙トレイが規定の数よりも多い用紙トレイモジュールか、他の機種用の用紙トレイモジュールが接続されました。 【処置】 余分な用紙トレイモジュールを外してください。
077-359	【原因】 用紙トレイ 5（オプション）が本機で対応していない可能性があります。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、用紙トレイ 5（オプション）を本体から取り外してください。

"081-001" - "091-999"

エラーコード	原因 / 処置
082-310 082-311	【原因】 用紙トレイ 5（オプション）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
091-312	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
091-313	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
091-316	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"092-001" - "092-999"

エラーコード	原因 / 処置
092-312 092-313 092-314 092-315	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
092-318	【原因】 イエローの濃度が規定値に達していません。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、ドラムカートリッジとその色のトナーカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
092-319	【原因】 マゼンタの濃度が規定値に達していません。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、ドラムカートリッジとその色のトナーカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
092-320	【原因】 シアンの濃度が規定値に達していません。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、ドラムカートリッジとその色のトナーカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
092-321	【原因】 ブラックの濃度が規定値に達していません。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、ドラムカートリッジとその色のトナーカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"093-001" - "093-999"

エラーコード	原因 / 処置
093-320	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
093-324	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示されたときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
093-339	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
093-441	【原因】 トナーカートリッジ [Y] (イエロー) でエラーが発生しました。 【処置】 トナーカートリッジ [Y] (イエロー) を引き抜き、上下左右に振って、再度差し込んでください。

エラーコード	原因 / 処置
093-442	【原因】 トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) でエラーが発生しました。 【処置】 トナーカートリッジ [M] (マゼンタ) を引き抜き、上下左右に振って、再度差し込んでください。
093-443	【原因】 トナーカートリッジ [C] (シアン) でエラーが発生しました。 【処置】 トナーカートリッジ [C] (シアン) を引き抜き、上下左右に振って、再度差し込んでください。
093-445	【原因】 トナーカートリッジ [K] (ブラック) でエラーが発生しました。 【処置】 トナーカートリッジ [K] (ブラック) を引き抜き、上下左右に振って、再度差し込んでください。

"094-001" - "098-999"

エラーコード	原因 / 処置
094-310 094-311	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
094-318	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
094-325 094-326	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"099-001" - "101-999"

エラーコード	原因 / 処置
099-396 099-397 099-398 099-399	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"102-001" - "115-999"

エラーコード	原因 / 処置
102-356 103-314	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"116-001" - "116-999"

エラーコード	原因 / 処置
116-220	【原因】 ダウンロードモードへの移行に失敗しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-310 116-311 116-312 116-313 116-314 116-315 116-316 116-317 116-318 116-319	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
116-321 116-322 116-323 116-324 116-325 116-328 116-329 116-330 116-331	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-334 116-336 116-337 116-340 116-341	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-342	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-343 116-345 116-348 116-349 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-360 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-367 116-368	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-380 116-383 116-384 116-385	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
116-387	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-388	【原因】 ハードディスクが取り付けられていません。 【処置】 ハードディスクを取り付けてください。 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-389	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-390	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、本機のメモリーを初期化してください。
116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396 116-397	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-399	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-701	【原因】 メモリーが不足したため、両面プリントができません。 【処置】 メモリーを増設するか、ハードディスクがオプションの機種の場合は、ハードディスクを装着してください。メモリーやハードディスクの装着については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-702	【原因】 代替フォントでプリントされました。 【処置】 プリントデータを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-703	【原因】 次の原因が考えられます。 1. PostScript[*] でエラーが発生しました。 2. メモリーが不足したため、エラーが発生しました。 3. PostScript 用のメモリーが不足したため、エラーが発生しました。 *: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 1. については、プリントデータを確認してください。 2. については、メモリーを増設してください。 3. については、PostScript 使用メモリーを増やしてください。
116-710	【原因】 受信データが HP-GL/2[*] スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 *: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-713	【原因】 記憶領域がいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。 【処置】 記憶領域の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	【原因】 HP-GL/2[*] コマンドエラーが発生しました。 *: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 プリントデータを確認してください。
116-719	【原因】 本機がサポートしていない機能を実行しました。 【処置】 本機が実行できないパラメーター指定を解除してください。
116-720	【原因】 メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 【処置】 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-721	【原因】 事前に設定された制限により、白黒でプリントが実行されました。 【処置】 操作が許可されている時間帯を確認してもう一度操作するか、機械管理者に相談して権限を変更してください。
116-722 116-723	【原因】 事前に設定された制限により、白黒でプリントが実行されました。 【処置】 機械管理者に相談して権限を変更してください。
116-724	【原因】 事前に設定された制限により、両面でプリントが実行されました。 【処置】 機械管理者に相談して権限を変更してください。
116-725	【原因】 本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。 【処置】 もう一度ジョブを実行してください。それでも、同じエラーが発生する場合は、不要なイメージログを削除してください。

エラー コード	原因 / 処置
116-726	【原因】 事前に設定された制限により、白黒および両面でプリントが実行されました。 【処置】 機械管理者に相談して権限を変更してください。
116-727	【原因】 事前に設定された制限により、両面でプリントが実行されました。 【処置】 機械管理者に相談して権限を変更してください。
116-728	【原因】 事前に設定された制限により、白黒および両面でプリントが実行されました。 【処置】 機械管理者に相談して権限を変更してください。
116-738	【原因】 指定したフォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていない。 【処置】 用紙のサイズと向きを、指定したフォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	【原因】 メモリー容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 【処置】 不要なデータを削除するか、フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	【原因】 プリントデータに本機の制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 【処置】 プリントデータを確認してください。
116-741	【原因】 フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】 不要なフォームを削除してください。フォームの登録上限数は、ハードディスクを装着している機種は 2048 で、ハードディスクを装着していない機種は 64 です。
116-742	【原因】 ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。 【処置】 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	【原因】 メモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 【処置】 メモリーの領域を増やしてください。
116-746	【原因】 指定したフォームは登録されていません。 【処置】 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。
116-747	【原因】 HP-GL/2* の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。 *: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。
116-748	【原因】 HP-GL/2* のプリントデータに描画データがありません。 *: お使いの機種によっては、オプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。 【処置】 プリントデータを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-749	【原因】 指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 【処置】 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	【原因】 バナーシートの給紙トレイに不具合があります。 【処置】 バナーシートの給紙トレイを正常な状態にもどすか、バナーシートの給紙トレイを変更してください。
116-751	【原因】 記憶領域がいっぱいで処理が中止されました。 【処置】 蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	【原因】 PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。 【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	【原因】 データに含まれるパラメーターに問題があったため、自動修正しました。 【処置】 プリントされた画像は完全ではない可能性があります。相手に画像の確認をするか、再送信を依頼してください。また、インターネットファクスの転送機能を設定している場合は、メールの宛先に確認してください。
116-780	【原因】 受信したメールの添付文書に問題があります。 【処置】 添付文書を確認してください。
116-790	【原因】 次の原因が考えられます。 1. ファクス親展受信またはインターネットファクス親展受信した文書を印刷中に、オペレーターが中止した場合、先頭の1部をホチキス留めをしないで印刷した。 2. 1. 以外の場合 すべての部数をホチキス留めをしないで印刷した。 【処置】 1. については、先頭の1部は手動でホチキス留めにしてください。または、ファクス親展受信またはインターネットファクス親展受信した文書を印刷中に、中止しないようにしてください。 2. については、ホチキスの設定位置が正しいかを確認し、もう一度実行してください。

"117-001" - "117-999"

エラーコード	原因 / 処置
117-311	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラー コード	原因 / 処置
117-312	【原因】 本機に異常が発生しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-316	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-317 117-318	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機が再起動するまでお待ちください。
117-325	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-326	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-330	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-331 117-332	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-343	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
117-345	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-347	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-349	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-354 117-355 117-356	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-357	【原因】 本機 TPM チップにエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-358	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-360	【原因】 日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。電源再投入後、正しい値を設定してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
117-364	【原因】 暗号鍵情報は無効です。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
117-365	【原因】 Wi-Fi 診断でエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"118-001" - "122-999"

エラーコード	原因 / 処置
118-310	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
118-311	【原因】 ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
121-310	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
121-318 121-323	【原因】 本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"123-001" - "126-999"

エラーコード	原因 / 処置
124-310 124-311 124-312 124-313 124-314 124-315 124-316 124-317 124-318 124-319 124-320 124-321 124-322 124-323 124-324 124-325	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
124-326	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 画面の指示にしたがって情報を入力してください。
124-327	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
124-331 124-333 124-334 124-335 124-337 124-338 124-339 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

エラーコード	原因 / 処置
124-353 124-354 124-355	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
124-356 124-357	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
124-359	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機が再起動するまで待ってください。
124-360 124-361 124-362 124-363 124-372 124-373 124-374 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
125-311	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

"127-001" - "132-999"

エラーコード	原因 / 処置
127-210 127-211 127-212	【原因】 本機と Print Server の間で通信エラーが発生しました。 【処置】 Print Server の接続ケーブルをいったん抜いてから、もう一度差し込んでください。本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。

エラーコード	原因 / 処置
127-213	【原因】 本機と Print Server の間で通信エラーが発生しました。 【処置】 本機およびPrint Serverのソフトウェアを最新のバージョンに更新してください。
127-220 127-221	【原因】 本機と Print Server の間で通信エラーが発生しました。 【処置】 Print Server の接続ケーブルをいったん抜いてから、もう一度差し込んでください。本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
127-310 127-311 127-312 127-313 127-314 127-315 127-320 127-353 127-354 127-396 127-398 127-399	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
132-310 132-311	【原因】 本機にエラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。

その他のエラーについて

次のようなメッセージが表示された場合の処置について説明します。

エラーメッセージ	原因 / 処置
故障が発生しました。 電源を切り入りしてください。 (xxx-yyy)	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、「(xxx-yyy)」の表示内容を書き写してください。そのあと、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カスタマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。
異常終了しました。 (xxx-yyy)	【原因】 エラーが発生して異常終了しました。 【処置】 もう一度同じ操作を指示してください。

用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、ディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくり取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

処置を終了しても紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

⚠ 警告

定着装置の安全性について

定着装置は分解しないでください。定着装置内に詰まった紙を取り除く場合には弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

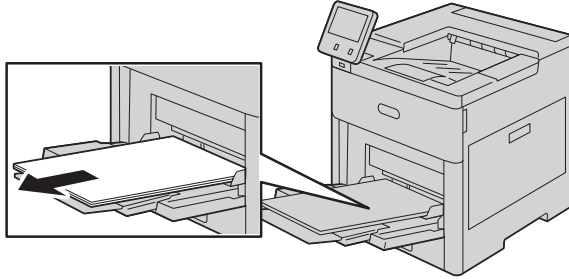
注記

- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから、処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄積された情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

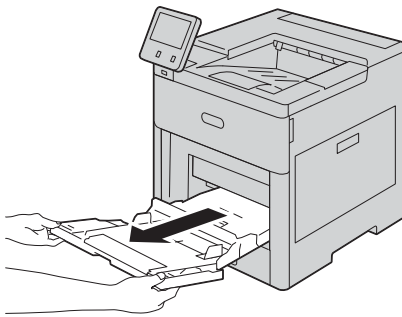
手差しトレイでの紙づまり

手差しトレイで発生した紙づまりの処置について説明します。

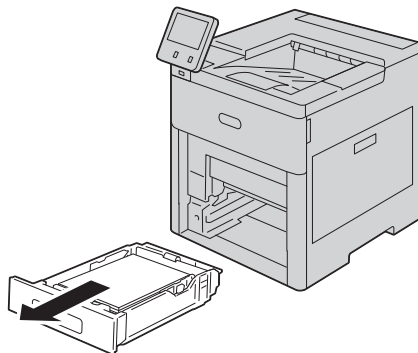
- 1 手差しトレイにセットされている用紙をすべて取り除きます。



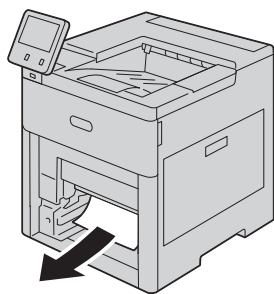
- 2 手差しトレイの両側を持ち、本体から真っ直ぐ引き抜きます。



- 3 トレイ 1 を引き抜きます。



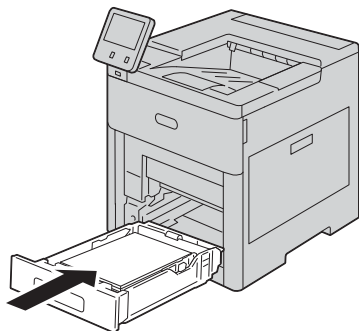
- 4 詰まっている用紙を取り除きます。



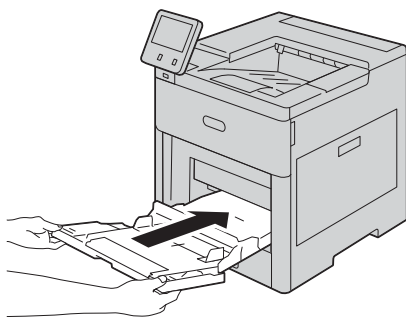
- 5 トレイ1を奥まで差し込みます。

補足

- リーガルサイズの長さをお使いの場合、用紙トレイがプリンターの正面からはみ出します。



- 6 手差しトレイを奥まで差し込みます。



- 7 [トレイの使用形態]の設定が[標準]の場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。

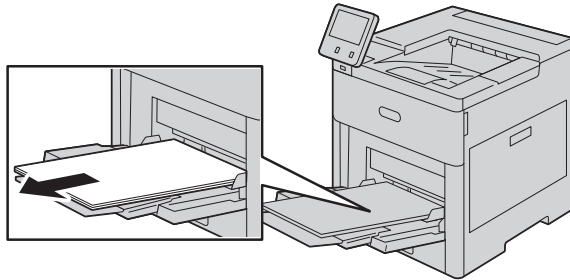
- 1) 同じ用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色を選択する場合、[決定]を押します。
- 2) 新しい用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色を選択する場合、現在の設定値をタップして、新しい設定を選択します。[決定]を選択して設定を保存してください。

- 8 ホームボタンを押します。

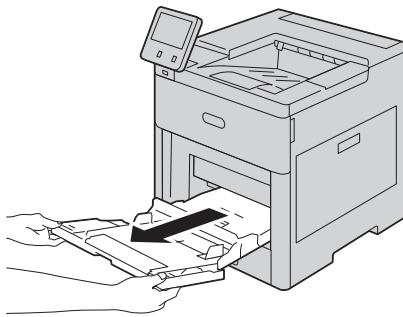
トレイ 1 での紙づまり

トレイ 1 で発生した紙づまりの処置について説明します。

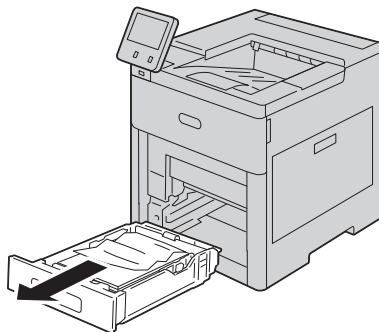
- 1 手差しトレイにセットされている用紙をすべて取り除きます。



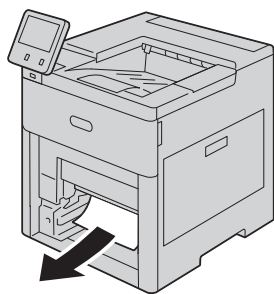
- 2 手差しトレイの両側を持ち、本体から真っ直ぐ引き抜きます。



- 3 トレイ 1 を引き抜きます。



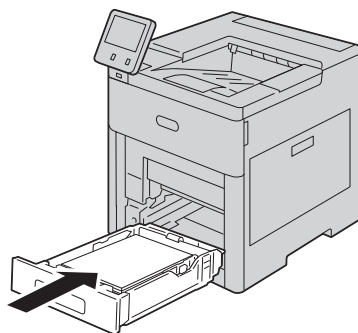
- 4 しわが入った用紙や詰まっている用紙を取り除きます。



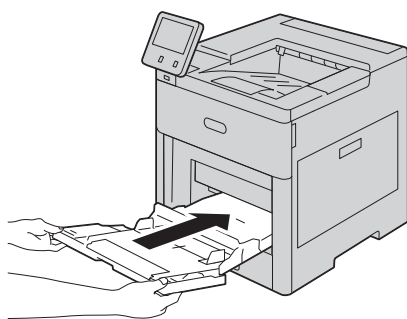
- 5 トレイ1を奥まで押し込みます。

補足

- リーガルサイズの長さをお使いの場合、用紙トレイがプリンターの正面からはみ出します。



- 6 手差しトレイを奥まで押し込みます。



- 7 [トレイの使用形態]の設定が[標準]の場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。

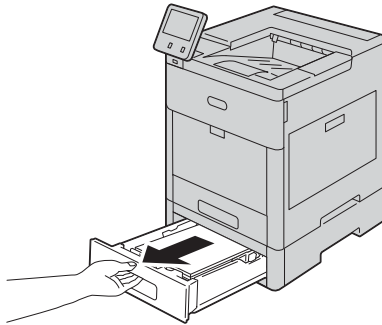
- 1) 同じ用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色を選択する場合、[決定]を押します。
- 2) 新しい用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色を選択する場合、現在の設定値をタップして、新しい設定を選択します。[決定]を選択して設定を保存してください。

- 8 ホームボタンを押してメニュー画面に戻ります。

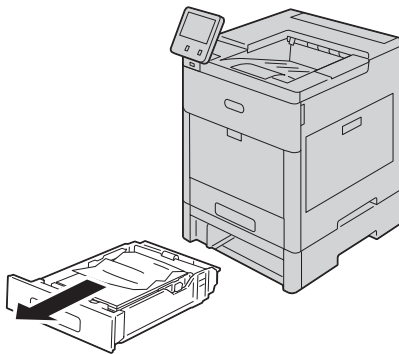
トレイ 2 ～ 5 での紙づまり

トレイ 2 ～ 5 で発生した紙づまりの処置について説明します。

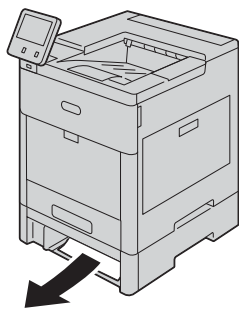
- 1 操作パネルのディスプレイに表示されたトレイを、手前に止まるまで引き出します。



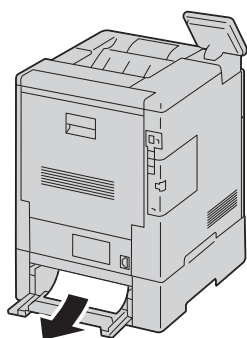
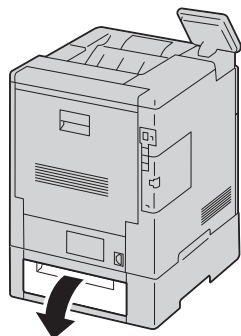
- 2 用紙トレイの手前を少し持ち上げて、用紙トレイを本体から取り外します。



- 3 しわが入った用紙や詰まっている用紙を、本体の前面から取り除きます。



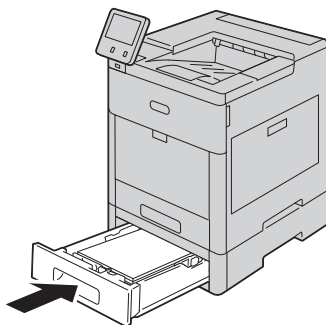
- 4 本体の背面にあるジャムアクセスカバーを開いて、詰まっている用紙を取り除いてください。



- 5 トレイを奥まで押し込みます。

補足

- リーガルサイズの長さをお使いの場合、用紙トレイがプリンターの正面からはみ出します。



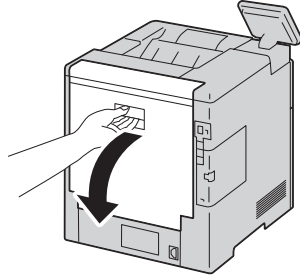
- 6 [トレイの使用形態]の設定が[標準]の場合、用紙トレイの設定を確認または変更します。

- 1) 同じ用紙サイズ、用紙種類、および用紙の色を選択する場合、[決定]を押します。
- 2) 新しい用紙サイズ、用紙種類、または用紙の色を選択する場合、現在の設定値をタップして、新しい設定を選択します。[決定]を選択して設定を保存してください。

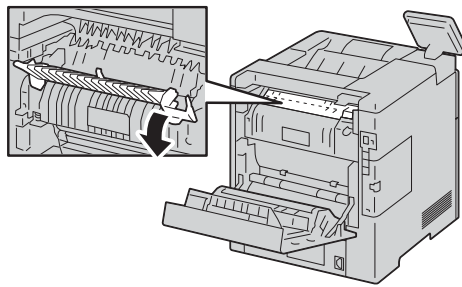
定着部（定着装置）での紙づまり

定着部（定着装置）で発生した紙づまりの処置について説明します。

- 1 リリースレバーを上げながら、背面カバーを開きます。



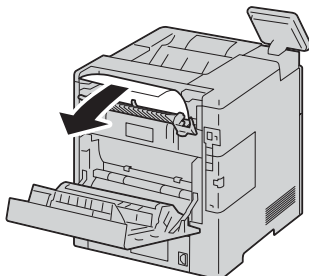
- 2 ツメを持ち上げて、定着部の用紙ガイドを開きます。



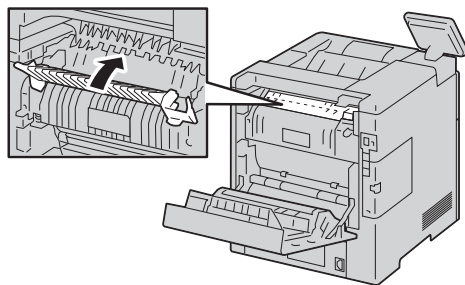
- 3 詰まっている用紙を取り除きます。

注記

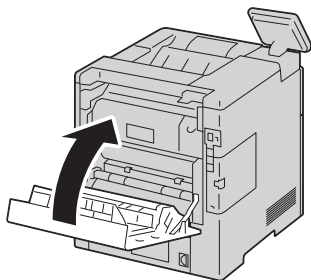
- 定着装置は高温になります。火傷のおそれがありますので触らないでください。



4 定着部の用紙ガイドを閉じます。



5 背面カバーを閉じます。



12

付録

主な仕様

本機の主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

基本機能

■形式

デスクトップ / コンソールタイプ

■プリント方式

LED ゼログラフィー

注記

- LED + 乾式電子写真方式。

■ウォームアップ時間

48 秒以下（電源投入時、室温 23℃）

（スリープモード時は 15 秒以下）

■連続プリント速度

- 片面印刷時：

カラー：43 枚 / 分、モノクロ：43 枚 / 分

- 両面印刷時：

カラー：41 枚 / 分、モノクロ：41 枚 / 分

注記

- A4 同一原稿プリント時（普通紙）。

■ファーストプリント時間

A4 タテ：カラー 6.6 秒、モノクロ 5.9 秒

注記

- 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。

■解像度

1,200 × 2,400 dpi

■階調

各色 256 階調（1670 万色）

■用紙サイズ

- トレイモジュール（標準）：

A4、B5、A5、B6、リーガル 14'、リーガル 13'、レター、エグゼクティブ

非定形サイズ（幅：76.2 mm ～ 215.9 mm（3.0" ～ 8.5"）、長さ：148.0 mm ～ 355.6 mm（7.5" ～ 14"））

- 手差しトレイ :
A4、B5、A5、B6、A6、リーガル 14'、リーガル 13'、レター、エグゼクティブ、
ステートメント、COM-10、DL、モナーク、角形 6 封筒、はがき (4×6、5×7)
非定形サイズ (幅 : 64.0 mm ~ 215.9 mm (3" ~ 8.5")、高さ : 127.0 mm ~
355.6 mm (5" ~ 14"))
- トレイモジュール (オプション) :
A4、B5、A5、リーガル 14'、リーガル 13'、レター、エグゼクティブ
非定形サイズ (幅 : 76.2 mm ~ 215.9 mm (3.0" ~ 8.5")、高さ : 190.5 mm ~
355.6 mm (7.5" ~ 14"))
- 大容量トレイモジュール (オプション) :
A4、レター
- 両面印刷 :
A4、B5、A5、リーガル 14'、リーガル 13'、レター、エグゼクティブ
非定形サイズ : (幅 : 139.7 mm ~ 215.9 mm、高さ 203.2 mm ~ 355.6 mm)
- 像欠け幅 :
先端 / 後端 / 左右端 4 mm

■用紙坪量

トレイモジュール (標準) : 60 ~ 220 g/m²

手差しトレイ : 60 ~ 220 g/m²

トレイモジュール (オプション) : 60 ~ 220 g/m²

大容量トレイモジュール (オプション) : 60 ~ 176 g/m²

両面印刷 : 60 ~ 176 g/m²

注記

- 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類 (紙質、サイズ等) によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、販売店もしくはプリンターサポートデスク (0120-66-2209) までお問い合わせください。

■給紙容量

- 標準 :
A4 トレイ : 550 枚または高さ 59.4 mm 以下 ×1 トレイ
手差しトレイ : 150 枚または高さ 16.5 mm 以下
- オプション :
トレイモジュール : 550 枚または高さ 59.4 mm 以下 ×4 トレイ
大容量トレイモジュール : 2000 枚または高さ 218.0 mm 以下 ×1 トレイ
- 最大 :
3250 枚 (標準 + トレイモジュール + 大容量トレイモジュール)

注記

- 弊社 P 紙の場合です。

■出力トレイ容量

標準：500 枚（フェイスダウン）

注記

- 弊社 P 紙の場合です。

■両面機能

標準

■メモリー容量

2 GB

■搭載フォント

標準：日本語 2 書体（平成明朝、平成角ゴシック）、欧文 83 書体

オプション：[PostScript® ソフトウェアキット（平成 2 書体）] 日本語 2 書体（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5）、欧文 136 書体

注記

- オプションの PostScript® ソフトウェアキット（平成 2 書体）が必要です。

■ページ記述言語

TIFF、FX PDF、PCL6、PCL5c、PS、XPS

補足

- XPS とは、XML Paper Specification の略です。

■対応 OS

- 標準：

[PCL ドライバー]

Windows® 10（32 ビット）

Windows® 10（64 ビット）

Windows® 8.1（32 ビット）

Windows® 8.1（64 ビット）

Windows® 7（32 ビット）

Windows® 7（64 ビット）

Windows Server® 2016（64 ビット）

Windows Server® 2012 R2（64 ビット）

Windows Server® 2012（64 ビット）

Windows Server® 2008 R2（64 ビット）

Windows Server® 2008（32 ビット）

Windows Server® 2008（64 ビット）

- オプション：

[Adobe® PostScript® 3™ ドライバー]

Windows® 10（32 ビット）

Windows® 10（64 ビット）

Windows® 8.1 (32 ビット)
Windows® 8.1 (64 ビット)
Windows® 7 (32 ビット)
Windows® 7 (64 ビット)
Windows Server® 2012 R2 (64 ビット)
Windows Server® 2012 (64 ビット)
Windows Server® 2008 R2 (64 ビット)
Windows Server® 2008 (32 ビット)
Windows Server® 2008 (64 ビット)
macOS 10.13 High Sierra
macOS 10.12 Sierra
OS X 10.11 El Capitan
OS X 10.10 Yosemite
OS X 10.9 Mavericks
OS X 10.8 Mountain Lion

注記

- 最新の対応 OS については、弊社公式サイトをご覧ください。

■ インターフェイス

USB 2.0、USB 3.0、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、IEEE802.11b/g/n/

■ 対応プロトコル

TCP/IP (IPv4/IPv6: lpd、Port9100、IPP)

■ 電源

AC 100 ± 10 %、15 A、50/60 Hz

注記

- 推奨コンセント容量。機械側最大電流は、15 A。

■ 騒音

稼動時 (本体のみ) : 7.3 B、56.9 dB (A)

レディー時 (本体のみ) : 5.3 B、36.3 dB

注記

- ISO7779 に基づいた測定。
- 単位 B : 音響パワーレベル (LWAd)、単位 dB : 放射音圧レベル (バイスタンダ位置)。

■ 最大消費電力

最大 : 1241.6 W、スリープモード時 : 1.0 W

平均 : レディー時 85 W、稼動時 720 W

■ エネルギー消費効率

エネルギー消費効率 123 kWh/年 区分 : プリンター B

注記

- 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。

■外形寸法

幅 427.4× 奥行 465.5× 高さ 443.4 mm

注記

- 手差しトレイを折りたたんだ本体のみ。

■質量

約 27.6 kg（消耗品含む）

■使用環境

- 使用時
温度：5 ～ 32 °C
湿度：15 ～ 85 %（結露による障害は除く）
- 非使用時
温度：-20 ～ 40 °C
湿度：5 ～ 85 %（結露による障害は除く）

注記

- 使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。ただし、温度 32 °C 時の湿度は 62.5 %、湿度 85 % 時の温度は 28 °C です。

■商品寿命

60 万ページ（A4）または 5 年の早い方

注記

- 印刷可能ページ数は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。

大容量トレイモジュール（オプション）

■用紙サイズ

A4、レター

■用紙坪量

60 ～ 176 g/m²

■給紙容量 / 給紙段数

2,000 枚 × 1 トレイ

注記

- 弊社 P 紙の場合です。

■大きさ / 質量

幅 725× 奥行 773× 高さ 459 mm、20 kg

オプション製品一覧

主なオプション製品は、次のとおりです。お買い求めは、販売店までご連絡ください。

商品名	説明
トレイモジュール	オプションの用紙トレイです。
大容量トレイモジュール	オプションの用紙トレイです。
専用キャビネット	本体設置に4つの脚を使用できます。
専用キャスター台	本体設置に4つの脚を使用できます。
無線 LAN キット	無線 LAN に対応させます。
ハードディスク	ハードディスクを必要とする機能を使用できます。
マチ付き薬袋キット	マチ付きの薬袋を使用できます。
PostScript® キット (平成 2 書体)	PostScript 用フォントを使用できます。
地震対策キット	地震による本機の移動を防止します。

補足

- 商品の種類は変更されることがあります。
- 最新の情報については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

保守サービスについて

本機を安心してお使いいただくために、トータルサービス契約とスポット保守サービス方式の2種類の保守サービス方式があります。

トータルサービス契約

ドラムカートリッジ、トナーカートリッジなどの消耗品および保守サービス料金が含まれている保守サービス契約です。ただし、用紙代は含まれておりません。トータルサービス契約の有効期間は5年間です。

機械の修理と点検

機械が故障した場合は、お客様のご要請により当社技術員が訪問し修理をいたします。また、必要に応じて故障箇所以外の点検・調整を実施いたします。

トナーカートリッジなどの配送

機械をいつも正常な状態でご使用いただくために必要な、トナーカートリッジなどをお届けいたします。(用紙は除く)

部品の交換

修理や点検で、部品の交換が必要な場合には、これを交換いたします。

スポット保守サービス方式

お客様のご要請の都度、当社営業時間内に保守サービスを有料でお引き受けする方式です。ドラムカートリッジ、トナーカートリッジなどの消耗品は、機械本体とは別にお買い上げいただきます。

補修用性能部品の保有期間について

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**（内容、期間、費用）のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックス株式会社
プリンターサポートデスク
TEL : 0120-66-2209
受付時間 9:00~17:30
(土、日、祝日および弊社指定休業日をのぞく)

A-24017F

FUJI xerox

表面

●保守・操作の問い合わせ (カスタマーコンタクトセンター)
TEL.
FAX.

●用紙・消耗品のご用命 (カスタマーコンタクトセンター)
TEL.

●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機械No.

 007E 14583

FUJI xerox

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。
(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フジゼロックス
フリーダイヤル 0120-66-2209 FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~17時30分

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、富士ゼロックスお客様相談センターにお問い合わせください。

TEL:0120-27-4100

受付時間:9時~12時、13時~17時(土・日・祝日および弊社指定休業日をのぞく)

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint CP500 d ユーザーズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2019年11月 第1版

(管理番号: ME8281J1-3)